

717

122

717-122



1200501586526

グッ

著南海村下





372



隨筆  
ゴルフバッグ

法學博士  
下村海南著

東京 目黒書店 發行







法學博士  
下村海南著

東京 目黒書店 發行







上圖 東京ゴルフ倶楽部三番の池とクラブハウス

下圖 程ヶ谷カントリー倶楽部十番の花園





上圖 霞ヶ關カンツリー倶楽部屋上から見た九番グリーンとフェアウェー

下圖 武蔵野カンツリー倶楽部藤ヶ谷コース七番より望む





上圖 藤澤カンツリー倶楽部十番バンカー

下圖 我孫子カンツリー倶楽部





上圖 相模カンツリー倶楽部ハウス上より十八番コースを望む

下圖 鷹の臺ゴルフ倶楽部の休憩小屋





上圖 廣野ゴルフ倶楽部九番フェアウェーとクラブハウス  
下圖 茨木カンツリー倶楽部六番グリーン

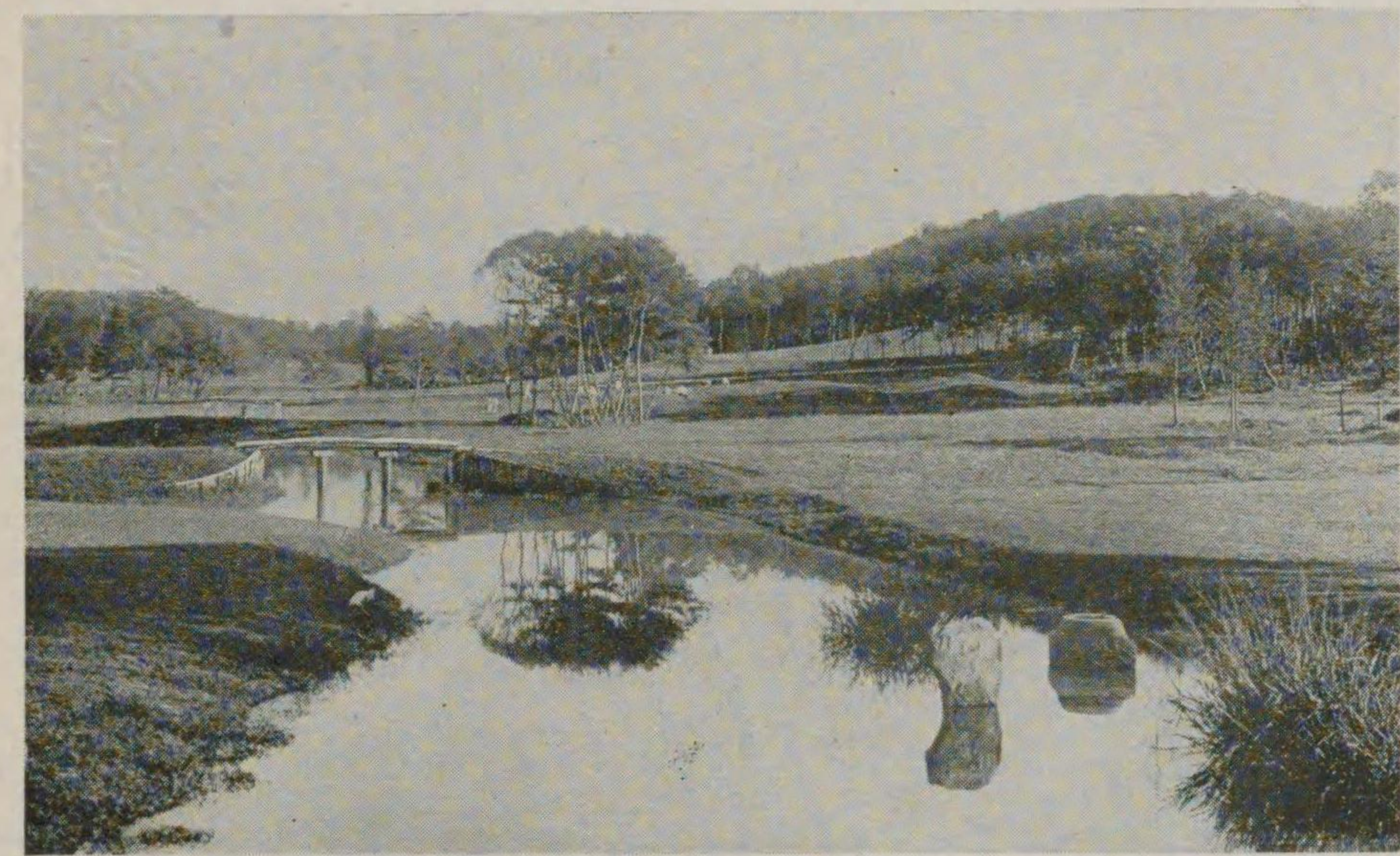




上圖 寶塚カンツリー倶楽部二番グリーンと七番フェアウェー

下圖 猪名川ゴルフコース十七番





上圖 名古屋ゴルフ倶楽部ハウス遠望  
下圖 京城ゴルフコース





上圖 札幌ゴルフ倶楽部に於ける大谷光明氏

下圖 淡水ゴルフコース六番グリーン



てへ代に序

# 序に代へて

ゴルフをプレイする人にもプレイせんとする人にも……

ゴルフを知る人にも知らざる人にも……

ゴルフに同情ある人にもなき人にも……

ポケットブックとして旅行用のガイドブックとして、友人たちへの四季のプレゼント用として此一冊をおすゝめする。

ゴルフに関する硬軟とりぐの文献が綴り込まれてある。このゴルフバッグにはクラブやボールやスエーターや靴の外に、クラブハウスもゴルフリンクスも、プレイヤーの眼も腕も腰も足も、いや頭まで盛られてある。

人間は時と處により、體質の異なるまゝ、氣分の向ふまゝ、年齢の老若に伴ひ、境遇の變化に従ひ、萬人それぐの趣味があるべきはずである。その見さかひな



序に代へて  
 く、絶対にいづれの趣味を是としいづれの趣味を非とするといふやうな、そんな狭い考へは持ちたくない。少くとも此冊子はそうした狭くなるしい心持で筆にしたものではない。もと／＼平静にして朗かに、明るい廣い氣分こそ、ゴルフ道の眞諦なのであるから。

昭和十一年初夏

海南識

# ゴルフバッグ 目次

## ゴルフ哲學編

ゴルフ哲學	二	待合と労働黨とゴルフ	四
一、英國の對獨宣戰	二	四、登山、銃獵、乗馬、釣、ゴルフ	九
三、海南の棚おろし	六	六、ゴルフと皮膚病	一三
五、コースを相手に……變化無限	一〇	八、民衆化した英米のゴルフ	一七
七、金がかゝる？ 時が潰れる？	一四	一〇、朝鮮のリンクス	二〇
九、日本内地のリンクス	一九	一三、ヘーゲン來る	二五
一、極東オリムピックと中華民國	二三	一四、名人上手	二八
三、赤星兄弟と宮本、安田	二七		
一五、人間放牧	三〇		
釣魚とゴルフ	三三		
ウキジター漫談	三四		
ゴルフ一夕話	三九		



一、圍碁相撲とゴルフ……………三六  
 二、ゴルフのイリュージョン……………四一  
 三、ゴルフの祝儀と玉代……………四三  
 エチケツト大乘……………四四  
 参照　ゴルフエチケツト十五條……………四六  
 クラブ・ハウス……………五一  
 晴遊雨讀……………五三  
 一、晴振雨筆……………五三  
 二、湯川寛吉君とゴルフ……………五五  
 三、内田嘉吉君と秦豊助君……………五七  
 ゴルフ禮讚……………五九  
 自動車、自轉車、帽子……………六四  
 涼を趁ふ……………六六  
 木村森藏君のゴルフ死……………六八  
 程ヶ谷クラブのキャプテンを受けて……………七三  
 一、小引……………七三  
 二、ヤーデーヂとハンヂ……………七五  
 三、ハウスの内と外……………七五  
 四、キャデキーとプロ……………七五

五、我等の使命……………七五  
 プレイヤー對キャデキーの話……………七七  
 ベットの話し……………八一  
 ベット雜考……………八三  
 ゴルフと釣……………八九  
 還曆ゴルフアー談……………九四  
 ゴルフアースの死……………九六  
 續ゴルフアースの死……………一〇五  
 レッスン哲學……………一〇八  
 一、レッスン非難……………一〇八  
 二、プロの言まち／＼論……………一〇九  
 三、銀座の四つ辻……………一一一  
 四、レッスンの教へ方……………一一三  
 五、名人田村の話……………一一五  
 六、レッスンの取り方……………一二七  
 ゴルフ行脚編……………一三〇  
 北平胞馬廠リンクス……………一三〇



元山のリンクス……………一三三  
 鳥取の砂丘のゴルフ……………一三五  
 航空ゴルフ行……………一三七  
 寶塚ゴルフリンクスの歌……………一三三  
 淡水のゴルフリンクスの歌……………一三五  
 早老する勿れ……………一三六  
 藤澤のゴルフ・リンクス……………一四〇  
 廣島練兵場のリンクス……………付八本松コース……………一四二  
 上、ホールの蓋に鍵……………一四三  
 川敷のリンクス……………備中高梁川……………一四七  
 雲仙ゴルフリンクスの歌……………一四九  
 廣野の新コース……………一五〇  
 輕井澤の新コース……………一五六  
 輕井澤新舊リンクスの歌……………一六〇  
 旅先のプラクチース……………一六一  
 四國路・九州・隱岐の小島・青根温泉……………一六一

藏王山麓青根のプラクチースの源……………一六五  
 東西パブリック・リンクス漫談……………一六七  
 一、關西は歩が悪い……………一六七  
 二、パブリック・リンクスなき關西……………一六八  
 三、米國のパブリック・リンクス……………一六九  
 四、關東のパブリック・リンクス……………一七一  
 五、輕井澤の舊コース……………一七三  
 六、上ヶ原の幼稚園……………一七三  
 七、鳴尾の新コース……………一七三  
 函館湯の川リンクス……………一七五  
 錢函と月寒リンクス……………一七七  
 山の旭川と海の室蘭リンクス……………一八〇  
 洞爺湖畔リンクス……………一八三  
 霞ヶ關山莊吟……………一八六  
 昭和九年春の四國ゴルフ記……………一八八  
 一、徳島ゴルフ残念記……………一九〇  
 二、徳島ゴルフ未來記……………一九〇  
 三、香川の南郊ゴルフ場……………一九二  
 四、伊勢新居濱のゴルフ場……………一九三  
 五、松山郊外重信川のゴルフ場……………一九四  
 六、高知郊外のゴルフ場……………一九五  
 球 供 養……………一九六  
 上、琉球行……………一九六  
 中、阿蘇山頂……………一九七  
 下、韓國が岳……………一九八



寶塚リンクス十周年の思ひ出……………二〇〇

程ヶ谷の二本松……………二〇四

程ヶ谷リンクスの歌……………二〇六

茨木コースと勝尾寺……………二〇九

近畿の新コース……………二一一

    信太山コース……………二一二

    山田と新淀川……………二一五

常陸のゴルフリンクス……………二二七

那須のゴルフリンクス……………二三〇

ゴルフ・イン・ジャパン……………二三四

ゴルフ文獻編

朝鮮のキャデキー……………二三二

    上、球さがしに夢中の朝鮮キャデキー 沒有々とケロリとしてゐる支那キャデキー……………二三三

    中、ラフで球をチーアップする朝鮮キャデキー ラフで草むらへかくす支那キャデキー……………二三五

    下、世界一の朝鮮キャデキー 世界一の支那キャデキー……………二四四

支那のキャデキー……………二三六

    一、勘定の動物……………二三六

    二、三十四ヶ處のクラブ疵……………二三七

    三、高くて球らぬ球……………二三九

    四、バツグの争奪戦……………二四〇

    五、重ねくの御難……………二四一

    六、スリカヘ球……………二四一

    七、通し球……………二四三

    八、球取物語……………二四三

    九、チーの拾ひ賃……………二四四

    一〇、なぐられ賃請求……………二四五

    一一、没法子……………二四六

    一二、旅の者……………二四七

昭和六年のゴルフ界……………二四九

立派なゴルフアー……………二五一

    一、三段目のゴルフアー……………二五一

    二、リンクス愛護の小乗……………二五三

    三、リンクス愛護の大乗……………二五四

    四、條件付ゴルフアー……………二五六

ゴルフ六つかし記……………二五八

ゴルフ有段者格付——昭和六年改定……………二六三

    ゴルフアー格付の今昔——昭和七年……………二六六

    世界的レベル的格付表……………二六八

關東と關西のゴルフ界……………二七一

    一、成宮君の優勝と關西組の惜敗……………二七一

    二、成宮君の將來と海外進出……………二七三



三、關西の興奮關東の刺激……………二七五

四、數に於て優勢なる關東……………二七六

五、リンクスに恵まれた關東……………二七六

六、パブリックリンクスの意義……………二七九

七、關西とパブリックリンクス……………二八一

昭和七年秋のオープン……………二八三

混戦のゴルフ界と學生ゴルフ……………二八六

一、混戦のプロ界……………二八六

二、強豪サラセン……………二八七

三、混戦のアマチュア界……………二八九

四、學生のゴルフ……………二九一

五、自分の子であつたら……………二九三

昭和八年のオール、アマチュア豫想……………二九六

ゴルフ邦譯考……………二九九

ゴルフ博物館……………三〇二

新聞記者ゴルフ俱樂部……………三〇四

昭和八年のオープン……………三〇八

一、調子の浮き沈み……………三〇八

二、風の日のプレイ……………三〇九

三、プロ界の漫評……………三一〇

四、アマチュア界の漫評……………三一

五、小男のゴルファー……………三二

川奈リンクスの課税……………三二四

川奈リンクスの閉鎖……………三二六

一、大阪府營のリンクスの新設……………三二六

二、川奈リンクスの特異性……………三二七

三、先づ大倉男への感謝……………三二八

四、觀光の意味のゴルフ……………三二九

五、課税への手順……………三二九

六、静岡縣人への希望……………三三一

七、大倉男及びゴルフアースへの希望……………三三三

八、川奈リンクスの將來……………三三三

九、更に更に達觀せよ……………三三四

鍋島ヤツチャンのプレイ……………三三六

上、程ヶ谷コースの對新田戰……………三三六

下、程ヶ谷及び相模でのヤツチャン……………三三八

ヤツチャンプレイの追てが記……………三三三

渡米選手を送りて……………三四

一、赤星兄弟のコーチ振り……………三四

二、オール・リラキゼーション……………三五

三、プレイの外にも使命あり……………三七

淺見選手をおくる……………三四〇

三、關西の興奮關東の刺激……………二七五

四、數に於て優勢なる關東……………二七六

五、リンクスに恵まれた關東……………二七六

六、パブリックリンクスの意義……………二七九

七、關西とパブリックリンクス……………二八一

昭和七年秋のオープン……………二八三

混戦のゴルフ界と學生ゴルフ……………二八六

一、混戦のプロ界……………二八六

二、強豪サラセン……………二八七

三、混戦のアマチュア界……………二八九

四、學生のゴルフ……………二九一

五、自分の子であつたら……………二九三

昭和八年のオール、アマチュア豫想……………二九六

ゴルフ邦譯考……………二九九

ゴルフ博物館……………三〇二

新聞記者ゴルフ俱樂部……………三〇四

昭和八年のオープン……………三〇八

一、調子の浮き沈み……………三〇八

二、風の日のプレイ……………三〇九

三、プロ界の漫評……………三一〇

四、アマチュア界の漫評……………三一

五、小男のゴルファー……………三二

川奈リンクスの課税……………三二四

川奈リンクスの閉鎖……………三二六

一、大阪府營のリンクスの新設……………三二六

二、川奈リンクスの特異性……………三二七

三、先づ大倉男への感謝……………三二八

四、觀光の意味のゴルフ……………三二九

五、課税への手順……………三二九

六、静岡縣人への希望……………三三一

七、大倉男及びゴルフアースへの希望……………三三三

八、川奈リンクスの將來……………三三三

九、更に更に達觀せよ……………三三四

鍋島ヤツチャンのプレイ……………三三六

上、程ヶ谷コースの對新田戰……………三三六

下、程ヶ谷及び相模でのヤツチャン……………三三八

ヤツチャンプレイの追てが記……………三三三

渡米選手を送りて……………三四

一、赤星兄弟のコーチ振り……………三四

二、オール・リラキゼーション……………三五

三、プレイの外にも使命あり……………三七

淺見選手をおくる……………三四〇



渡米選手の土産話から……………三三三

上、チーショットのねらひ……………三四三

ベツグとスコアカード……………三四七

マツチ・プレイのハンデイ……………三五〇

大谷老の新しい試み……………三五〇

昭和十一年ゴルフ界の展望……………三五四

一、参加選手の激増……………三五四

二、数増せど質上らず……………三五五

三、新人進出半を越ゆ……………三五七

四、来るべきオープン大会……………三六〇

モリソンの五日間速成……………三六三

海南ルール・マツチプレイ……………三六九

ゴルフリンクスロケーション……………三七四

上、ゴルフリンクスのロケーション……………三七四

下、クラブハウスのロケーション……………三七六

元標……………三八〇

上、高原蟹堂、杉村楚人冠……………三八〇

下、安部成嘉、乙部融、瀬古孝之助、田中實……………三八二

乃木寺とゴルフ……………三八五

一、乃木寺へ御寄附……………三八五

二、紐育のパブリックリンクス……………三八九

三、かきたい皮膚病……………三九三

四、聴講料の代りに聞かせ賃……………三九七

五、乃木寺の正體……………三九九

フアミリー・デー……………四〇二

湯川寛吉君の思ひ出……………四〇六

ゴルフアー井上準之助君……………四〇八

田中次郎傳のはじめに……………四一三

遇ふが別れのゴルフ……………四一七

腹痛とゴルフ……………四二〇

駒澤のかへり道……………四二三

鹿島老と僕……………四二六

程ヶ谷漫談……………四二六



續海南老と僕との話……………四三〇  
 茨木驛の帽子物語……………四三二  
 程ヶ谷の十年一と昔……………四三五  
 ラツキー・セブン……………四三七  
 鹿島老恐悦の事……………四三七  
 夕陽ヶ丘コース禮讚……………四三九  
 明七・明八對抗仕合第一回及第二回戦……………四四〇  
 南洋アツソシエーション・トーナメント……………四四五  
 明七・明八對抗仕合第三回戦……………四四八  
 三寒四温……………四五一  
 三度キャプテンを受くるあたり……………四五三  
 カヘランセリンクスマサニアレントス……………四五六  
 黒瀬君の場合……………四五六

附 録

ゴルフ記録……………四六六

日本オープン選手権者 日本アマチュア競技優勝選手 全日本プロゴルフ選手権  
 關西オープン選手権 關西アマチュア選手権……………四六三

主要倶楽部の歴史……………四七二

我孫子カントリー倶楽部 藤 澤カントリー倶楽部 程ヶ谷カントリー倶楽部  
 霞ヶ關カントリー倶楽部 武藏野カントリー倶楽部 相 模カントリー倶楽部  
 東京ゴルフ倶楽部 鷹の臺ゴルフ倶楽部 茨 木カントリー倶楽部  
 廣野ゴルフ倶楽部 鳴尾ゴルフ倶楽部 名古屋ゴルフ倶楽部  
 寶 塚カントリー倶楽部……………四七二

倶楽部案内……………四八〇

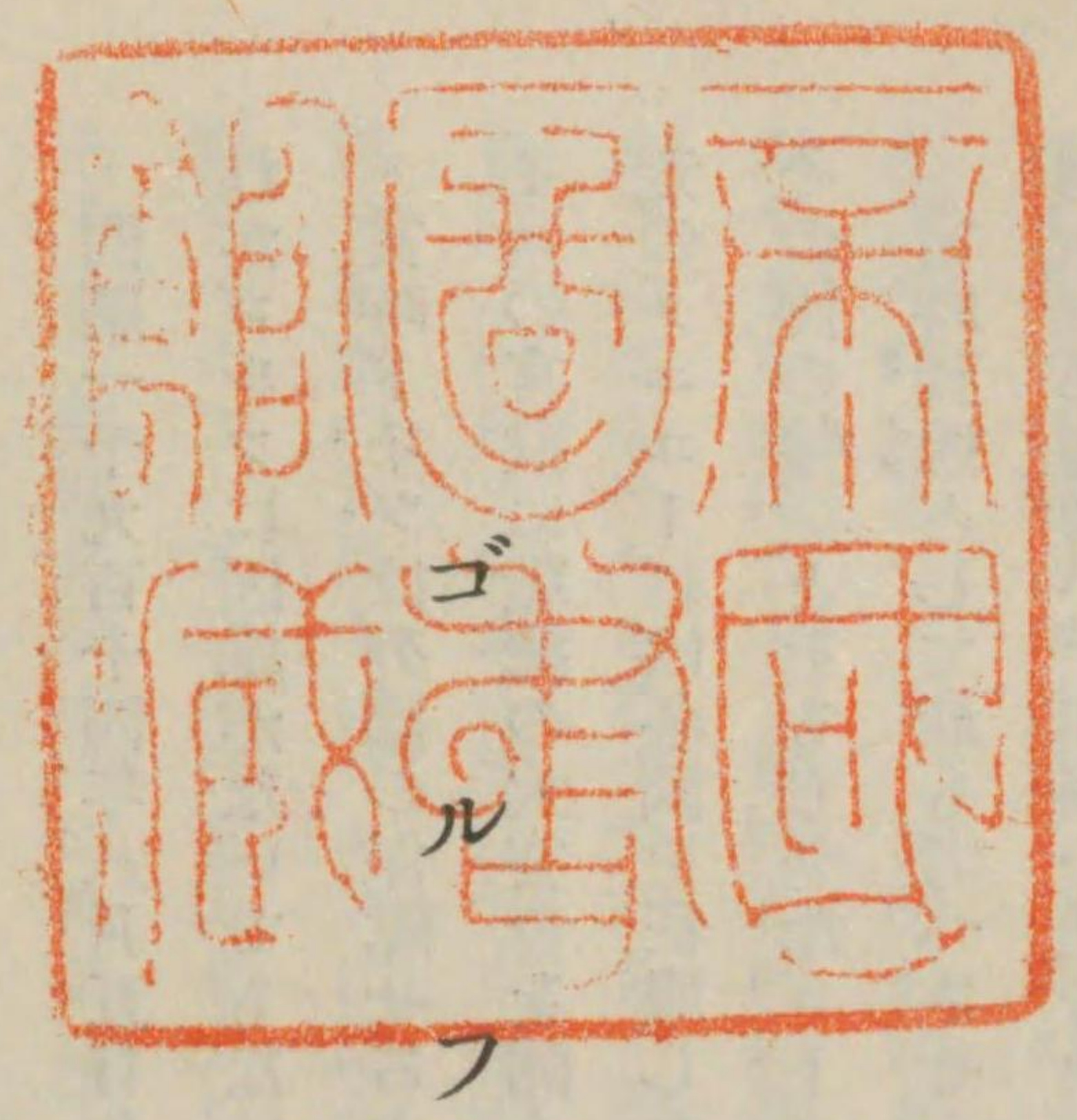
我孫子カントリー倶楽部 富士ゴルフ倶楽部 程ヶ谷カントリー倶楽部  
 川崎ゴルフ倶楽部 霞ヶ關カントリー倶楽部 柏 ゴ ル フ 場  
 輕井澤ゴルフ倶楽部 駒澤ゴルフコース 武藏野カントリー倶楽部  
 日本レースクラブ、ゴルフイング、アソスイエイション 六郷ゴルフコース  
 臨海ゴルフ練習場 相 模カントリー倶楽部 シテイゴルフプラクテス……………四八〇



目次

富士屋ホテル仙石原ゴルフコース	東京ゴルフ倶楽部	多摩カントリー倶楽部
鷹ノ臺ゴルフ倶楽部	廣島ゴルフ倶楽部	等々力ゴルフコース
岡山ゴルフ倶楽部	門司ゴルフ倶楽部	南郊ゴルフ倶楽部
高知ゴルフ倶楽部	長崎ゴルフ倶楽部	福岡ゴルフ倶楽部
別府ゴルフ倶楽部	仙臺カントリー倶楽部	雲仙ゴルフ場
那須ゴルフ倶楽部	錢函カントリー倶楽部	洞爺湖ゴルフ倶楽部
室蘭ゴルフ倶楽部	有馬ゴルフ倶楽部	札幌ゴルフ倶楽部
旭川ゴルフ倶楽部	廣野ゴルフ倶楽部	茨木カントリー倶楽部
神戸ゴルフ倶楽部	信太山ゴルフ倶楽部	京都カントリー倶楽部
鳴尾ゴルフ倶楽部	神崎川ゴルフ倶楽部	寶塚カントリー倶楽部
名古屋ゴルフ倶楽部	臺灣ゴルフ倶楽部	甲南ゴルフ倶楽部
舞子ゴルフ・リンクス	鞋山陸ヶ丘ゴルフ倶楽部	中部臺灣ゴルフ倶楽部
花蓮港ゴルフ倶楽部	撫順倶楽部	星ヶ浦ゴルフ倶楽部
旅順ゴルフ倶楽部		新京ゴルフ倶楽部
Monkden Golf 倶楽部		

目次終



哲學編



## ゴルフ哲學

## 一、英國の對獨宣戰

西曆一千九百十四年八月五日午後一時、イギリスはドイツに對して宣戰を布告した。——これがゴルフに因縁がないでもない。

當時ドイツは列國の保障せる永世中立國たるベルギーを横ぎりて長驅パリを陥れ、ベルサイユの宮殿に戰捷の大宴會を開くプログラムまで出來てゐて、その宴會のテーブルを飾る御馳走のメニューには各國を征服したといふ誇りを示すために、ヨーロッパの主なる國々の名前とその國の特徴とをもちつたコースの名前まで案出されてゐたそうである。

當時<sup>ドイツ</sup>獨逸として最も考へさせられるのはイギリスの向背であるが、イギリスは到底戰爭する勇氣はあるまい。出馬の違もない内にパリに攻め入つてしまはうといふ意氣込みであつた。ところがベルギー軍はリエージュの要塞に立てこもつて獨軍の進出を喰ひ止め、ここに一週間前後の喰ひちがひが起つた。此間ロンドンに在るドイツ大使館はもとより、イギリスの各方面

に放てるスパイは、イギリス政府がいかなる態度をとるかといふことを細大となく注意してゐた。ところが英内閣の大宰相アスキスははじめロイドジョージ、バルフォアなどの閣僚連は例によりて日曜日には遠く郊外のゴルフへ出かけてゆく。これが日本の閣僚であつたなら、よしんば平時であつても、日曜日になれば同じ遊びでも室内なれば、圍碁將棋を樂しまうと、麻雀<sup>マージャン</sup>カルタを弄ばうと、柳暗花明に淺酌低唱しようとして、世間様<sup>さま</sup>は見つて見ぬ振りをしてくれるが、ゴルフにでかけたとなつたなら、國家多端の際悠長千萬な話であると、攻撃の白矢をうけねばならぬ。況んや向ふ三軒に大火事が起つた、獨軍長驅フランスに進出したとある、その火の手の燃えあがつた最中にゴルフに出かけたのだ。如何に日曜日は休日ぢやとて、如何に英國人は冷靜ぢやとて、これは又あんまりひどすぎる、想像すらも出來ぬ飛んでもない不謹慎千萬な話である、非難攻撃的になる事であらう。

ところが事實閣僚連は手を携へてゴルフへ出かけた。此閣僚連の態度はドイツ大使館員や獨逸<sup>ドイツ</sup>のスパイをしてイギリスは戰意なし局外中立で眼をつぶつて行くに相違なしといふ報道をなさせめたに不思議がない。ところがゴルフから倫敦<sup>ロンドン</sup>に歸つた翌日、英政府はドイツに宣戰を布告した。さすがのドイツもかなり面くらつた。もとよりイギリスの閣僚達は敵に油斷さすため



にわざわざゴルフ場に行つたのでもなからうが、しかし折も折だから、獨逸側<sup>ドイツ</sup>に油斷のすきを與へた事になる、閣僚達はリンクスでのびくと對獨策につき熟議をこらし得た事であらう。

( 4 )

## 二、待合と労働黨とゴルフ

日本ではまだそういふ時代に届いてゐない、尤も日本ではそういふときには、待合で熟議することになつて居る。待合での相談は祕密が守れるやうで却つて世間の注意を引く、特に誰々と會合したなど、顔觸れが眼立つてわかる。そこへ同じ家に他の客來もある。何より其席には御給仕の別嬪あり女中あり女將あり、出たり入つたりする。一體小さく仕切つた待合の一室で祕密もへつたくれもあつたものにあらず、彼の播州赤穂の城明渡しの時には、家老大石良雄は諸士を集めての評議に大廣間の襖をみな外<sup>はず</sup>したといふことである。それを思へばゴルフのリンクスでの顔合せは極めて自然であり、又祕密の洩れつこは絶対に無いのである。

少くとも我國ではゴルフはブルジョアがやることになつて居る。いやそういひふらされてゐるから、無産黨の人達はやらない。此程歐洲行の香取丸<sup>カンパン</sup>甲板で、或宮殿下がデツキゴルフの練習を遊ばされてゐると、船長は社會民主黨の目方二十貫にあまる鈴木文治君に「あなたのやう

な體格の方にはゴルフが健康上きつといふですよ」といふたら、殿下には微笑をたゞへられて「船長無暗にすゝめてはいかんよ、鈴木なんかうっかりゴルフなんか覚えてかへると、早速除名問題をおこすぢやないか」と仰せられたといふやうな話が、鈴木文治君自身の旅行記事として新聞にのつてゐた。

なあにゴルフ以上になりに遊び金をつかふ連中が無いぢやない。此間アナキストであげられた連中の多くは、日夜狹斜の巷に流連してゐた。たゞ目立ちやうの無い遊興をしたといふだけのこと、どうして費つた金高から見れば、とても夥しいものである。

まあそんな事は餘談として歐米では労働黨だからゴルフがやれぬといふ事はない。労働者すらプレイをエンジョイできる、況んや黨の幹部どころにおいてをやである。現労働黨内閣の閣員は首相をはじめ多くはゴルフをプレイする。此程の海軍軍縮會議の時に、マクドナルド首相が記者通信員一行を田舎の別荘へ招いたそうだが、その時首相は午前中にゴルフをプレイしてゴルフの服の儘でロンドンより集つて來た記者團一行に接見し、のんびりと半日の歡談をかはしたといふニュースが出てゐた。若し日本のプレスメンの中にもゴルフアが居つて、マクドナルド首相と一緒に半日プレイしながらリンクスを廻つたことならば、此インタービューでは

( 5 )



とても素敵ないゝ種がとれたことであらう、ために會議の進行に資する事多大なるものがあつたであらうとおもふ。當時倫敦<sup>ロンドン</sup>に出動してゐた新聞聯合の岩永裕吉君などは能くしやべり能くプレイする。あの時には首相とプレイしたのかどぢやるか知らないが、いづれにしても今日では、外交に商取引にゴルフは社交的に極めて有意義になつて來てゐるのである。

英米のゴルフ熱は益々盛んである、恐らく支那から日本へかけて麻雀<sup>マイジャック</sup>の流行する以上である。僕は極めて門戸開放博愛主義である、ゴルフはいいとか麻雀<sup>マイジャック</sup>はいけぬとか、圍碁はよいが謡はいかぬとか、そうした好き嫌ひはしたくない。總ての人に對して一律にお前は野球をやれとか劍術をやれ、釣をやれ謡をやれ、碁を打て將棋をさせといふことは無理である。人間にはそれ／＼年齢の關係もあり健康状態もちがふ、上手下手の別あり好き嫌ひあり、又それぞれに其道に入る機縁もあれば、萬人に向つてゴルフは一番良いなどいふことは全然あやまりである。みな／＼それ／＼好きな道へ向ふてよいのである。

### 三、海南の棚おろし

僕自身につき棚卸しをして見ると、室内の方ではトランプもやれば花カルタもやる、また歌

カルタには日清戰役前後、黎明期における闘士であつた。度數におても二十五時間徹宵ぶつ通して百貳拾回強行した事もある。將棋もさす、俳句もやる、現に短歌にはかなり凝つてゐる。柔道も室内運動であるが、高等學校の五年間をつゞけた、但し此方は非力なだけに下手<sup>へた</sup>くそで一貫した。それから近來では麻雀<sup>マイジャック</sup>もやる。撞球に至りては學校生活を終へて間もなくはじめたが、一生の間を通じて恐らく一番長く時をつぶしたのは圍碁と撞球であらう。圍碁は十二三歳の時から絶えずザル碁を打つ、何分一番に一時間一時間と時を潰すので近頃は盤に向はないが、讀賣の日々の圍碁欄に木谷吳清源出陣の時は大に玩味する。此次にはどこに打つだらう、ここかあそこかと考へるから、毎日相當の時は潰してゐる、それだけに翌朝の新聞がとても待ちかねる。我ながら厄介にも又物數奇<sup>ものずき</sup>な話である。撞球に至りては明治三十一年の秋から大正八年頃までの間、兎も角キューを手にしない日はないといふてよい。僕の白耳<sup>ベル</sup>義留<sup>ギイ</sup>學は撞球修學だといはれた位で、とに角日露戰役當時はアメリカの四つ球で、百二百とつき切つたのだから、田舎初段格であつた。その上イギリス球殊にセイロンプールになると、僕のタイムレコードは築地の同氣クラブで、土曜日に役所から退<sup>ひ</sup>けてその儘クラブへでかけ、その晩は徹夜、翌日の日曜も午前午後によつ通してその夜もまた徹夜、月曜の朝となり役所へぬつと顔を出したの



だからかなり振つてる。要するに僕は撞球に淫して居つたのである、凝り性な僕は圍碁でも徹夜したことは少くない。此外落語・講談・浪花節・義太夫・芝居・相撲いづれも大好物、今でも寄席・芝居・活動はもとより、浅草道頓堀の見世物小屋見物は缺かさない。それでももの足りなくて自分でうたふ、うなる、俗謡百般から琵琶歌・浪花節・長唄・常盤津・清元・義太夫なんでも御座れである、まさしく底は浅くとも間口だけは八宗兼學である。

そこへ戶外となるとこれ又かなり手廣い。徒歩旅行に野宿もやる木賃宿にもとまる、山登りも好きになれば水泳もやる、陸上競技は跳ぶ、はねる、走る、ブロードジャンプでは大學で一等を取つたこともある。それから弓もやる、釣もやる、野球のボールも投げた。ボートも漕ぐ、自轉車に乗る、庭球もやればスキーも始める、僕のやうな八百屋は少いと思ふ。ところで當年とつて五十有六歳、今は年輩柄とてゴルフをやつて居る。之に理窟をつけると、とに角朝早く起きて遠く離れた塵外の芝生に一日ぶらついて日光浴をする、思想を轉換する、精神的にも肉體的にもとてもよい。野球・排球・蹴球などいづれもよろしいが、それは若い時分に大にやるべしで、もう五十の坂にかゝると烈しすぎる。庭球にしても硬球となると大分運動がきびしい、老體には過激である、先づ我々には散歩殊に登山・銃獵・乗馬・釣・ゴルフの邊に指を折らざ

るを得ない。いづれも郊外に出て日光浴をする、新鮮な空氣を吸ふのであるから、心身のためによろしいわけである。

#### 四、登山、銃獵、乗馬、釣、ゴルフ

ところで登山は關東では恵まれないが、關西では生駒・葛城・比叡・鞍馬・愛宕・能勢・箕面より六甲の連山など、かなり恵まれてる、それもよい。銃獵は時期が限られて居る。乗馬も遠乗となると近頃は都市も郊外も道路が大分ペーブされてると、馬の自家用は一寸手重おもであつて民衆的といひかねる。四季を通じ普遍性を持つてるのは釣であり、次でゴルフのやうに思ふ。心氣一轉思想轉換となり電話に縁の切れるといふところに趣きがある。従つて忙しい用事を抱へてゐる人には釣は禁物だといふ、しかしそれが又長所である。ゴルフとても東京の郊外駒澤では電話がかゝつて來るから、便利な事がよしわるしだといふ、東京の町續きのやうな感じがして氣分の轉換が少々むつかしいといはれる。大體ゴルフリンクスは郊外の廣々とした芝生であり、雑音から離れてゐるべきである。尤もアメリカでも數多いゴルフリンクスの中には、カーネギー翁の自家用リンクスの如く、十八の各コースのチーに電話の設備のあるものも



ある。これは他から翁に對する用事もあれば、カーネギー自身がどの株を買へとか賣れとかいふ思ひ付もあらう。しかし此の如きは唯一の例外であつて電話はコースにはない、しかしクラブハウスにある。急用があればいつもコースへ使をはしらすなり、いかやうにも連絡がとれる、此點が釣・銃獵・馬の遠乗に比して長所といへばいへるのである。此の如くにしてサンデー・ゴルフアーはゆつくりと頭の洗濯をする、のんびりと一日エンデョイが出来る、此折の心持には釣とゴルフが似通ふた點がある。勿論ゴルフは相手あつてやるではないか、といふかも知れぬが、釣だつて魚といふ生きものゝ相手がある、ゴルフは他のゲームの如く相手と競技する所に面白味もあり、それで白熱的になるのであるが、しかし撞球や野球やテニスや蹴球や排球の如く、同じ球を取扱ふのでなく、銘々が自分の球を打つて行くから、直接相手をビートするのではなく、自分の球によりよいスコアを得べく努力する。だからコースを相手に成績の優劣が現はれ、只獨りでものんびりと面白くプレイできる。

##### 五、コースを相手に……變化無限

長短難易それ〴〵變化ある數多くのコースにつき、それ〴〵にいくつでホール・アウトした

といふ事に大きな自己満足がある。最近の例として世界の大選手ヘーゲン、カークウッドと赤星兄弟のコムペションがあつたが、勝負以外にそれ〴〵どんなスコアでプレイしたかといふ事に興味がつながれてゐる。私共もよく氣の合つた老人仲間とプレイする、全體の勝負として勝てば嬉しい、負けると嬉しくない、しかしスコアの數字がよければ負けても満足がある。同時にいかに勝つてもスコアがよくなければ、只先方がより多くはづれてゐたといふだけで、一向に自慢にならない。殊に十八の各コースの中で、或るコースで最低限度のストロークとしてパーを出した、更に一點少なきバーデイを出した、更に二點少なきイーグルを出すときは、總點で負けても或るコースに於ける、好成绩によりて大に慰められる、いや馬鹿にうれしくなる。十八のホールを百十かゝつた、しかし相手が百十二で自分の勝ちになる、嬉しくないぢやない。しかし相手が九十五で自分は九十七で負けた時は、負けは負けでも九十七といふ百を切つたところに百十で勝つたより以上の満足がある。つまりコースと戦うてゐるので必ずしも相手を必要としない。故に時々一人でコースをまはる、そこに又特別の津々たる興味がある。故に私共より猶老體の原嘉道さんの如く、輕井澤でも駒澤でも朝早く出かけて、一人で氣樂にプレイしてゐられる例もある。仙石貢さんでも末延道成さんでもあの老體同志が愉快にプレイし



て、一里なり二里なり樂々と散策する。尤も初學の中はデクザクな行動をとる、ロストボールも多いから三里や四里は無我夢中である。この無意識に青々とした芝生の上を雲雀の聲を聞きながら散歩する、これがゴルフの特色である。撞球はボークラインであらうがなからうが、三ツ玉でも四ツ玉でも、決つた球臺の中でプレイするのだが、ゴルフはリンクス毎に丘陵あり平地あり、海岸地帯あり、溪谷あり、各リンクスの十八のコースは、それぞれに趣を異にしてゐる。その上四季を通じ冬の枯芝の時あり、夏の青々と生ひ茂つた時あり、寒暖の別に加ふるに風雨の差あり、頗る變化に富んで居る。その上コースによりて長短あり、二百ヤード三百ヤードをかつ飛ばしてよい時もあり、百ヤード以内のアプローチもあり、そこに芝生のフェアウェイあり、草原のラフもあり、砂地のバンカーあり、それだけに同じリンクスにても、プレイする毎にそれ／＼格別な興味が湧いてくる、沉んやリンクスを異にするに於てをやである。

ヘーデン、カークウツドのプレイを見ても駒澤茨木でどうプレイをするか、程ヶ谷六實むつみでどんなプレイをしたか、プレイの相手の顔ぶれもあり、又プレイの仕方にもメタルプレイあり、マツチプレイあり、シングル(二人のプレイ)あり、スリーサム(三人のプレイ)あり、フォアサム(四人のプレイ)あり、それに又ベスト、サイドとかツーパーボルスとか、いろ／＼の

プレイの仕方がある。多種多様に變化の多い事が、ゴルフの趣味のつくるなき所以である。

## 六、ゴルフと皮膚病

僕は大正八年臺灣において初めてゴルフクラブを持つたのであるが、機縁熟せずして發熱するに至らず、年に二度か三度位お義理に淡水のリンクスに行くにすぎなかつた。内地に歸つてもゴルフのクラブに入會したが、茨木などへは秋になると松茸狩に出かけた位にとゞまつた。この九月で滿三年になるが、一昨々年の夏糖尿の結果が皮膚病にかゝり、晝はまだ我慢出来るが夜になるとかゆくて寝られない。温泉廻りをする、塗り薬をつける、血精を注射する、いろいろと手をつくしたが痒みがやまぬ。結局根本は血行にあるから運動しなければならぬといふことになる。ところが以前より醫者からスキーとかテニスは過激すぎると禁止されて居る、止むなく？ゴルフをやる事になると、ゴルフ熱は俄に高まりて四十一二度に上る。昨今は行きづまりでいさゝか熱は下つたが、まだ三十八九度位の高熱はつゞいてゐる。高熱の證據には僕の顔は非常に黒い、しかし之はゴルフ熱の外に皮膚病對策といふ理由が伴うてる。それは日光の直射により、紫外線を受けるため、四季を通じてリンクスにはなるべく無帽を勵行してゐるか



らである。若しゴルフをやると下村のやうに色が黒くなつて困るといふなら帽子を着るがよし猶入念に傘をさしても、警察からもクラブからも、文句は言はぬ事になつてゐる。

### 七、金がかゝる？ 時が潰れる？

ゴルフをやると金がかゝる時間を潰すといふ非難がある。この二つがゴルフに對する缺點として一般に唱へられてゐる、いかさま何ものにも利害が伴うてゐる。なるほどそうした缺點はある、それはしかし事實座食ざしやくの人浪人になつて居る人は別であるが、役人なり銀行會社に出て居る人であれば、日出が早く日没の遅い夏時分には場所次第では出勤する前或は退けてからリンクスにかけつけ、一時間なり二時間なりプレイすることもありうるが、それは稀な例外であつて、日曜大祭日の外は事實プレイは出来ない。もし時が餘計にかゝるといふならば、私自身の経験によると圍碁・將棋・撞球或は謡曲・麻雀マイジャックなどの方が随分多くの時を潰しうるのである。これは晝夜となく風雨の別なく隨處にて時を潰しうるからである。撞球に熱中した頃は一日と雖もキューを手にしなない日はなかつた、徹夜までした事が稀なりとせぬ。圍碁にしても學生時代は碁石を手にしなかつた日は數へる程しかない、之を延長するとかなり長い時間になる。所がゴ

ルフはどうしても日中に限られてゐる、いかに助平すけへいでも暗くなつてはプレイができぬ。近頃夜も照光の設備次第でテニスが出来る、ゴルフも出来るなどいふが、それは遠い將來は知らず先ず出来ぬ相談である。所謂サンデーゴルフアーはサンデーの外時の潰し方がない、謡曲・撞球・圍碁・麻雀などが一ヶ月を通算したならば、とても一月四回の日曜の日中にかぎる時間の比ではない。況んや日曜といつても好天気とばかり限らない、雨の降る日もある、中には風雨を衝いて行く勇敢なる特志家もあるが、とも角一週に一度の日曜であり、よしんば天氣が好くとも、この前の日曜は親戚に結婚がある、その前の時は親友の葬式がある、もう半月も大空の下にクラブが握れなかつたとなると、天氣豫報に少雨とあつても、そのうち止むだらう、なかに少々降つてもといふので出かけてゆく。世間ではどうもゴルフを覺えるとまるで狂人のやうになるといふ、いかさま無理からぬが、さて圍碁にだつて凝つた時は親の死に目に會へないといふ諺さへある。問題は何事によらず事の緩急輕重により、いかに節制するかといふので、ウキークデーに能く働くほどサンデー、ゴルフアーの有りがたみがある。暇な人は暇潰し、忙しい人は之により心身のレフレッシュメントが出来ようといふのである。いづれにしてもリンクスの數に限りあり、何處でもプレイ出来るといふわけには行かない。暗くなれば何んとしても



出来ない、ために如何にゴルフに淫しても、これにより事實失はれる時間はそれ程長くない。殊に僕などはゴルフ熱にかゝつてからは、老境に入つた加減もあらうが、宴會の方が成るべく控へ目にする、出かけても昔は第二次會の發頭人であつたが、今は成るべく早く歸るようになる。ゴルフをやるやうになると體をいたはるやうになる、食事なり睡眠なりに注意するやうになる、暴飲暴食はもとより夜更かしをさける事になる。日本式宴會はなるべく遁げる、大阪でも下村は宴會に案内しても來ないといふ折紙がついて來た。私ばかりでない、大阪では各銀行會社の人達にもそうした空氣があり、緊縮風と相まつて日本式の宴會は目立つて少くなる、ことに土曜日の晩は一層少くなつた。従つて頭割の宴會でも近頃は一人前三十圓四十圓とケン飛んで仕舞ふ世の中に、算盤をとつても差引ゴルフ熱のための出錢の方が餘程安くつく。尤も中にはゴルフはゴルフでやるが一方にも發展しようといふ、文武兩道に活躍する特志家にとりては、晝夜使ひ分けといふので、それだけプラスにならうが、それは明かに例外である、少くともゴルフ熱の爲め待合料理屋熱を多少とも引下げこそすれ助長するといふ事はない。由來人間のエナジーに限りある、カロリーにも相場がある、従つて血氣盛んな若い人達は格別、我我如き老體は爲に時も金も差引儲けにはならないまでも損害は減少される。同時に氣分の轉換

健康保全の上に大に役立つてゐる、だからゴルフ民衆化といふ念が止みがたい。

### 八、民衆化した英米のゴルフ

今我々が何よりも提唱したい事は手軽にプレイすることの出来るリンクスを作るといふことである。現時ニューヨーク又はロンドン方面では都會地から約一時間位の距離の内に二百三百といふリンクスがある。アメリカの如きは昨年は一日に一ツか一ツ半位宛リンクスが殖えて行つた。ニューヨークの市内にパブリックリンクスがある、そこではどんな労働者でも、職工でもシーズンチケット五弗で極めて安値にプレイする事が出来る。勿論日曜日には群がるプレイヤーが、早く順位を得べくバッグをかついで暗い内から押しかけてくる、かなり混雑するやうであるが、兎に角ワンシーズン五弗でプレイすることが出来る、日本に比し生活程度の高いアメリカとして、一般民衆はとて日本で想像の出来るぬいぢいなゴルフを享樂することが出来る。またダウン・シチイでも大丸三越といふやうなデパートメントの屋上には、パッチングなリシヨート、アプローチをやることの出来る小さいスケールのリンクスがあり、食後又はオフキスのかへり道、一回が五十仙とか、三十仙位で一ときはプレイする。之れも始めはデパー



トが客寄せをかね餘興としてやつたのであるが、今日では立派に算盤がとれてゆく、それは撞球場を設けたと思へば豫想の出来る話である。勿論アメリカの事であるからゴルフのクラブにも非常に金のかゝつてゐるクラブもあれば、また極めて安あがりのクラブもある。岩永裕吉君が新聞聯合の用事でアメリカへ行つた時に、シカゴにオールドエラムといふリンクスがある。これは百人足らずの大金持がメンバーになつてゐる、そのメンバーの一人が岩永君を案内したそうだが、華美をつくしたホテルもある、食事はもとより酒もシガーもシガレットも極々上等づくめである。飲み放題食ひ放題で、しかも各自勝手にお客をつれて来て、満足するだけエンジョイする。其計算はすべて之を一括し年末に總計して各メンバーの頭數に割付けるといふ。アメリカファーストの贅澤なリンクスであるが、一方にまた日本から出かけて居る會社員などが、極めてイージーにプレイ出来るリンクスが數知れぬ。その人達が日本に歸つて来る、さあ駒澤程ヶ谷へ入らうといふと入會金が千圓、千五百圓と取られる、少くとも多くのクラブは百圓二百圓三百圓とられる。なほに一回限りの入會金ではある、一度病氣にとりつかれたと思へばあきらめもつくが、さて百とまとまつた金は一寸出し滞りたがる。それが三百圓五百圓となると折角バツグをかついで歸朝しても、どのリンクスへも一寸寄りつけない。

### 九、日本内地のリンクス

いかさま今では入會金一千圓をとらふるリンクスもある。しかし東京で六實霞ヶ關をはじめ近頃出来る我孫子、大阪でも寶塚などは二百圓から三百圓がらみである。六實を以て例すれば入會金二百圓、月額會費五圓、一日のグリーン・フキー(リンクスの使用料)は五十錢、之にキヤデキー・フキー(バツグを持つ子供に支拂ふ料金)ワン・ラウンド六十錢、之に晝餐代六十錢、六實松戸上野間汽車三等五十錢、一日の行樂費用計金二圓八十錢雜費をしめて三圓五十錢位となるから、登山散策さては活動・芝居・麻雀・撞球・バアーなどに於ける失費と必ずしもさしたる相違もない。たゞゴルフの時は上記の數字以上散財するとしても、煙草とか飲料水などに過ぎないから却て割安になる。これはクラブの會費の支出であるが、會員外は所謂ビジターとしてグリーン・フキーは一日分安きも三圓、高きは五圓を要し、日曜祭日は會員が多數來場するため、會員外のプレイは禁じられてゐる。こゝに於てか民衆的パブリックリンクスの必要を切實に感ずる事になる。

民衆的リンクスとはパブリック・リンクスの事である。會員組織でなく公共團體又は電鐵と



か競馬會社などが副業として營まれるもので、誰でも隨時にプレイできる、常盤沿線柏驛かしはの傍らなる競馬會社は競馬場を活用してグリーン・フキー一圓のパブリックリンクスを設け、ゴルフのクラブが満員で入れない、または入れても入會金に悩んでる、或はたま／＼東京に來たが日曜祭日のためにプレイが出来ないといふ人達の渴を醫する事になつてゐる。由來日本は天惠薄く平地は全土の二割にも充たず、土地の値段がとても馬鹿馬鹿しく高い。イギリスあたりではロンドンから一時間を隔つれば、至る所坦々たる大道を挟んで牧場が際涯なくつながつてゐる。日本で坪何十圓といふのが、英國では一エーカー單位でも安値である。今日本では外國に劣らない好いスタンダードリンクスをといふので、高低の多いところへここにバンカーをこしらへて見よう、此方に土手をつくる、ここは盛り土、こゝは切り下げと、年中コースをいぢり廻してかなり大金をかける。そうしたリンクスも二つや三つは是非無くてはならないが、多數のものがエンジョイするためには、柏リンクスのやうな手軽なものも澤山つくらなければならぬ。(今は東京に駒澤六郷等々があり、大阪にも山田淀川などができてきた。)

### 一〇、朝鮮のリンクス

東京大阪などの都會地を離れると、地方のリンクスは遙かに安い。箱根の仙石、伊豆の川奈島原の雲仙、近く開かれる別府のリンクス等はグリーン・フキーは五十錢から一圓止りであり、更に小樽、札幌間の錢函等せいはこは無論粗末なものではあるが、入會金は二十圓會費年額二十圓、グリーン・フキーはなかつたと思ふが、とても安直千萬である。更に朝鮮滿洲に行けば大邱、元山、京城、平壤より安東縣、奉天、長春、ハルビン、撫順、鞍山站、大連、旅順と至る處リンクスに恵まれてゐる。

更にこの間三菱の奥村君の話では南洋の諸島、あのボルネオでプレイしたリンクスだけで七ツあつたといふ。

しかも之等が何れも極めて容易に入會が出来る。入會金にしてが二三十圓高くて五十圓を超えるのは少く、元山は月五圓の會費に日曜には郊外まで往復の自動車代もぶつこみになつてゐるのだからとても安い。それでキヤデキー・フキーが只の十錢だから一日の清遊金一圓でお釣お釣が出る。そんな安直なリンクスの出來やうがないはずだが、元々廢墓地といふやうな土地を只同様にして借りる、コースの手入れだつて朝鮮人夫の賃銀が安い上に、さう手をこめてるわけはなし、そんなに金をかけては五十人内外の會員で維持は出来ない。草が伸びると人手をから



ずとも放牧されてる牛がしかるべく食つてくれる。錢函といふ札幌と小樽との間に出来て居るリンクスもそれで、草刈する代りに牛が食つてくれる。それでは草が生ひ茂つて球が見失はれそうだが、球の飛ぶ方へ先走りしてつるフォア・キヤデキーがワン・ラウンド金五錢也、それが一目散に球の落ちたところへかけつける。僕は一昨年今よりずつとヘボクタの時、杉村楚人冠と元山リンクスでプレイしたが、右往左往の草原に亂發した球が、みなさがし出されて、どうしてもロスト・ボールになら無かつた。元山の例は大邱安東縣など皆似たりで、いづれも五十名足らずの會員により、維持せられエンジョイされてゐる。内地ではとてもそばへも寄りつけないとこぼすはずの連中も、會員として樂々とノビノビとプレイしてゐるのである。

それで私は大阪でも東京でも電鐵會社は停留場から遠からざる土地を相し、九ホールスでもいゝから、パブリック・リンクスをこしらへるべし、そうすればそれによつて、多少ともプレイするための乗客も殖えるだらうし、沿道に住居を移す人も多くなるであらうと折角注文してゐるが恐らく二三年中に續出されるかとおもふ。殊に勧めたいのは競馬場をリンクスに活用するといふことである。競馬場は一年を通じ競馬に使用する期間は誠に少い。あの廣い土地を遊ばしてゐるのは勿體ない。之をリンクスに活用してゐるのは日本では古いところで横濱の根岸競馬

場、近くて常盤線の柏であるが、支那へ行くと青島のリンクスの如き、海水浴場の盛り場の海岸にホテルがあり、その裏が競馬場であり同時にリンクスである。ナイン・ホールスであり平地で單調であるが兎に角プレイできる。殊に初學者の試験的手ほどきには持つて來いで、まだ馴れない者がいきなり程ヶ谷や茨木などで球を池や谷や森へぶち込んで、アウバンをしたり、球搜しにうき身をやつし、自他共に迷惑するには當らない。まして土地の高價な日本では都市に近い便利なところに競馬場が遊んでゐる、近頃の流行言葉で言へば、土地合理化の一策として、よろしくリンクスに活用すべしである。

### 一一、極東オリムピックと中華民國

近頃僕はしみじみ日本人はエライと思ふてゐる、そりやアカン點もあるが、とにかくエライ。最も遅れて國際場裡に引つぱり出されたが、四六時中ハイスピードで抜いて、世界の三大強國の一にまで漕ぎつけた民族である。今更エライと感心するにも當らないかも知れないが、兎に角エライ。之をスポーツの方から見ても、テニス界では熊谷清水兩君が出てから後だんだんと名選手相次ぎ、今も原田・佐藤・安部の諸君は、デヴキスカップ戦でファイナルに向ひ連勝



しつゝある。オリムピック大會も最初金栗三島君などが出場した時分には頭から問題にならなかつたが、さきに織田幹雄君が三段跳で始めて唯の一點を取つた。次でこのオリムピックには高跳、棒高跳あらゆる、競技に優勝する、水泳に至りてはクロールだとか何とか外國の泳ぎ方を研究してからは、何時の間にか世界の一流國に躍進し、入江稔夫・鶴田義行君などは背泳胸泳に於て世界的レコードをつくる事となつた。此の如くにして今や日本は所謂ベストシックスの中へ入つたのである。近く東京で開かれた極東オリムピック大會を見ても、フィリッピンや中華民國とは全然段違ひになつて來た。日本のレコードが極東オリムピックのレコードをどしどし破つてゐるのだからとても素晴らしい。最近天津のシングルゴルフアー廣瀬義忠君よりの手紙によれば、排日の支那基督青年會の宋愚溪といふ人が、日本人の音樂愛好者の演奏を希望して來た。その動機は此度極東オリムピックより歸國せし青年達が、日本文化の進歩、スポーツの旺盛、學生の眞面目なるに對し、自國の不秩序亂雜なるにかへりみ、日本を眞似る、日本人と接觸したいといふ氣運が盛んになつたからであるといふ。現に民國の選手を率ゐて來た天津の南開大學長張伯令博士の大公報紙上に傳へる語の中に

諸君均知我國運動員計男女一百三十餘人、北至哈爾賓、南至廣東、可謂代表全國、然結果？

敗而歸、(中略) 不過日本進歩極速、我方進歩較緩、此爲失敗之原因耳 (中略) 日本人則用科學方法、分開研究、結果進歩異常神速 (下略)

といふてゐる。スポーツは全くの實力である、赤裸々の公平なる、天真そのまゝの競争である。極東オリムピックの日本の格段なる優勝は、中華民國に於ても如上の如き空氣をかもしつゝある。スポーツに對して縁遠い無關心な政治家諸君實業家諸君とても、再思三考すべきである。

## 一、ヘーゲン來る

由來ゴルフはスコットランドに起り、英より米につき、今は所謂アメリカ・ファーストとしてアメリカが世界第一、本家イギリスが第二位となつてゐる。さて其次は何れの國か分らないが、恐らく第三位が日本によりて占められる、占めらるべしと信ずる。日本のゴルフの歴史は極めて淺いもので、私の知る限りでは、井上信川崎肇大谷光明其他の先輩が努力さられたが、時機熟せずブス〜とかなり長くいぶつてゐた、赤星四郎・六郎兩君ら現はれてより、時勢の赴くところ、最近に至り非常な速度で發展して來た。發展はして來たがこの前にハワイのチー



ムのキャプテン・ブラウン君には、プロもアマチュアも皆やられた。オープンの選手大会にはフ  
 アイナルはブラオン及布哇<sup>ハワイ</sup>チームの中村君であつた。ブラオン君は世界一流の選手とはいひ  
 條、恐らくは四五十人の幕内連の一人といふにすぎない。そこへ今度來たカークウッド選手は  
 ブラオンに勝るとも劣らず、ヘーゲン選手に至りては世界の大選手として大關否横綱格である。  
 世界選手権を握つてゐた世界の第一人者である。それら選手を相手に宮本安田或は赤星兄弟の  
 チームがプレイをする。もとよりヘーゲン組は日本に始めてである、コースも全くはじめてと  
 ある、丸で勝手のわからぬリンクスでプレイするのだから、一點二點を争ふスコアの上には大  
 きなハンデカツプである。この勝負を以て優劣を定むべきでない事はあまりに明かである。ま  
 た假りに勝つたとて、此五月角力を見ても、横綱が負け越さぬまでも、三つ四つ五つと黒星を  
 頂戴してゐる。圍碁將棋でも一段の相違は紙一重である、ましてゴルフの如く長距離をカツ飛ば  
 す以上、一寸の事でアウバンになる。バンカーには入る、オーバーする、デッドにゆく、我々  
 階級のヘボクタでも、シヨートではホールインワンもある、ごろ／＼轉がつてあつちこつち行  
 當つたあげ句、アレ／＼といふ内にホールへ入る、これでもホールインワンである。況んや此  
 度の勝負は十八ホールス一回だけである、それだけに運にまつ事が多い。しかもそれが全然未

知のリンクスである、従つて赤星兄弟と程ヶ谷リンクスのベストサイドのプレイに五分の引分  
 けとなつたとて、其技倆伯仲せりといはれぬ事はモチである。

### 一三、赤星兄弟と宮本安田

しかしスコアから見ると明かにサイドベストの總點、ヘーゲン組も赤星組もアウト三十三イ  
 ン三十四計六十七といふ成績を示してゐる。しかも赤星組はツー・アツプ・ドゥーミー第十七番の  
 チーに立つた。ヘーゲンのバーデキーにより十七番で負けたのは是非なしとしても、十八番を  
 赤星兄弟がファイフで負けたのは、遠來の客に對する敬意だなどゝさへいはれた位で、とに角  
 五分の勝負を見せた。

更に程ヶ谷の第二回戦ヘーゲン、カークウッド宮本安田の四人のメタルプレーに至りては、  
 ヘーゲン宮本の七十二點に對し安田七十一點を以て安田の優勝となつた。この詳しい事はゴル  
 フドムに細評を試みてあるが、兎に角勝つた。世界一の選手にとにかく勝つた。そこに幾多割  
 引の條件があつたにしても事實一點勝つた。あの小柄な安田、相撲なら大の里が横綱を倒した  
 のである、これは日本のゴルフ發達史上に一大エポックを作つたものである。此前茨木の宮本



君は布哇へいつたとき、第二日目にはアンダーパーで米國の有名な選手達と戦ひ、たしか第二位に突進した事がある。日本人の體格から見て、連日の勝負をつゞけてゆくとどうしても早く疲れ崩れる缺點はある。しかし何んといつても程ヶ谷では赤星兄弟は五分々々で戦つた、第二回戦では安田はヘーゲンに勝つた。親しく連日のプレイを見た自分には、思はず涙ぐましくなつた事が一再ではなかつた。

日本人は絶えず努力をつゞける、負けじ魂でグン／＼食ひ下つて行く。或西洋人はいつた、日本人のプレイを見るとまるで命がけである。顔面神経を緊張させて、八の字を寄せてビデネスプレイをしてるといふ。いや決死の相が現はれてるといふ。成る程そういふ氣味がある。しかしこの氣持が今日の進歩を促したので、撞球にしても田村鈴木二選手、殊に山田浩二・松山金鈴の選手達は、あの小さい體、短い腕で、撞球臺にしがみついて世界一流選手として活躍した私はゴルフに於ても恐らくこゝ一年毎に非常の勢で伸びて行く、さうしてアメリカやイギリスへ出かけて、世界の選手權を争ふといふ事は決して夢でないと確信する。

#### 一四、名人上手

今度のヘーゲン、カークウッド兩選手の來朝についてはこんな妙技は二度と見られないからといふので、この間から各所のリンクスで素人の諸君も初めて見物されたやうであるが、今まで我々のやうな下手な連中のまづさ加減を見たことなく、始めて名人のプレイを見るとあまりに順調に飛ぶので、なんだつまらないぢやないかといつた人も多かつたやうである。いかさま撞球にしても名手の球は、其球のとおり方、ひねり方、力の入れ方、殺し方、あとの球の形の残し方に千萬無量の値打がある。よしんば外しても、その外し方に味がある。それは球を相當つきこなしたものでなければ分らない。ゴルフにしても球が思ふやうに素直に行くのを見て居ると如何にも樂である。こんなつまらぬものがとまで言はれるが、其道に入つて見ると甚だつまる所以が分る。ヘーゲンのやうな世界の一人者は實に天分を持つてる、第一、三十四の坂を越えてからはじめたのでは名人にはなれぬ、況んや私どものやうに六十の坂に手の届いてる者は及びもつかぬ事である。有名なボビー・ジョンスなどは、七八歳からクラブを手にして居る。踊りでも七八歳から始めぬと名人にはなれぬといふ、すべて一藝に秀づる者は碁でも將棋でも、名人になる位の者は多く十歳前後から始めてる。子供の時から始めて皆旨くなると限らぬが、その時分から始めぬと中々上手名人になりにくい。碁の名人は田村、將棋の名人は關根



の兩君にとゞめをさしてゐる、名人はさらに出来る者ではない。それだけに名人となつたら今日では世界的に聲名をはせる事になる。ヘーゲン選手は日本でも随分に持てた、本國のアメリカでも大に持てゐる。イギリスに渡り世界の選手大會へ出る時にはロンドンの一番いゝホテルへ泊る。なんでそんなに金が入るかといふと、ヘーゲンは招聘されると何萬圓とまとまつた報酬が入る、アメリカのフロリダ方面のホテル業者は、聯合して冬になると避寒地としてお客をひきよせるため、七萬弗の金を積みヘーゲン選手などを招聘する。それが一つの宣傳となり、ゴルフ流行のアメリカでは、その妙技を見るためにフロリダへ多くの客が引寄せられるのである。乃ちヘーゲンはアメリカの何十萬といふゴルフをプレイする中の一人者である。そのヘーゲンが來朝し之に對し、プロもアマチュアも今回の如きプレイを見せたのであるから、ここに我等は有形無形に得るところ甚大なりしのみならず、日本のゴルフ界の將來についても、我等は大なるインスピレーションを得たのである。

### 一五、人間放牧

人それらの好みには宿縁がある。我等は誰にもゴルフをやれと勧めないけれども、人間は

家の中にくすぶつてゐてはゐけない、都市に生活して居る人は特に然りである。少くとも日曜には外出すべし、それも郊外へ遠く外出すべし、青年にはテニス、野球、蹴球みな可なり、我等には乗馬・銃獵・散歩・或は釣或はゴルフその好むところによりて、一週に一度は野外に出て、大自然に接することは、心身保健の上に極めて大切なことである。ゴルフは贅澤だとかいふ難があるが、それは麻雀でもカルタでも謡曲でも碁でも將棋でも、どんなものにもやり方次第ではつきものである。

藏相井上準之助君は、ゴルフも浪人の時には閑潰しにはよいがあまり必要はない。忙しい時ほど一日をリンクスの芝生におくらねばならぬといふ、しかし日本では日曜でも健康保持のため休養の時を與へてくれない。永田秀次郎君は東京市長の時せめて日曜だけ釣にやつてほしいといふ、しかし事實日本では中々釣にもやつてくれない。道路の修繕を認めても、人間健康の修繕を認めないのだから、：：少くとも日曜に家居して終日訪問客の陳情を聞かされたり、ゴテ／＼家族に文句をぼやいてるよりも外へ出る、愉快に運動して家へかへる、一と風呂浴びて食膳に舌鼓をならし、あとはぐつすり熟眠する。之れは健康を損ねて病氣になつたり、やれ腰が痛むとか、腹がくだるとか云ふので、顔をしかめる、醫者へ診察料や藥代を支拂ふよりも



遙かによい。稀には天分あるものは、その道に精進して上手となり名人となり、世界的のゴルフアーとなる、それもよろしい。われらに至りてはゴルフによりて自分許りか一家をあげ愉快に面白く送りたい。私はさきに競馬場を活用せよといつたが、競馬で馬券まで賣り出すのも、畢竟馬匹改良のためである。あの馬さへも日本の在來種ざいらいしゆに改良の餘地あり、外來のよい馬を仕入れ、交配こうはいにより之れが改良を計つてゐる。その他枇杷でも水蜜桃でもメロンでも葡萄でも林檎でも、みな品種改良にとめてゐる。土質の改善が植物に必要な如く、牛馬も自由に放牧しなければならぬ。人間だつて生き物である。朝から晩まで家の中に閉ぢ込めてはよくない。煤煙塵埃の都會にくすぶらすのはよくない。たまには郊外へ引き出さねばならぬ、人間だつていや人間なればこそたまには放牧をさしていゝではないか。(昭和五年春、經濟往來)

此一節は「ゴルフ漫談」と題してあつたが、鍋島直暎侯が「まさしくゴルフ哲學である、英譯して英米へ知らしてやりたい」といはれたるを思ひ出しこゝに「ゴルフ哲學」と改題して見た。

## 釣魚とゴルフ

相當の年配になつてからは、精神的の思想轉換にも又肉體的の細胞更新にも、先づ釣魚とゴルフが尤も變化に富みて面白く、しかも心身の修養に資するに足る趣味であらうとおもふ。

釣魚は魚を相手にする、ゴルフはコースを相手にする、ゴルフは氣心の合はぬ人とプレイするよりも只獨りクラブを振つて芝生を歩むところに無限の興味がある。ゴルフを例すれば、弓と矢が長短輕重それぞれ十數種の別あり、的まとへの道筋にもまた長短高低の變化に富んだ埒らちのつなかりとなり、無限の複雑さを持つてゐる弓術の綜合とも見られぬことはない。

フーヴァー大統領は「釣魚の樂は對人的接觸により醸される精神的鐵鏈から逃れ、自由なる思索の世界に逍遙する唯一無二の慰藉である。更に釣魚によりともすれば忘れ勝なるデモクラシーの原則を思ひ出し、人間の頼り無さに自ら頭の下ることが多い。魚の前にはすべての人間は平等であるから」といふてゐる。只獨り球をかつ飛ばしつゝ青々としたリンクスの芝生を踏みしめて行く時には、まさしくフーヴァーの釣魚の辯がゴルフ屋にもそれとうなづかれる。



## ヴキジター漫談

今を去る事はや三年位にもならうか、杉村楚人冠と鮮満放浪を思ひ立つた時、京城の朝日通信局と旅程を打合はしたが、一週間近い京城滞在中のプログラムに、ウキークデーの中から一日をゴルフ行に割り振つて置くと、折かへして日曜日に組み替へてくる、又ウキークデーに組み直すとまた組み戻してくる。

京釜線で京城に近づいた頃京城通信局員が迎へに見える、先づ何よりゴルフ界ではヴキジターは日曜にはプレイできない事になつてのだと説教に及ぶと、いやゴルフの倶楽部へ話しましたら、是非日曜にしてくれと先方よりの注文ですといふ。變な事だなアと思ひながら京城驛に下車すると、迎へに見えた篠田治策・飯泉幹太其他の諸老舊友は、いきなりゴルフ行は日曜にしてくれ、クラブメンバー一同歓迎する事になつてゐるからといふ。

クラブを手に握つてまだ半年そここのへボクタの兩名汗顔と恐縮とをゴツチャにしながら君等が日曜でもかまはずにへボクタヴキジターを迎へてくれるなら喜んで伺ひませう、もとも

と當方が内地並に遠慮したまでだからといふので、京城では我等へボクタ・ビジターが日曜に大手振つてプレイもする、歓迎の午餐にも列したことであつた。

ところで歸つていくばくもなく、京城でとても世話になつたゴルフの老學友Y君が上京した、といふのは或る朝しかも日曜といふに、程ヶ谷のクラブへ見えた、バツグ携帯で勇ましい出で立ちである、時も時その日何かオフキシャルの大會もある、紅葉會やいろいろのプライヴェート・コムペチションもある、芋をごつた返へすやうな混雑である。ヴキジターはプレーを許されやう筈は無いから、仔細をつぶさに語つて斷りをいふと、せめてコースを踵いて廻つて見物したいといふ、しかし今日はコムペチションで朝早くから一番より十番より五分置にプレイヤーの番組が極まつてる、コムペチションだけに見物本位といふても、同行はプレイヤーの迷惑になるから、又々わけを話して斷つた、アンナ氣の毒な思ひをした事が無い。

だらだらとこんな事を長たらしく書いたのは、それは朝鮮と東京大阪の間の話ばかりではない、内地の地方と東京大阪の間にもよくある例である。地方へ出かけてお世話になつた同好の友が上京した、生憎日曜大祭日なるがため好きなゴルフへ案内ができない事全く困る。



困るといふはヴキジターとメンバーの間ばかりでは無い、メンバー同志の仲でも困る、それは東京に例をとると、今や藤澤・程ヶ谷・根岸・相模・駒澤・朝霞・霞が關・赤羽・我孫子・柏・六實・藤ヶ谷・等等、かなりリンクスもふえた。しかし多くのメンバーは其中の一つか二位に加入してゐるので、そうそう五つ六つと加入してはゐない、ところで筆者の場合を例にとると、

遞信省の現役及豫備の連中で遞ゴル會といふのがある。

紀州出身者の連中で和歌ゴル會といふのがある。

東京朝日のプレイヤーを以て組織せる朝日連中の會が二つ三つある。

其他臺灣關係とか、北京會とか、神戸高商の凌霄會とか、何んとかかんとかいろいろの名前の會があるが、その會員は各所のクラブに分屬してゐる、しかも官公署、銀行、會社に現役の人が多い、土曜日の午後から駈け付けるのでは時間が足りない、日曜休日にはよそのクラブへは顔が出せぬ、パブリック・リンクスでは込み合ふ、そこでオール三井などでは伊東まで出かける、遞ゴルも箱根仙石に出かけた事がある、しかし泊りがけの伊東仙石行はご大層である。止むを得ぬといふので、一橋出身の如水會員のコムペションなどは、近頃それぞれ各所屬のリンクスでプラインドでプレイして、あとでカードを持ちよせる。しかしコンデキションはそれぞれちがふ、興味は半減どころでないまさに索然たるものがあらう。

ここに於てこんな事が考へられる。駒澤が朝霞に移ると、そのあとがパブリックになるといふ、それならば大に助かるが。現在三十六ホールのコースは六實と霞ヶ關であるが、現實出来上つた六實クラブの例に徴するに藤ヶ谷のコースは中々よろしい、新しもの好きといふ事もあつた、クラブハウスはむしろ好すぎる。そこで藤ヶ谷ばかり繁昌する。されば六實コースにより如上のやうな不便を救ふのも一策ではあるまいか。

結論は僕の持論のパブリック・リンクスの増設となるのであるが、まあ取り敢へず右のやうな一策を案じて見た。

之に伴ふのはヴキジタース・フキーを今少し安くすることである、三圓はまだ忍ぶべし、五圓十圓は高すぎる。禁止の意味の日曜祭日のフキーは別として：：駒澤以外はウキーク・デーは閑散である、よろしくヴキジタース・フキーを引下げて、斯道の宣傳、かねては數でこなしでクラブの財政に資すべしである。

これには英國のゴルフ場のやうにウキークデーでも時刻を限りて一般に開放する、殊にその



土地の人々に開放するといふ事例も面白いとおもふ、もちろんこれにはいろいろ六つかしい事情もある、別に筆をあらためて他日同好の士の参考に供したいと思ふ。

一説としてクラブの費用メンバーの負擔から見ても四圓五圓、高からずといふ、それは其通りである、まさに事實である、しかし僕はゴルフ普及のためにヴジタースフキを安くすべしといふのである、それで結局収入の合計を高めるといふのである、ヴジタースを案内するときには多くはメンバーの御馳走として負擔する。それだけに安くすればメンバーも自然より多くヴジタースを案内してくるといふことにもなる。

(昭和六、十二、十七。ゴルフ七年新年號)

## ゴルフ一夕話

### 一、圍碁相撲とゴルフ

此一文は昭和七年二月横濱ホテル・ニューグランドで開かれたる、藤澤カンツリー・クラブ總會晚餐の卓上で話した談片であつて、白石君がゴルフ誌上へといふので、とり止めもなき漫談の話を思ひ浮べるまゝ書きつけたものである。最後に掲ぐる格付表は其席上にて赤星四郎野村駿吉君等がボビージョーンズはじめ米國の一流選手の格付などを標準として査定し、更に石井光次郎君の意見も參酌して、まづ此邊にと落ち付かしたものである。

「ゴルフは六つかしい、ゴルフ程六つかしいものは無い」といふ詞が、ゴルフアー連のきまり文句になつてゐる。

これほど熱心にやるのに一向ハンディーがあがらない、中にはどうもシングルになれなそうにないなどと、こぼす手合もあるのだからやり切れない。

將棋でも名人は關根金次郎一人である、大阪で坂田三吉が名人と號して大もんちやくを引き



起した。八段に木見・大熊・木村・土居・花田など五名もあるのは多きにすぎると問題になつてゐる。圍碁の方でも名人は本因坊秀哉只の一人である。黒を持つては天下無敵といはれてゐる呉清源でもまだ四段（今は六段になつてゐるが）である。

頭を使ふ圍碁將棋にして猶然かり、少々手先を使ふ撞球とならば、吾等四ツ球で一キュー二百と突き切つた時分でも、まあお前は田舎初段だネと云はれたものである。更に庭球・野球・擊劍・柔道などに至りても一流の名人といへば何れも數へる程しか無い。數へる程しかないから、名人である。そこへ四十五十の坂を越した中老、體量十四五貫の浮腰の先生、或ひは二十貫近い豚並のスケヤーシヨルダーの連中が、如何にゴルフ道に精進すればとて、之れが外のスポーツならば、氣の利いた連中はとうに引つ込むべき時代にノコノコとクラブを振つてフェアウェイを潤歩できるのがまだしも仕合せなり。庭球だつて熊谷・清水の諸選手は現役第一線は引下つてゐる。相撲では栃木山・常の花など横綱連はあの年輩であつた力量ではや土俵に暇を告げてゐる。吾等は五十前後の年輩の人が、今猶シングルハンデーを持ちこたへてゐるのを見ると、その健闘を多なりと思つてゐる。それに何んぞやゴルフほど六つかしいものはないのなどは、何ぞぞそれ厚釜しきの甚しきや。（ゴルフ格付表は後の文献篇にのせてある）

## 二、ゴルフのイリュージョン

踊りでも子供の時から始めないと旨くならないといふ。ボビージョーンズはゴルフも子供の時分からだといふ。リンクスに常詰めになつてゐるプロの玉子でも、毎日みつしり練習をつづけ、さて淺見・宮本・安田のあとを逐ひうるものが何人あらうか。それに何んぞやゴルフは旨くなれないなどと、實全くチャンチャラ笑はせるにも程があると云ふものである。

誰も碁將棋では有段者になれぬとてこぼす者も無い、どうも碁ほど六つかしいものは無い、將棋ほど骨の折れるものはないとは云はない。しかるにあの體力を要しカロリーを費すゴルフに限り、シングルになれないと残念がるのは不思議のやうではあるが、そこに無理からぬ一種のイリュージョンがある。

それはあのリンクスの廣く變化に富める事である、コースの數多く長短高低ある事である。四季の別あり風雨雪霜の差あり、バンカーあり數多くのハザードあり。上手下手にかゝはらずそこにかなり運がある、それは限られし一種同體の撞球臺に於けるフロツクの比では無い。ここに於てコースによりてはシングルとプレイしてもグロスで勝つ事も珍らしく無い。ショート



コースなどではパー珍らしからずバーディー稀なりとせず、時にはホール・イン・ワンもある。しかしそれは必しも技倆と比例するものならず、程ヶ谷で近頃ホール・イン・ワンのレコードを列記してあるが、どうかといへばヘボクタ連に多く、赤星君などの名は却て見當らない。撞球だつて上手な人もゼロキューを出す事がある問題は平均といふ事である。我偶々グツドラックであり相手が偶々ハードラックであるといふ、そのプロバビリチーの原則を忘れる、この錯覚ありこの認識不足あり、こゝに飛んでもないたは言を吐くに至る。嗚呼馬鹿々々しきかなである。

ザル碁はヘボ同士、ヘボ将棋はヘタクソ同士と、ゴルフも土掘り連中だけでコースを廻つてゐては上達の見込がない。レッスンもとる練習もする、それが何より大事であるが、さりとしてそうしたから旨くなるとは保證できぬ。ナアーニ旨くななくてよろしい、いや悪いといつても追つ付かない、只己れの健康體力器用などに比してベストをつくせば好い。

### 三、ゴルフの祝儀と玉代

殊に我等六十路の坂に手の届いてるものは、同じ年輩の友つまり學窓を同くした舊友などと、昔話をしながら遠慮のない悪口を叩きながら、お互の健康を天に感謝しつつ、雲雀の音を耳に

し青芝を踏んでゆく心持ち、その有りがたさ加減は若い方々の想像だも及ば無い。

それで僕等は先づ晝めしかワンポールナツソーなどいふサンクション付でプレイする。僕はかなり能く負ける、衆皆大に氣の毒がつてくれる。中には便宜ハンディー割引までしようといふ情け深い詞も聞く。しかし僕はお断りして負けて喜んで、尤も勝てば猶更喜んで。僕のゴルフ哲學観によれば、兎に角一日六七時間の遠出トビの約束をつけて、大の男二三人を面白く可笑しく遊ばしてゐるのである。遊ばして貰つてゐるのである。御互に夢中になつて恐悦してゐるのである。此祝儀玉代は晝飯やワンポール位では實全く安直あんちやくすぎる。相手の面相のまづい位は無論我慢せねばならぬ、況んや時には當方が勝つのであるから話がかなり旨すぎる。それで我等老人は一日おとなしく遊んで、暗くなれば無論かへる、風呂には入る、おまんまをたべる、ぐつすり寝る。活動の木戸だつて圓助かゝる世の中に、一寸黒猫や赤猫バアーに腰を付けても十圓札がけし飛んでしまふ世の中に、人間の古物の蟲干をする、日光浴をする、のび／＼と散策をする。まさに一石三鳥といふものである。

(七、七、七、程ヶ谷にて)



## エチケツト大乗

朝鮮京城から「ゴルフアー」を毎號おくつてくれる。思ひ出の多いゴルフリンクスとゴルフの友、それは僕の會遊の地が大邱に元山に京城に平壤に、朝鮮の凡てのリンクスに行き渡つてゐるから、雑誌を手にする毎に各地のリンクスやゴルフアーの消息まで、そこに云ひ知れぬ懐かしみを覚え、いつも記憶を新にしてゆく。

僕の腕前は相變らず足踏をつづけてる。聊か老功にはなつて來たが、老衰とさし引かれて、結局舊により吳下の阿蒙である。しかしゴルフの熱は少しもさめ無い、之れによりて気分の上は健康の上に救はれてる。どうかあまり遠からぬ内に再び朝鮮の地にバツグをかつぎ廻り、新粧なれる京城に平壤に、新に出來るといふ釜山などに、ゴルフ行脚をくりかへしたいと思ふてる。今日九月號の「ゴルフアー」を手にして、巻頭のゴルフエチケツトを讀過した、いささか愚論をつけ加へるべく駄筆をはしらせる。それは一つは貴誌へのエチケツトであり、一つは朝鮮舊知のゴルフアーへの御無沙汰御わびの挨拶に外ならぬ。

ゴルフエチケツトの第一と第九にパッチンググリーンに於ける注意がある、第一は

「プレイヤーのストロークの方向にあるボールの向側に立つべからず」

とある、之れはボールとボールをつないだ線のうしろ側に立たれても困るが、向ふ側に立つ場合が多くて、それにはより多く困らせられる。

なぜ多いかといへば多くの場合に甲がバツトでアドレスするとき、ホールを隔てて乙又は丙などのボールにより近くに在る事が多い、そこで乙なり丙なりがそれぞれ自分のボールのそばまで出かけてゆくから、結局甲の覗つてゐるホールの向側などに立つ事になる。

だから此場合にはその向側に立つ事も困るが、向ふ側に出かけるべく、眼の前を縦に横に斜に横切る、それがかなりアドレスの気分をこはす。

そこで皮肉な言ひ分だが「ボール」は遁げませんからマアゆつくり御まち下さい。

ところが事實は「パッチングアドレス」中でも委細かまはず、そそくさと自分の「ボール」のところへ出かけて行く。どうも「ボール」が遁げるとでも考へてゐるらしい。甚だしいのは、自分さへ「ホールアウト」すればもうよろしいと、相手が「アドレス」してる、その時の「ピッチ」を持つてゐるのが自分の「キャデキー」とする、その「キャデキー」の傍へかけて、その「バツク」へ自分の「バツト」を入れる、更に次の「チーショット」につかふ「クラブ」をが



さ／＼と引抜くなどは、あな心無き業わざにこそあれである。

## 第九には

「ホールアウトした時は直ちに其處を立ち去るべし、濫りに立ち止まり又は再びパッチングを試みるべからず。」

とある。

うしろから他の組がつづいてくるのに、眞可まさかにパッチングの練習をするものも無からうが、一番多いのはグリーンの上でスコアをつける事と、パットをかへしてバツグからガサガサと次のコースのチー・ショットに用ゆべきクラブを抜きとる事である。

此等の仕業は「濫りに立ち止まる」ものにあらずといふかも知れないが、それは濫りに立ち止まるものである、といふはスコアはグリーンの上で書かねば無効であるといふルールは無いクラブはグリーンの上で抜き替へねばならぬといふルールも無い。

次に第十一と第十二の注意につけ加へたい。それは、

第十一は「芝を切り取り又は飛ばしたる時は直ちに元の場所に置き直し足にて押し置くべし」第十二は「バンカー中にて自から造れる總ての穴は注意して埋め置くべし。」

といふのである。十一につけ加へて自分の分のみならず他のプレイヤーの分にも、切りとられし芝、飛ばされたる芝が、通りかかりとか、自分の切り飛ばしたる附近にあるときは、是非にとはいはぬが一舉手一投足の勞である、序でに元の場所に直してやりたい。それは我等のリンクスの保護である、可愛想に芝だつて生物いきものなのだから。

バンカーの中で自から造れる穴とてもおのれのボールを打ち上げ終るまでは……又はギブアップしてしまふまで……埋めてならぬ事は無論だが、さて穴を埋めるとなれば、之れも何も一自分の造つた穴だけと、より分けて埋めるに當らない、ボールに近い場所から往復するとしてが、その靴あとさてはクラブで堀りあげた穴、それは自分ばかりで無い、他人の分も序でに埋むべきである。おれが困つたから人にも困らせてやれ、そんな事はゴルフ道には禁物である、いや人間道に禁物である。

吾等のエチケツトは小乗より更に大乘まで。

秋の茨木のオープンをよう見ずに、国立公園の委員會に臨むべく夜行の汽車を待つ間に。

(七、十、七。朝鮮京城ゴルフ、七年十一月號)



## 参照 ゴルフエチケット十五條

- 一、「プレイヤー」ガ「ストローク」ヲ爲サントスル際ハ、夫レニ接近シテ又ハ球ノ直後ニ立チテ、動キ或ハ談話等ヲナスベカラズ、
- 「パツチンググリーン」ニ於テハ、「プレイヤー」ノ「ストローク」ノ方向ニアル「ボール」ノ向側ニ立ツベカラズ、
- 二、「オノアー」ヲ有スル「プレイヤー」ガ「プレイ」スル前ニ、相手方ハ「チーアップ」スベカラズ（マツチプレイノ場合ハ特ニ嚴守スベキモノトス）
- 三、「チー、グラウンド」ニアル「チーマーク」ニ注意シ其ノ後方ヨリ打出スベシ、
- 四、「チー、グラウンド」ニ於テ打チ損ジタル時、再ビ「チー、アップ」シテ打直スベカラズ、
- 五、前進ノ組ガ二回目ノストロークヲ爲シ、且ツ球ノ到着距離外ニ出ル迄ハチーヨリプレイスベカラズ、
- 又前進ノ組ガ「ホールアウト」シテ其處ヲ立チ去ル迄ハ「パツチンググリーン」ニ向ツテ「プレイ」スベカラズ、

- 六、接近セル「コース」ニ於テハ其ノ相對セル「コース」ヨリ來ル「プレイヤー」竝ニキヤデーニ注意シ、「ボール」ノ到着距離内ニアリト認メタル時ハ、豫メ「フオア」ト聲ヲ掛ケタル後「プレイ」スベシ、
- 七、「コース」ノ前方ニ土手又ハ其ノ他ノ障碍物アリテ觀測不可能ナル場合ニ於テハ、隣接「コース」ヲ前方ヨリ進ミ來ル者、又ハ同一「コース」ヲ前方ニ進ム者ニ注意シ、「キヤデー」ノ相圖ヲ待チテ後「プレイ」スベシ、
- 八、競技中「ホール」ニ近キ處ニアル「ボール」ハ常ニ相手方ノ後ニ「プレイ」スベシ、相手方ヲ殘シ獨リ先ヅ「ホールアウト」スベカラズ、
- 九、後方ヨリ他ノ組ガ來ル場合ハ「パツチンググリーン」ニテ「ホールアウト」シタル時ハ直チニ其處ヲ立チ去ルベシ、濫リニ立チ止リ又ハ再ビ「パツチング」ヲ試ミルベカラズ、
- 十、見失ヒタル球ヲ搜索スル間ニ、後方ヨリ他ノ組ガ來ル場合ハ合圖ヲ爲シテ其ノ組ヲ通過セシムベシ、而シテ一旦通過ノ合圖ヲ爲シタルトキハ、其組ガ通過シテ球ノ到着距離外ニ出ヅル迄ハ「プレイ」スベカラズ、
- 十一、芝ヲ切り取り又ハ飛バシタル際ハ、直チニ元ノ場所ニ置キ直シ足ニテ壓シ置クベシ、



- 十二、「バンカー」中ニテ自ラ造レル總テノ穴ハ注意シテ埋メ置クベシ、  
 十三、地面ノ柔キ時ハ「キヤデー」ガ「ホール」ノ近クニ立チテ「ホール」ヲ傷ツケルコトナキ様  
 ニ注意スベシ、  
 十四、「ペナルテイ」ヲ科セラルベキ「ストローク」ヲ爲シタルトキハ、直チニ其ノ事實ヲ相手方  
 ニ告グベシ、  
 十五、三人一組トナリ各自ノ「ボール」ニヨリ「プレイ」スルコト（スリーボール）ハ差支ナキ  
 モ、五人以上一組トナリ各自ノ「ボール」ニヨリ「プレイ」スルコトハ遠慮スベシ、

クラブ・ハウス

石井 睡蓮

此一篇は次にかゝる晴遊雨讀の前書ともなるべきもので、文藝春秋八年三月號  
 の「中年ゴルフアー」中の一節である。

こゝ數年間にゴルフクラブが加速度的に増加した結果、自然どのクラブにも立派なハウスが  
 設けられる事になつた。朝霞・藤澤・藤ヶ谷・茨木・廣野の堂々たるコンクリートの建物に對  
 して霞ヶ關・相模等の淡々たるカツテヂ風のものも現はれ、異なる趣を以てゴルフアーに喜  
 ばれてをる。が、さて此のハウスがどれ丈け會員に利用されてをるかといふと甚だ心細い。自  
 動車で飛び込んで來ると直ぐロッカーで衣物を替へ、大急ぎでコースに飛び出して行く。晝め  
 しもそこそこにして又コースへ。夕方落つてビール一杯も傾ける人達はまづ上の部で大概  
 はサツサと歸つて行つてしまふ。クラブにどんな掲示があるかさへろくろく見ない人が多く、  
 暫定のルールが出てをるのを見ずにコースに出て折角のスコアがデイスコウリファイになるな  
 ども間々見かけるところである。私はこんな人達に何故もつと落付いてハウスの氣分をエンヂ



ヨイしてくれぬかといひたいのだが、多くの人は俺はサンデーゴルフアーだ、そんな悠長な事はしてをれぬ、俺は晝間ゴルフする代りに夜は家族と飯を食はねばならぬからサツサと歸るといふ。それもこれも御尤もである。私はこれに反対はしない。

實例をあげてお話ししよう。

朝日新聞社の副社長下村海南博士は大阪・東京間を断えず飛び廻つて、講演に執筆に寧日なき人である。其時間の間をくゞつてはよく程ヶ谷カンツリークラブに其姿を現はす。練習もする、相手が出来れば廻りもする。疲れゝば本を読んだり、書き物をしたりする。雨の降る日でも閑があれば出かけて行く、二十萬坪の青々とした庭を見て悠然と構へてをるのは又人生の楽しみの一つだといふ。

私はこの氣分を皆に持つてもらひたいといふのである。ゴルフクラブだからとてゴルフする丈けが能ぢやない、よいハウスが出来、愉快な部屋が出来た今日、其中に座してゴルフせぬゴルフクラブの楽しみを知つてほしい。殊に「若からぬゴルフアー」など雨の中を無理にラウンドして勇名を轟かす必要はない。「雨讀晴遊」？ こゝにゴルフは一段と其價值を増すわけであると思ふが奈何。

## 晴遊雨讀

### 一、晴振雨筆

石井睡蓮子吾れに問うて曰く、「文藝春秋三月號の『ゴルフ』を読みましたか？」

「イヤまだ……」

「見て下さいあなたの事を主題として書いてありますから……」

九時二十五分梅田發の上り列車の寢臺に入る、早速文藝春秋をくりひろげる。いかさま「あなた」の事が書かれてある。實全くその通りである。

あくる朝の八時半横濱につく。恒例により下車して程ヶ谷のクラブハウスへ、カーをはしらせる。今日はひるから、新聞聯合の理事會、引つゞいて二三の會合がある。午前の三時間だけ悠悠自適しようといふのである。

小一時間只獨り久し振りにクラブを振りて練習をつゞける。飛行機が爆音を立てゝ上空を飛ぶ、仰ぎ見れば小雨がポツリ〜と顔をうつ、松が枝を傳つてしづくはヒヤリと襟元に落ちる。



アチコチにクラブを振つてゐたキャデキーの連中も、一人減り二人減り姿をかくす、僕もクラブハウスへ引き上げる。

僕はウキークデーにクラブへくる時に友達を誘ひ合はすといふ事は殆んど無い。それは一つは電車汽車の中又はクラブハウスにて新聞や手紙などに眼を通したい、さらに時があらば冊子類を読む、原稿ものに黒ペン、校正ものに赤ペンをはしらせる。無論共に語るべきへボクタ老類が現はれると、勝手なヨタを飛ばし飛ばされつゝリンクスをまはる、只獨りブラ〜と廻る事もある、練習？ それも運動本位にクラブをふる。何等拘泥するところなく執着するところなく、しばられずこだはず水の流るゝが如くに肉體と精神の保健やら榮養やらに、心身を引きしめるやうな又くつろげるやうな氣分を味ふ事にしてる。

だから今雨が降つてきても別に忌々しいとも残念とも思はない。クラブハウスへ引き上げる、そこには誰一人メンバーの顔も見えない、というて直ぐ歸り仕度？ そんな慌しい氣分は毛ほども出てこない、何よりも僕のやうな老體がぶつ通してクラブを振れるものでない、前以て眼を通したい冊子が三部と、筆にすべく催促された隨筆ものと論文ものゝ資料など持参してきてる、多少共片附けるには持つて來いである。

僕はこゝに數多いクラブハウスの品定めをする暇は持たないが、程ヶ谷のクラブハウスで右の方打出の松から沖見臺一帯の高原より間近かく雲雀が丘、昭和通り辨慶松から十八番のグリーンをながめ、左にはアルバードから夕陽ヶ丘一帯の松林、正面には扇坂から貝塚平たひらの高臺、そのさきに女夫松めをとと鈴が森の間にわたる峰の松原は、その風光いつもながら得も云はれない。さて約束ものゝ隨筆を筆にせんと卓子によつて見ると、何んだか文藝春秋のゴルフ欄に一言したいやうな、之を裏書したいやうな心持になる。靜かにコーヒをすゝりつゝストーブの側に卓を引きよせつゝ、晴耕雨讀といふが晴振雨筆の境地にしたり、今この一文を草してる。こゝまでペンを走らせたゞけで僕の裏書はあまりに如實であり靚面である事は誰しもうなづかれずに居られぬと思ふ。そこで重ねて云ふ。ペンをはしらせぬまでもせめて詩歌など軽い書冊や雑誌類位はポケットに忍ばせて、睡蓮子の「雨讀晴遊」せんことをおすすめる。

## 二、湯川寛吉君とゴルフ

晴遊雨讀

石井君のゴルフ欄の前書に湯川寛吉、森恪の二君がゴルフのために死期を早めた。これぢやウカ〜ゴルフはやれぬといふ一部の取沙汰に對し、例外を以て原則に對し文句をいふのは當



らないと言してあるが、この序説についても事の序で一言して見たい。

湯川君は風雨の中でゴルフをする、風邪をひく肺炎になつたといふ風説が高い。一昨年の一  
月箱根仙石の遞信關係者のゴルフトーナメントの時、湯川君が風雨について勇名を馳せた事は  
かなり評判になつてゐる。宮の下の富士屋ホテルから雨を衝いて出かけた事は、たま／＼同宿  
した當時の風月堂楯圓卓子連の前田米藏・二上兵治・今岡純一郎・津村秀松の諸士はもとより、  
湯川君と同行した僕とても眼を丸くした事は事實である。

しかしハイキングする者登山する者、さてはスキー・スケートをする者も、さては釣を樂し  
む者すらも、風雨を凌ぐ事は必しも稀れでない、同時に何事も無理してならぬ事はゴルフに限  
られない、しかし湯川君の箱根仙石ヶ原の勇名と君の肺炎とちかに引き結ばれてゐるならばそれ  
は全然誤りであつて、仙石ヶ原は昭和五年十一月二日であり、風邪は翌六年五月二十二日の話  
である。それは岡崎邦輔老の喜壽の祝いと肺炎からの回春祝を六甲山腹の拙宅海南莊にて催せ  
る小宴に、君は共に半日の歡談をつくし、歸宅されてから後の事であつて、そこに半歳以上の  
時のへだ／＼りがある。

### 三、内田嘉吉君と秦豊助君

まあしかしゴルフの爲に湯川君は死期を早めたとかいやゴルフをやつて居たからまだあれま  
で壽命を引きのばした、病氣と闘ふのだとか、そんな水掛論はやめにする。要は何事にも程  
があるといふ一言につくされてゐる。近いところで、内田嘉吉君である。病臥前二日前君と來春  
は大にゴルフをやらうと話し合つたが、年末であり歸朝早々のためにゴルフに遊ぶ暇もなく、  
平生至つて健康體なだけに、風邪を押して講演なり宴會をつゞける、病は昂進して肺炎となり  
忽焉として斃れた。病臥前一回でもゴルフに出かけてゐたら。ソレ内田もゴルフでやられたと  
いはれた事であらう。

會の席上に揮毫しながら往生を遂げた秦豊助君も亦頑健を以て鳴つて居た。冬でも扇子を使  
ふ、何よりも眼さへ明いて居れば煙草をくすべてゐる。僕は統制委員會では君と席を相隣して  
ゐる、椅子をすつと後方へ引きさげ彼氏の煙襲を避ける。僕はかゝさず君に一面に節煙と、一面  
にゴルフをすゝめた。その内交詢社屋上の練習場に屢々君のクラブを振るのを見た、始めはお  
れはリンクスへは出かけないといつてゐたが、とう／＼出かける事になる、成程六つかしい。



しかし面白いといふ述懐を耳にした。君とてもあの數日前ゴルフへでも出かけてゐたら、秦もゴルフの爲に死期を早めたといはれたかも知れない。

人間一匹も死ぬとなるには、體質なり、病狀なり、診斷なり、養生なり、手當なり、そこに色々と數多い事情がゴングラがへつてくる。ゴルフをやるから死期を早めるなどは馬鹿々々しい話であるが、さりとてゴルフをやれば長命である中々死なぬといふ事になつたら、ソレこそ過剰人口の日本では騒動である。大體戶外に於けるスポーツは凡て保健の爲によいにきまつてゐる、日光浴をしながら清鮮の空氣を吸ひ、大空を仰いで運動するのである。

室内で煙草をくゆらし甚しきは酒杯を手にして、圍碁、骨牌、麻雀などに夜をふかす、運動せず腹をへし曲げたまま、吸ひ飲み且つ喰ふ、それは決して保健の道ではない。

スポーツは體育の爲め原則としてよろしい、程を過ぎるとよろしくない。運動不足で不規則に飲食し喫煙、飲酒、室内に夜ふかしなどは、原則としてよろしくない、いや絶対に全然よろしくない。僕は數多いスポーツの中でもゴルフに釣などは、老境に入りても心身の保養に適してゐる。退屈せず面白い。獨りでも楽しみ得るものとして禮讚したい。

(雨けむる峰の松原をのぞみつ、八、二四・程ヶ谷にて。文藝春秋、八年四月號)

## ゴルフ禮讚

一度ゴルフの味を覺えるともどうしても止められ無い。それは老若に通ぜる適度の健康方法であり、とても面白いからである。戶外の日光浴、雲雀啼く空を仰ぎ、眞さ青き芝生を踏みしめ、ボールをカツ飛ばしてゆく、それが愉快と健康とをあはせかねる。しかも野球庭球の如く過激でない。互に自分のボールを飛ばしていく。相手をビートするとか相手に邪魔をするとか、そうした交渉もタクトも無い。靜かにしかも愉快な、只獨りにてもエンジョイできる、そこにゴルフの上品な靜かなる面白味がある。

こゝにはゴルフの面白味の中心ともいふべき變化といふ事だけ一言する。

第一に場所である。撞球はもとより庭球・野球・排球・蹴球などに比して、十八ホールス十七八萬坪にも互つてゐる地積を舞臺にしてゐる、それだけにとても變化に富んでゐる。

十八のコースの長さは、二百ヤード未滿より五百ヤード位までそれ／＼コースの長にも幅にも長短がある、高低がある、フェアウェイの外にラフあり樹木がある。念の入つたのは山越



えあり、谷越えあり、池越えがあり、川越えがある。米國などには海越えもある。伊東川奈のエス・オー・エスなどもその一例である。

自然の變化にあきたらず、更にボールをホールアウトさるゝ附近などに砂地のバンカーがつくられてある、ボールは一寸したバウンドでバンカーには入る。少くともワンショットは損をする事になる、そこにチャンスがある。

百ヤード以上飛ばした球がグリーンの小さいホールへ御免なさいとも何とも云はずコロゲ込む事もある、グリーンにオンしてからホールに入る迄にバットの數一回二回、甚しきは四五回に及ぶ事すらある。そこにチャンスがある。

コースの芝生も冬は枯れる。春から青ばんでくる、梅の花咲く頃、櫻桃の色をきそふ頃、期節々々の變化あれば、縦に横に風もあり雨もある、變化は數知れず無限である。

只グリーンの中のみならば、ベビーゴルフに見る如く撞球とさしたる相違も無いが、ホールへの距離によりて百ヤード位飛ばすことあり、百五十・二百、二百五十ヤードと、距離の長短に應じてボールの打ち方もちがひ、又打つ道具も異なつてゐる。それが鐵槌投げとか弓術などの單調なるに比して著しく趣を異にせる所以で、大體木のクラブ三本と、アイアンの八本

にパッターと、辨慶の七ツ道具以上クラブの別がある。グリーンへ墜ちてもランしてさきのバンカーなどに轉げ込まないやうにと、バックスピンをかけて高く打ちあげ、グリーンへ落ちてランしない、そうした技巧本位の打方もある。コースの傾斜により打上げる打おろす、ショットの道筋に樹木などあれば球ヘスライス又はプールをかけて、右へ又は左へ森などの障礙物をそらしてゆく、或はとても高く打上げて越してゆく。そうした技巧の變化がチャンスと相まちて無限の興味を來たす。

その上に庭球・野球・撞球などは、いづれの地にありても、全く同じスケールによるべきだが、ゴルフのリンクスは當然すぎるほどリンクス毎に皆趣を異にしている。海岸のリンクスあり平野のリンクスあり、山地のリンクスあり、土質の相異變化もあり、樹相、山水、池沼、谿谷など、とりくゝの變化がある。従つて内地はもとより海外いづ地に至りても、その一々趣を異にせるゴルフ場を遍歴する事が、名所舊蹟のそれの如く見物本位から見てもこよなき楽しみである。どこからどこまでも變化といふ事、劃一的でないといふ所に興味をそよる。

プレイの仕方は庭球・野球などは極めて單純であるが、撞球には二人突三人突とか、三つ球とか、スリー・コシン取りとか、パール・ラ・ルージとか多少變化があるが。ゴルフは獨りで



可なり、二人三人四人かなり、それが各別にも又組みにもなる、勝敗も全體のコースを通じて打ちし數によるメタルプレイもあれば、一コースづゝの勝負によるマツチプレイもある、或はエゲインスト・バーとかボギーとか、エクレクチックとか、曰く何曰く何、そのプレイの仕方が數限りなく多い。

こんな事を書き出すと際限がないが、何分ゴルフリンクスに一步も足を入れない人達には何んと書いて見ても糠に釘である、猫に小判である、馬の耳に念佛である、盲の垣のぞきであるから、もう此邊でやめる。

只一言する、ゴルフには如何に深入りしても勤め人ならば土曜の半日とか、日曜祭日の外にプレイできぬ、それも天候に恵まれねばならぬ、日が暮れたらイヤが應でも止めねばならぬ、これが碁・将棋・麻雀・撞球となれば、夜晝の別がない。毎日多少共時間を潰すが例である、とてもゴルフの比ではない、ましてゴルフには保健といふ大々景物がついてる。

柔道とか庭球などは手荒すぎて老來手に合は無くなつて來た僕は、ゴルフによりて幸に健康に恵まれてる。同時に僕は碁・将棋・麻雀・撞球等凡てを止めてしまった。僕はもう六十の坂に手が届いて來た、年が年だからよしんばゴルフ道に入らずとも、宴會とかその他の夜ふかしには、

昔はかなり名聲を馳せたものだが、今はすつかり引つ込主義になつてゐる。昔は洋食反對であつたが今は日本宴會反對となつてゐる。變れば變るものである。更にゴルフに入りてより變つたのは、夜遅くまで讀書殊に執筆することを斷然止めた事である。それで成るべく早寝をする氣になる。ゴルフとなれば前晚前々晚頃から心嬉しくアテにし楽しみにしてまぢかねる。丸で遠足か運動會の前晚の小供の時の心持と同じ事である。それは我等老輩ばかりでない。若い連中も明日の日曜大祭日にはゴルフとなると、今まで夜ふかしを例とした前晚が却て早寝になる、食養生もする、面白くてさう過激でなくて、變化があつて同時に健康をエンジョイする、此意味に於て僕は釣とゴルフは存外相似通へるものありと思ふ。

僕は今ゴルフによりて餘命が幾分とも長びかれる外に、日常精神的にも肉體的にも健康が保持されてゐる、それをハズミにして年輩としては割合に活動もできるのだと思ふてゐる。

(昭和八、三、四、オリムピック。八年四月號)

時もちがふ、のせてる誌上もちがふ、似た事がくりかへされて讀みづらいかも、知れないが世上へいかにゴルフの理解を求めつゝあるかといふところに、お目をとめられて、又かといはずに讀過してほしい。



## 自動車、自轉車、帽子

英國では自動車の運轉許可證は約二百八十萬、その約五分の一は婦人であり、休日のドライブデーなどに、倫敦眼貫めみきの交叉點では、二臺に一臺は婦人によりて操縦されるといふ。

尤もアメリカでは近頃婦人の自轉車の綱渡りつなわたが流行してゐる。そりや危いぢやないか、イヤ何よりもそんな事がソウざらに出来るものかいなアといふなかれ。自轉車のタイヤを外し、車輪の溝へガツチリとロープをはめ込み、下では又友達がハンドルに結びつけた二本のロープにぶら下り、宙釣りのまゝ重味をかけてゐるから、外れつこがないといふ。さりとは！

何も自轉車で綱渡りといふだけでない、近頃はモウ自動車でもあるまいと、アメリカの婦人は自轉車の方へ逆戻りして來たといふ。ハイキングのはやり出す世の中である。自動車より自轉車の方が運動になる、といふのらしい。

僕は近頃逢ふ人毎に、マア何んといふ色の黒さかなと不審を打たれる。僕は一々無帽勵行の爲なりと説明する。なぜ無帽子になつたかといふから、少々糖尿の氣があつて、デンマシ式

の皮膚病になつたので、日光浴により外部から直接皮膚を焼く、ゴルフブレイの運動により内部より血行の働きを能くする。そこへかつてヘーゲン選手一行の渡來するや、それら選手がいづれも無帽なるのみならず、盛夏の炎天にブレイ見物のギャレリーの群衆はと見るに、日本人といふ日本人は悉く帽子を冠つてゐるが、外人の多數が無帽である。それから僕は炎天でも冬空でも無帽で通す事にしたと辯じ上げる。

ところがそれは無帽でなくて無謀だといふ。いかさま急に此炎天にムボウになるはランボウであるが、次第にならしてゆけば故障がない。

日本人の帽子をかぶるのも維新この方である。未開地の土人は皆無帽である。何よりも近頃着帽の本家の歐米では段々無帽になつてきた。獨逸などは盛んに無帽を奨励してゐる。何を苦しんで？日本人が歐米の遺風を丹念に眞似せねばならないのか。支那の漢字を漢音、吳音、唐音など、取揃へ保存して喜ぶ日本人、無暗に帽子を冠りたがりフロツクコートを着たがる日本人。そうした日本の婦人は又これから自動車の運轉をする、さらに自轉車へ逆戻りするといふやうな手順を、遅れ走せながら追うてゆくのであらうか、どうか。



## 涼を趁ふ

ゴルフ誌から「涼を趁ふ」といふ題目にて一筆をといふ。

避暑旅行も涼を趁ふのであらう、電氣扇を前にしアイスクリームをなめるのも涼を趁ふのであらう。しかし既に寒稽古あり耐熱行軍などあるからには、ゴルフアースの涼を趁ふといふは、ゴルフその道に精進するにありと云はねばならぬ。

碁なればザル碁、撞球なればバラ球、ゴルフならば同じ土ほじりの手合にてもよし、焼きつく盛夏の芝生をふみしめ、力のかぎりプレイをつゞけ汗だくになる。クラブハウスへ引き上げてシャワーをとる。そのあとのアイスウォーター、冷し麥酒、そこに涼味津々として盡きざるものがある。

まして練習をつゞける。レッスンをとる。之れが暑中休暇の折とて、一週間二週間とツメテ練習をつゞける事ができる。その結果がアプローチ及びパットの正確さを増す、チーショットが二十ヤード五十ヤードと延びて来る。そこに又他人の想像し得られぬ涼味がなければならぬ

シングルになつた石井光次郎君なども、ある夏半月ばかりツメテ浅見プロにより程ヶ谷の練習臺に猛練習をつゞけたのが、今日ある所以であると聞いてゐる。

老骨僕の手前味噌をならべるのは、少々口はゞつたい話だが、昨今……敢て昨今といふ、そのうち又々スランプに陥るべく、僕のゴルフはあまりに變化に富んでるから……僕のチーショットはいさゝかのびて、程ヶ谷の四番の如きは、富士見平のフラットを越え、向ふの谷へおとすを例とし、折々はウインターグリーンにオンする。ナアーニそんな事は珍らしくも無いといつても五十九歳の老骨、少くとも僕としてはかなりいゝ氣持なものである。そのチーショットの延びたのもクラブが振り切れるからであり、振り切れるやうになつたのは、五月中頃一週間ばかり、つめてレッスンをつゞけた賜物に外ならない。

球は飛んでも飛ばなくても、クラブが振り切れて、クラブが軽く脊にあたる、あのフキニツシュの心持のよさはまさに涼味満喫といはねばならぬ。(ゴルフ、昭和八年八月號)



## 木村森藏君のゴルフ死

仙石貢・末延道成の兩老をはじめ、内田嘉吉・田中次郎君などが死んでも、ゴルフで死んだとはいはれなかつた。井上準之助君に至りては殊に然りであつたが、湯川寛吉翁や森恪君はゴルフで死んだといひはやされた。更に近く木村森藏君が又ゴルフで死んだ。

ゴルフをやつても死ぬ、やらなくても死ぬ。ゴルフをやつて死なぬときまると皆ゴルフをやる、いつまでも生きられては祖父、曾祖父、曾々祖父、曾々々祖父と列をつくつて並んでゐる。一家一族人間で眼白押しとなり、やゝこしくなつてやり切れない。そこでゴルフをやつても矢張りいつかは死ぬ事になつてゐる。只ゴルフを嫌ふ者はそれ見た事か、ゴルフをやつたから死んだのだといひ、ゴルフを好む者はゴルフをやつたればこそ、まだあれまで生きのびたのだといふ。それだけの違ひである、大した事では無い。

木村森藏君はまさしくゴルフで死んだ。彼氏は選りに選つて昭和八年十二月三十一日に死んだ。それで死の前日あたりまでゴルフをプレイした、暮の二十七日には赤星四郎君等と朝霞で

翌二十八日には程ヶ谷で石井睡蓮等と2ラウンドもプレイしてゐる。まだその前日も前々日もやつたらしい。しかもその日の夜行で大阪へかへる途すがら茨木に立ちよる。丁度僕が今村幸男・村田省藏の諸老とプレイする、そのあとへ君は今村宗太郎・栗屋仙吉の二君とついで來た。

此日もまさに2ラウンドで、午前のラウンドにはメダリストであつたとかいふ事である。

一體彼氏は動脈瘤といふ不治の病に取りつかれてゐた。動脈血管の内壁に何かと故障がおこる、そこへ血の流れがこだわると、次第に窪みを生じ、それだけ外部へふくれはじめ、外から見ればまさしく瘤である。血管の故障だから手術は出来ない、瘤は次第に擴大される。ふくれて神経腺とか食道とか呼吸氣管などに觸れてくれば、ゴルフどころか絶えず痛みを覺えて、横臥してゐるさへままならぬ、若し又さうした急處に觸れずとも、瘤がハチ切れて破裂すれば一と息にまゐつてしまふ。

話が臨床講義のやうになつたが、さて彼氏の動脈瘤は幸に急所は外れてゐた爲に、當初は一年有餘ゴルフを禁止しおとなしくしてゐたが、そろそろと醫戒を破り、まあパットだけアプロイチだけと、いつのまにかハーフランドとなり、それが又ワンラウンドとなる、更にツーランドになる、最近珍らしくプロに學んで大に得るところあり、當りがよくなつて、此前の茨木のラ



スト・コール・カップを手に入れる。調子に乗つて前にも記したるが如く、連日2ラウンドの強行軍と迄なつたのである。若い達者な男さへ疲労する、況んや彼氏に於てをや、本人に云はすとどうせおれはさきは長くないのだから、太く短くゴルフもやりまくつて死ぬのだといつてゐたが、二十九日の午後にはさすがに大儀そうに見えたので、パートナーから止めたらどうかとまでいつたそうだが、ナーニとばかり少々痛みも覺えたらしいのを我慢して2ラウンドをやりぬき、更に卅日は雨だつたが、此日もやつたといふ説と、いややらぬといふ説がありよく分らない、査問委員會へ呼び出せば分かるのだが死人に口なしである。兎に角三十日はクラブで中橋武一君などと、新春の二日コース開きには原田六郎氏・北村榮次郎氏フォアサムにてプレイすべく打合はせたといふ。

それが三十一日にコロリと亡くなつたのである、人生無常といふも愚かなりである。まだ年輩も中老であり、大同電力の副社長として、大阪の財界でも一寸型ちがひのタイプだけに大事な役者であり、又東西に股をかけてるプレイヤーとして、關東關西ゴルフ界の聯絡疏通係として重寶な役者であり、今更に惜い事も惜しいが、既に不治の難病にかかつて居たとすれば結局時の問題である。彼氏としては珍しくも此病にかかりながらも最後までゴルフをプレイする事

を得、おまけにラスト・コール・カップを片手に抱へ、スタコラとあの世へ鞍替へするなどは、とても鮮かにシヤレのめした。フアインプレイといはねばならぬ。

彼氏こそはゴルフに依りて死を早めた事は否めないが、見方に依りてはゴルフにより病より救はれた、否、難病の苦しみから救はれた。却つて他人の企及しがたい、らくな死期を得たともいはれぬ事は無い。僕は彼氏とはかけちがつてとうとう生前プレイせず仕舞である、二十九日茨木の一番で四五分間會談したのが終であつた。いづれ三途の川のリヴァーサイドゴルフで、あまり遠からぬうち共にプレイする事になるであらう。老人の僕があとへ残されて、逆縁ながらゴルフに恵まれて死せる彼氏を、ここに同好の友と共に恭しく敬弔する。

(昭和九、二、二三、ゴルフドム)



## 程ヶ谷クラブのキャプテンを受けて

## 一、小 引

劇評家と俳優はちがふ、キャプテンもシングルでなければゴルフクラブのなれぬといふことはない、東京は留守勝でも、大阪と東西の連絡をとる人も入用である。兎にも角にもキャプテンになつてといはるゝまゝに引き受けた。

僕は随分いろいろの會長とか理事長とか委員長とか澤山の肩書を持つてゐるが、事實今度の程ヶ谷のキャプテンになつたほど嬉しい事は無い。それは僕はあまりにも程ヶ谷に深い執着を持つてゐるからである。しかし一旦お受したからには一應僕のクラブに對する主義方針だけは公表して、今後何分の理解と協力を仰ぎたい。

程ヶ谷は東京及横濱から交通關係に於て特に恵まれてゐる、さらにクラブハウスの地位もクラブハウスの間取り配置も、他のそれに比して遙にぬきんでゐる、只現在の大きな缺點はヤーデーの短かい事である。

## 二、ヤーデーチとハンチ

現に或クラブからデュー・ジー・エーにまで、各クラブのハンチの公定相場を建てゝほしいといふやうなことも申出であるが、假令公定相場が立てられたにしても、よそのクラブでプレイする時に、一々おれは程ヶ谷だから一點ます二點ふやしてくれといふ事はいやである。程ヶ谷へのヴキジタースに君のハンチは一點へらしてくれ二點差引いてくれといふのはいやである。

更に關東又は全國の大きなコムペチションを開催するときに、ヤーデーチの短き爲め、程ヶ谷がその選に漏れる、又その選に入るために特に運動せねばならぬなどは好ましい事でない。僕のやうなやつとハンチ二十を切つてゐるものにとり、再び二十代に逆戻りなどは心中いささか辛い、もともと甘いハンチならば普通のルールに引き直す外が無い。

此意味を以て先づ程ヶ谷のコースはヤーデーチをのばして、そのハンチも他の多くと同じレベルに置きたい。之れがグリーンとハンチの兩委員會へ又メンバー諸君への希望であるが、グリーンは石井委員長はじめ委員には現にアウトの四、五、六番に通じ大工事を起して改善中であり、いづれ又インの方でも十一、十二、十三、十五、十六あたりでそれぞれ改善を圖られる



ことと思ふ。

コムペチションではA、B、C、三クラスの分類の標準、エクレクチックのプレイのやり方、フワイシャルと紅葉會のチーマークの統一等々、これらは細かい事であるから、ここには凡て略する。

### 三、ハウスの内と外

ハウスに付ては將來九番、十番のコースの改善により、その位置に多少の變更を見ることがあるかも知れないが、ハウスの溜り場から一番のチーと話を取り交はしうることに、九番から十番へ、又十八番から一番に移るとき、ハウスに沿うてゆくといふ事だけは今後共斷じて持續してゆきたい。よそのリンクスではハウスの位置に恵まれぬため、休日など飛入りではプレイができない、ひいてメンバー相互の顔なじみが付きにくい。程ヶ谷のメンバーは殆んど全部互に顔なじみとなり、挨拶をとりかはし、いつにても誰とでも組み合わせができる、それはメンバーそのものの顔振によるが、實にリンクスとハウスのロケーションに負ふ處が少くないと思ふ。更にハウスの間取りとか又ハウス内の額などの取りつけには、現在の英國あたりのゴルフの

繪もよろしいが、程ヶ谷の歴史を語るべく、ホール・イン・ワンの表とか、コースレコードの表とか、浅見などのオールオープン選手權の記録とか、ヘーゲン一行、メルホーン一行などのエキシビションの記録とか、そうしたものを忘れられぬうちに掲げて置きたいと思ふ。

### 四、キヤデキーとプロ

さらにキヤデキーについては大體國際的にも強いプロをつくりたい、又程ヶ谷としても浅見の二世三世をつくる事が肝要と思ふ。彼等をして常に向上を念とし、精神的にも肉體的にも進歩改善せしむるためには、キヤデキー・トーナメント、キヤデキーの待遇、ロツカー・ボイー、アツシスタント、キヤデキーマスター、プロ等の身上に注意し、見込のあるものには學習の途も開くなど、常に絶えざる同情と督勵につとめたい。同時にキヤデキーの訓練がプレイヤーに尤も大なる影響を來たすのみならず、特にヴキジタースに對し親切ていねいであるやう、周到にして嚴肅なる監督を必要なりとおもふ。

### 五、我等の使命





近時ゴルフ課税の問題もあり、かなり其可否については議論の餘地もあるが、いづれにしても會計の上に節約すべきものは節約する、同時に又ルーズにならぬやう絶えず整理につとめ、どこまでも鞏固なる財政の上に立ちたいと思ふ。序でながらベツトなどについては、末弘博士のベツトにつき筆にせるところをよく玩味してほしい。

之を要するにロケーションに恵まれ又クラブの氣風に於て好い評判を取つてる程ヶ谷カンツリー・クラブは、一面にヤーデーヂの延長によりて他とレベルを同じくする。會員は今までの美風をどこまでもいやが上に好くしたい。メンバーも事務員もキャデキーもみな明るい朗かな紳士として友人として、共に共に程ヶ谷クラブの健全なる發達を圖り、ひいては日本のゴルフの隆昌に資するところありたいと思ふ。

以上は萬人共に其感を一にするところで、僕が事々しく述ぶるまでも無い事であるが、三月十六日委員總會にて述べし、大要を思ひ浮ぶま筆にし、ここに會員諸君の御心付を乞ひ、今後一層の御理解と御援助を願ふ次第である。

(昭和九年四月十四日四國通路を終りて、H・C・C・四月號)

### プレイヤー對キャデキーの話

プレイヤーのキャデキーに對する訓練、キャデキーのプレイヤーに對する訓練？ 訓練で何かしければエチケツト？ それもおかしければ心がけ、さてはキャデキーの中から好いプロの養成、曰く何、曰く何と、キャデキーについてもかなり筆にしたい事が多い。

僕は程ヶ谷がホームリンクスになつてる關係より、いろいろの注文を聞かされるが、その中でプレイヤーとキャデキーの組み合せといふ事につき、聞きもし答へもした一とくさをこゝに書きつけて責をふさぐ事にする。

キャデキーに正直なもありズルイのもあり、定雇のよいキャデキーもあれば、日曜祭日に臨時駆り出しの馴れないキャデキーもある。プレイヤーにも會員もありヴキジターもある、又それ／＼に上手なもあり下手なもあり、同情心の強い氣のやさしいのもあれば、怒りツぽい氣まぐれなお方もある。

ならしてヴキジターや下手な者には馴れないキャデキーがつかたがる、イヤおつつけるとい



ふ苦情もあるから、僕は委員會の席上でもいつた事である、もしヴキジターをつれて来た時に、キヤデキ―に甲乙の別があれば、ヴキジターの方に甲のキヤデキ―をつけてくれ、黙つてゐても甲のキヤデキ―は會員側のプレイにも氣をつけるはもとより、折角ヴキジターをウエルカムするつもりでつれて来ても、キヤデキ―がよくないためヴキジターの氣を悪くしては、態案内して来たところをさしをあたにする事になるからといふのである。

無論ヴキジターを案内するのはウキークデーを例とするから、馴れないキヤデキ―をつける事は少なからうが、よく問題になるのは日曜祭日の時に、同じ會員でも下手なものに馴れないキヤデキ―をつけるといふ苦情である。

これは僕の様子に下手であり又東西あらゆるリンクスを泳ぎ廻つてゐるものには、人さまから云はれなくてもいつも親しく親しく體驗する事例であつて、正しくそうした氣分を味ひがちである。だからそうした苦情は身にひし／＼とこたへる。事實下手な者ほどソケットする、ラフに入れる、アウパンする、そこへキヤデキ―が馴れないときてからボールは中々見つからない、時間がかかる、ボールの無くなりビリチーが多くなるから、益々平静を失ふ、むやみにへツドアップする、クキツク・バツクとなる、クウキツク・ダウンとなる、後からはプレスされる

から、パスさせねばならぬ、氣は腐る一方である。本人達も不愉快千萬であらうが、又そうした連中たるや兎角うしろには氣がつかない、そんなゆとりなどあらうはずがない、夢中になつて土ほじりしてるから、前のコースが明いても中々パスさしてくれない。爲に全體の進行は阻害されがちである。結局本人達ばかりでない、凡てのプレイヤーに迷惑が均てんではない波及される事になる。

さりとて又一方でシングル連といへば相撲でいへば幕の内である。そうした連中がよいスコアをあげようとプレイするのに、駈け出しの行司見習ではない、キヤデキ―をつけるといふ事も心ない業である、たしかにふさはしくない。

そこでこの間キヤデキ―コミツチーのチェヤーマン加藤恭平老とこれが對策につき話し合つたところ、老は同じ問題にぶつかりて結局案じ出したのは、一つの組に少くとも一人は馴れたキヤデキ―をつける。そして馴れないキヤデキ―に注意を與へ指揮監督せしめる、これがプレイヤー全體の進行をなめらかにし、同時に馴れないキヤデキ―の訓練にも効果が多いといふのである。それはたしかに一策である。少くとも害なくして利はありそうである。いや／＼大に利がある。



近頃僕は此方針でやつてるがたしかによろしい、馴れないキャデキーも只叱られたりマゴマゴしてる代りに、馴れたキャデキーにより球の落ちた見當のつけ方など親しく教へられる、さがしあぐむ時は手傳つてさがして貰ふ、球をさがし出す事に訓練されるのみならず、爲にそのパーティーばかりでない、自然オール・プレイヤースの進行はなめらかになつてくる。

由來ゴルフアーは同情といふところに基點を持たねばならぬ、エチケツトに重點をおいてある。此位の事は常に御互に心がけねばならぬ筈である。今さら事々しい講釋でもあるまい、今さら仰々しく筆にするまでもないかも知れぬ。しかし存外世の中には悪氣がなくて気がつかぬ事がある。こゝにこの一節を御披露して、相互的に愉快にプレイするための参考に供する、猶他によい心付けなり妙案があれば紹介を願ひたいものである。

(九、九、六、朝日の日支飛行の出發を見送り、程ヶ谷に引上げて、ゴルフドム)

## ベツトの話

僕が一億圓の資産を持つてると假定する。假定でないとしても、千萬圓が百萬圓でも、よろしい、いづれにしても假定である、假定でないといつてもどうせ、誰も本氣にしてはくれないのだから。

その資産全部を友人に贈與しても一向に差支へが無い。遺産の分配にしても、好意による義捐金などにしても、世間にいくたの例がある。中には脅喝して巻き上げたり、巻き上げられたりする例すらある。それでも形がとにかく合意になつて居れば法には問はれない、まして祕密に葬られてゐれば闇から闇である。

ベツトの問題はその形の多少よりも、それが常習的であるか、又興行的であるか、大ぴらであるかないかといふところに焦點がある。

賭けた金は知れたものであるらしいが、花札をひいてゐたとか、麻雀をしたとかいふので、警察の手にかゝり新聞種になつてゐる。それは常習的でありかなり一般的となつたからであらう。



常習的であり一般的になると善くないといふのは、それが傳染性を持ち一般の風儀に悪影響を及ぼすからである。法が認めてる取引所もある、馬券もある、遊廓もある。しかし電車、汽車の中で、公衆の中で、ヤレもうけた損した、ヤレ持てた、ふられたなど言ひはやす事は、たしかによくない。従つてベツトといふ事も他人の前公衆の中で口にすべきでない。さう自慢話にすべき筋合でない。ことにウキークデーなどにオツフキースに通勤する人々と、車室を同じくして、ベツトに限らないゴルフの高話などは聞いちゃ居られない。

ベツトが法律上いかに解釋さるゝかは末弘博士が既にゴルフ誌に記されてある。その解釋に従つてそのりを越えてはならぬ、しかしのりを越えぬにしても、さうペラ／＼と場處もかまはずオシヤベリすべきでない。

これは老人の寢言である。しかしクラブとしては自分が胴元で興行はせぬまでも、ベツトの弊害は大きくなると。その責任は免れない。それが極小部分の話であつても、それは凡てのメムバースの責任となり、更に全日本ゴルフアースの責任となる。(昭和九、五、二。程ヶ谷にて)

## ベツト 雑考

末 弘 巖 太 郎

洋の東西を問はず、ゴルフにベツトは付きもののやうである。全然ベツトなしにゴルフをプレーすることは極めて稀な例外に過ぎないであらう。然るに近頃になつて急に之を問題にするものが出て來たのは一體如何なる理由によるのであらうか。吾々の知る限りに於てベツトは決して近頃になつて急に悪性を帯びて來たやうな形跡は少しも認められない。又近頃のゴルフアールが急に道徳的になり、昔は當然と考へてゐたことを不可なりと考へるやうに進化したものともしはれない。否反つて事情は昔と同様否寧ろよりよくなりつつある。それにも拘らず其所に何等か弊害ありと考へるやうな人が近頃になり多くなつたのは、畢竟するにゴルフアール自身が道徳的に退化した結果であると思ふ。同じくベツトをしても殆どそれを問題にせず何等それに捉はるることなしにゴルフをエンジョイ出来るやうなゴルフアールばかりであれば何の問題も起らない。無論ベツトの額が多くなると誰しも兎角捉はれ易いから、成るべく互に自重してヘビー・ベツチングを慎しむがいい。ベツトが重くなると誰しもとかくそれに無關心にプレ



出来なくなり易い。そうしてベットに無關心にプレー出来なくなつた瞬間にベットは有罪性を帯びるのであるから、ヘビー・ベツチングは呉々も慎しまねばならない。しかしそれもベツトが重いととかく捉はれ易いから、と言ふだけのことでベツトの軽重それ自身が直にベツトの有罪性を決するものではない。ベツトそれ自身が相當重くとも、當事者のすべてがそれに捉はれることがなければ毫も差支ない。かくの如きベツトは刑法に所謂一時の娛樂に供する物としては法律上も亦之を看過し得る。之に反してベツトそれ自身は軽くとも四圍の事情上當事者がそれに捉はれてゐると認められる場合には有罪性を帯びるやうになるのである。例へば歸りの汽車の中でベツトに關する議論をしたり、次の日曜日になつて此前の勘定は違つてゐたとかぬないとか、下らない小言を言つたりするやうな人間がベツトをすればこそベツトが問題になるのである。だから近頃になつて急にベツトが問題になつて來たのはベツトそれ自身が悪化した爲めではなくて、ベツトするゴルフアーそれ自身が退化した爲めであると乍遺憾私は考へざるを得ない。近頃二三のクラブではベツトを成るべく軽くするやう其趣旨の申合はせをしたり、揭示までした所もあるとのことであるが、クラブ當事者の弊害防止の爲めの用意としては至極尤もあるとしても、一人前の紳士として乃至はスポーツマンとして自任するゴルフアー諸君

が、かうした申合や揭示をしなければベツトの弊害を防止し得ない様では甚だ困ると思ふ。勿論ベツトは成るべく軽いがいい。ベツトの爲めにゴルフしてゐるやうになつたら全くお仕舞である。しかし縦令ベツトは如何に重くともそれに捉はれずに虚心恒懷プレー出来るやうな覺悟さへ十分にあれば、少しも弊害は起らないのであつて、此覺悟がない限り、一紙半錢のベツトと雖も必ずや弊害を生ずるに違ひないと私は考へてゐる。

×

×

×

刑法學者の中には賭博と競技とを區別し、競技は熟練計算力量等一定の技巧に因つて勝敗を決するものであつて、偶然の事情に基いて利益の得喪を争ふものでないから賭博にならぬと言ふ説を爲すものがある。これは確に一理ある考方であるけれども、客觀的に見れば勝敗はきまつてゐると思はれる場合でも、當事者がそれを知らずに主觀的には射倖的に勝敗を争ふ精神をもつてゐるならば、尙賭博性をもつてゐるものと考へねばならない。現に大審院は賭碁の賭博性に關し「賭碁ノ勝敗ハ必ズシモ當事者ノ平素ノ技術ノミニ因リテ決スルモノニ非ザルノミナラズ、當事者ニ於テモ自己竝ニ相手方ノ技術ヲ精確ニ測定シテ、豫メ其ノ結果ヲ判知スルコトハ頗ル困難ニシテ、其ノ結果如何ハ通例事前ニ於テ不確定ナルモノト認メザルベカラズ、此ノ



如キ賭碁ハ當事者ヲシテ勝敗ノ運命ヲ逆賭スルコトヲ得ザラシムル射倅的條件存スルニ因リ、賭博罪ヲ構成スルモノト認ムルヲ相當トス」と言ひ、又「財物ヲ賭シテ輸贏ヲ争フ行爲ハ賭者ノ技倆ノ優劣ガ勝敗ノ數ヲ決スルニ於テ與リテ力アルモノト雖モ、單ニ技倆ノ巧拙ニ依リテノミ決セラルルコトナク、偶然ナル事情ノ影響ヲ受クルコトアルベキ場合ニ於テハ罰セラルベキ賭事ノ罪ヲ構成スルニ妨ナキモノトス」と言つてゐる、而して此理は正にゴルフにも當てはまるものと考へることが出来る。ゴルフの勝敗は主として當事者の技倆によつて定まるものだけれども、實際には其日々々の出來やラツクによつて色々勝敗の結果が狂ふ場合が少くない。少くとも當事者自らはそれぞれ相當の自惚をもつてゐるから、客觀的には勝敗がきまつてゐると思はれる場合でも、主觀的には尙射倅的に勝敗を争ふ精神をもつてゐるのが通例で、ゴルフに於けるベットも賭博罪を構成し得べき性質をもつてゐることは確である。

此故に、ゴルフに於けるベットと雖も、ゴルフを手段として財産的利益の得喪を争つてゐるものと認むべき場合は勿論、當事者がベットに捉はれて虚心にプレー出來ない程度に達してゐれば、すべて賭博罪を構成するのであつて、ベットは必ず座興の程度に止まらねばならない。無論何が具體的に座興の程度に止まるものと認むべきかは非常に六かしい問題であるが、要す

るに當事者がプレーを主としてゐるか、若くは利益の得喪を主としてゐるかを、具體的な四圍の事情によつて考察決定せねばならない問題である。要するに當事者がベットに捉はれてゐると認むべき事情があれば、既に其前に有罪賭博の成立ありと言ふことが出来る。

之を要するに、愈々法律上の問題になれば四圍の事情に基き、客觀的事情によつて當事者が座興の程度を超えて射倅的に利益の得喪を争つたか否かを標準として事を決するの外ないけれども、吾々プレーヤー自らの心得としては、自ら捉はれて多少とも虚心にプレーする氣持を阻害されるやうなベットをしさへしなければ問題は起らないのである。例へばワンボール、ナツソーと雖もボールの得喪が主たる目的となつたり若くは當事者が著しくそれに捉はれてプレーするやうになれば有罪性を帯びるに至るのであるから、ベットの程度を限定して有罪賭博の非難を免れやうとするが如きは非常な間違であると私は思ふ。問題は要するに當事者がベットに捉はれる氣持をもつてゐるかどうかに存するのであつて、ベットが重きに失すると、事實プレーヤーとしても、とかくそれに捉はれ易いし、又客觀的にも捉はれたものと考へられ易いのである。だからベットは一般に成るべく軽い程度に止めるやうに心掛けねばならないのは勿論であるが、いくら軽いベットでも當事者がそれに捉はれるやうな氣持をもつてゐればやはり有罪性を構成



するのだから、吾々ゴルフアーにとつての實踐的な心得としては「ベツトに捉はれるな」捉はれるやうなベツトをするな」と言ふ忠告を與へるの外ないと考へてゐる。

クラブの揭示板に「今後ワンポール・ナツソー以上のベツトは御遠慮下されたし」と言ふやうな揭示をするが如きは、一方に於てクラブ自らが賭博を公認するものと言はねばならないのみならず、ワンポール・ナツソーと雖も、當事者の心掛次第では有罪賭博を構成すると言ふ理を忘れた、甚だ面白くない事だと私は思ふ。

私はもし何等か、揭示を必要とするならば、「凡そ捉はれるやうなベツトをすることはスポーツ精神に鑑みて望ましくない」と言ふ程度の揭示をすべきであると思ふ。

尙ついでに言つて置きたいのは、ゴルフに於けるプライが他の一般スポーツに於けるそれら比して著しく有價であることである。プライズは要するに名譽のシンボルに外ならないのだから其目的に適ふ限り成るべく軽い方が望ましい。然るに現在我國の實情を見るとプライズは一般に相當有價であり、其結果ゴルフアーの間にプライズに捉はれるやうな風潮のあることをまま耳にするのは甚だ遺憾である。ベツトを問題にする人々は此ことを亦十分に反省する必要があると私は考へてゐる。

(一九三四年一月ゴルフ)

## ゴルフと釣

僕は陸上運動では競走・高飛・幅飛などでは相當鳴らした事もある。自転車にも乗る。登山旅行は好き。ボートも漕いだ、ポールも投げたノックした。柔道もかなりつゞけた。テニスもやれば、スキーにも出かけた、弓も引いた、馬にも乗つた、釣もやつた。撞球にはかなりうき身をやつした。

以上は筋肉本位の趣味につき話したまで、聲曲や碁・將碁方面の趣味は猶廣いが、それらは凡て略する事にする。

今僕はゴルフと釣がさうした趣味の上での双壁兩横綱と思つてゐる。その理由はかなり多いが一つは戸外に出で日光浴をする、ノンビリと健康をエンジョイするといふ、氣分の問題があるが、一度その道に入りてはあくまで引きつけて止まぬミワクの中心は、何んといふても變化の多いといふ事であらう。

その變化たるや又一と通りや二た通りではない。第一の變化は場所である、釣をする人は今



日は釣堀に池に、明日は川にさらに海にと出かける。その川も荒川あり中川あり利根川あり多摩川ありといふが如くに、ゴルフのコースも、すべて處かはれば品かはるである。

釣に春夏秋冬の季節あり、日出日没あり、風雨あり、潮のさし引きもあるが如く、ゴルフにも大體同じ變化がある。

釣には釣らんとする魚により、釣竿に釣針に釣糸にそれ／＼別があるが如く、ゴルフにも眼ざす距離の遠近、砂地のバンカー、坂の登り降り、ブツシユのあるラフ、さては池越え谷越え森越えと、それ／＼に應じてボールを打つクラブの種類もかなり数多い。

大弓をひく時に、同じ弓で同じ距離で同じ的となると飽きやすい。一々距離がちがふ、弓がちがふ、場所がかはる、そこに變化がある。撞球の球臺は皆一様である、その狭い中で四ツ玉をつく、少しうまくなるとあたり過ぎて面白くない、三ツ玉にする。それも旨くなるとセリー球で際限が無くなる、遂にボークラインとなる。同じアメリカ球でも三ツコシンとりとか、赤玉より突き出すとか、イギリス球でもピラミッドとかセイロンプールとか、いろ／＼變化を求め、どれもこれも單調となると飽くからである。

碁盤將碁盤はどこにもある、球臺も少く無い。しかし川や海さてはゴルフコースはその數が極めて限られる。それだけにそう簡単にプレイできない。だから碁や將碁のやうに、時間を取られない、お役人も會社員も日曜日といふやうな日で無いと出かけられない、それだけに休日待ち焦れる。まして夜はプレイできない、天氣が悪いとプレイしにくい、それだけにたまたまゴルフ場へ出かけた時の氣分はたまつたものでない、子供が遠足運動會にゆくのと同じ心持である。

今の自分達はゴルフをはじめてから夜ふかしをしなくなる、日本宴會はなるべく遁げる避ける、熟眠を欲求する、喰ひ物の養生につとめる、僕は六十の坂に手が届いてとにかくゴルフ場をプレイして廻はれる、上手下手の問題でない、プレイできるといふ事に、少からず自己の健康に満足がある感謝がある。

これが二百ヤードもかつ飛ばすチーショットだけのプレイなら、單調であるのみならず、年よりは若い人にくらべて、くたびれ易く又力が違ひすぎてくる。ところが百ヤード以内のアプローチショットがある、グリーンの上での球をホールへ入れるバットがある、一回のショット一回のバットも同じく一點に數へられるのだから、年寄りとして馬鹿にならぬ、糞力だけではもならない。そこに萬人を引つける強い興味と自惚と執着とがある。



ことにゴルフは野球やテニスや蹴球や籠球などの如く、一つのボールを相争ふのでは無い。各自分のボールを打つてゆく、だからその打數に於て相手に勝つのは面白いであらうが、しかしさらに面白い事は、假令相手に負けやうが、そのスコアが自分の今までのレコードを破つてゆけば、いひ知れぬ満足がある慰安がある。

今まで越せなかつた谷を越す、池を越す。それも、今までは木の大きな道具を使つたのが、アイアンになる。それも二番三番より四番五番のアイアンと段々道具がかはつてゆく、そこにおのれの技倆の上達が認められるのだから、必ずしも相手が無くとも、心の向ふまゝに只獨りプレイして、絶えずつきざる興味がある。釣にも下手な騒々しい仲間があるより獨りがよいのと同じく、ゴルフもエチケツトを心得ぬ連中と棒組になるよりも、獨りで雲雀の聲を聞きながら、芝生をふみしめてゆく方が餘程よろしい。

僕は今は日曜なり休日の外、ウキークデーには先づ一回行く事にしてる。それ以上ゆくとくたびれて當りが悪くなるので面白くなくなるからである。但し東京では程ヶ谷へウキークにも二三度行く事もある。雨が降つてもゆく事がある。雑誌や本をよむべく、原稿に筆を染むべく出かけてゆく。果てなき芝生のつながりに峰の松原のかすめる風光を前にし、クラブハウスに

半日を送るのが何よりの楽しみである。

だん／＼年をとると下手になるだらう。同じ年輩の古い同窓も同じやうに年をとり下手になるだらう、しかし同じ古い友達とつきぬ話に興じながら、七十八十の齡を重ねても猶ゴルフをプレイできるとしたら、コンナ有りがたい事が又とあらうか。

どうしてもゴルフも出来無くなれば恐らく釣になるだらうと思ふが、ナアーニあぶろーちやばつとをやつて居てもよい。どうか生ある限り、青い／＼芝生に親しんで居りたいものと念じてゐる。(昭和九、七、二二、東京専賣局雑誌)

(追伸) この一文に限らない、随分似たりよつたりのことが、くりかへし巻きかへし筆にされてる。ところ／＼ちがつた節も無いでは無い。といふて重複の部分だけ抜きとるといふ事は六つかしい。どうかその執筆した年月と、その掲載された誌名などを見て、いかに各方面へゴルフの理解を求めべく筆を走らせてゐたとかいふ事を重ねて聲明する。

(十一、五、八)



## 還暦ゴルフアー談

僕はいよいよ還暦を迎へた。今のところシングルにならうとも考へてゐない、イヤ考へられない。プロになつて餘生が送れようとも思はない。日本の代表選手になつて英米の野にフアインプレイを見せつけ、國威を輝かして見ようなどいふ夢も見ない。

それどころではない。僕がいつも聞かされる事は、お前は どうして そうまづいのか、一向うまくならないぢやないかといふ事である。或人からはお前は實に熱心に練習してゐる、とても根氣がよい、それで どうして うまくならないのだらうと、氣の毒がつた同情的あいさつをうける。或る人からはお前のゴルフ雑誌上の御筆先などを見ると、いかにもシングルそれもスクラツチなんだが、それにしてもなんと いふ腕前の貧乏事である事よと、ひやかし半分の慨嘆的あいさつすらつきつけられる。

後者に對しては僕はいつも口癖にいふ「帝展や院展の繪畫の評を筆にする人自體は名手なりや、いやその多くは彩筆を手にするにすらしない。歌舞伎の劇評を筆にする人は名優なりや、否、劇

評家であるが俳優でない。プレイが旨くなければゴルフの批判はできぬといふ事は無い、プレイそのものトリテラチュアとチャンポンにされては困る、冗談ぢや御座んせんよ。」

僕は何をやつても相當にこなせる、殊にゴルフは克明に練習してゐる。それにしてもいかにお年がお年とはいへ、あまり下手すぎるといふ。これには一言もない。といつて眞實一言もないのかといへば、一言どころか數十言ある、ここにその一二をチョツピリ筆にして見る。

大體僕が同じ年輩の友人にゴルフ道入門をすすめると右といへば左といふ、左といへば右といふ。そのくせ一度その道に入ると、何故もつと早く始め無かつたかと後悔するに於ては其軌を一にしてゐる。ところで理くつをはなれて親しく青々した芝生を踏みしめ、喜々としてプレイしてゐる現状を見せると。なんだつまらない何が面白いのかといふ事も無きにしもあらざれど、その中で成程面白そうだ、健康によさそうな年寄りにもできるなあと、感じる人も少くはない。その中でおまへの様な程度ならナーニにおれにも出来そうだと、僕の下手なる事により似た年輩の人達をして安心してゴルフ道に入門せしむる場合もあれば、又反對に何事にも巧者な海南にしてあのザマである、あれではおれ達はやつて見込がないうっかりやれないと、ゴルフ道入門をアキラメしめる事もあるといふ。これは實以て甚だ困る。



一體僕はコリ性であり何をやつても相當にコナセルといふのは事實である。碁・將棋・撞球  
歌骨牌・花骨牌・トランプ・浪花節・義太夫・曰く何曰く何と、かなり手廣いが、運動方面で  
は競走とか、高飛とか、幅飛とか身輕専門の方で、野球や漕艇は駄目、柔道も六年つゞけたが  
駄目。といふのは體量十三貫ながしの非力な分際である。加ふるに運動神經の貧弱を以て  
す、豈それ見込あらんと欲するも得べけんやである。

ゴルフ道に入りてからも、たしかに凝り性であるから相當練習もする、しかしもとゞゞ體力  
貧弱なるに加ふるに取る年波である、何分にも疲れが早く出すぎる。だから勿論貧づい、貧づ  
いといつて見たところで、さて僕の年輩として程ヶ谷のハンデキ―十九といふのは、レベルか  
らそう下でない或は上かも知れない。僕よりも旨い人より下手な人の方が多い。

只僕がゴルフにつきかれこれ口にし筆にするから眼に立つてる。そのために頭から僕を幕の  
内か三役級のものとの相場をきめ、それから割り出してまづいまづいといふのぢやないかいなと  
おもふ節が多い。

どうして二三年前の北海道の六コース巡遊の時などコノ老人にしてあの腕前ありと、かなり  
鳴らしたもので、洞爺のリンクスでは危なく八十のスコアを割らんとしたのである。只それが

恐らく僕一生の全盛期であつて、その後は日に月に體力が衰へる一方で、事こゝろざしと相違  
ひつゝあるだけの事である。

今のところ僕としては減る一方で増す事なき古い友達、似た年輩のやからとクラブを手にし  
つゝ、まあ御互にまだ生きてゐる、しかも下手なりに曇ふる寒空にも焼きつける炎天にもプ  
レイをエンジョイできる。その健康さを互に割引なく祝福しつゝコースをめぐる、旨いのまづ  
いの上手の下手のと、成敗利鈍などは問ふところで無いのである。

凡ての憂さも忘れる凡てのうつとし曇りを晴れやかにする、心氣轉換といふのはかうい  
ふ事であらう、この調子ではあと何年生きるのか、何年プレイできるのかはわからないが、ど  
うか朗かに陽気に生きてるかぎりゴルフをエンジョイしたい。僕より若き諸君よ、人ごとでは  
ない、早く死ぬ人はとりのけとして、僕等の年輩まで生きる人たちは、そのうちかうした心境  
にめぐりあふことになるぞよ。(九、十二、十七、大阪)



## ゴルフアースの死

登場人名 金野豊・岩永裕吉・湯川寛吉・平山金藏・森恪・原嘉道・  
中村巍・塚越丘二郎の諸選手

「おい、金野は死んだな……あんまりゴルフをやりすぎたからな……。」

黙つて聞き流してゐると、さらにおつかぶせるやうに

「岩永も折角病氣がなほりかけてるのを、又ゴルフでぶちこはしてしまつたぢやないか……。」  
金野とはロンドンがへりのシングル岩永裕吉君である。僕はいつまでも黙り込んでも居られないから、  
通信のセミ・シングル岩永裕吉君である。僕はいつまでも黙り込んでも居られないから、  
「ゴルフやるから誰も死なぬと保証もつかず、ゴルフやらなくともブリかへす時はブリかへす  
からな……。」

といつたものである。話はそれだけである。しかしそれだけではすまないやうな氣がするの

で、或日或る學會の理事會の席上にとりかはされた此會話を種に一應文句をならべて見る。

劍術や柔道をやる人が死んだ時に、「アンマリ劍術や柔道をやるからだ」といふものだらう  
か？ 野球やテニスをやる人が死んだ時に、「アンマリ野球やテニスをやるからだ」といふもの  
だらうか？ 水泳・スキー・スケート・ランニング・ジャムピング・圓盤砲彈鎗投げ、そうし  
たスポーツをやる人が死んだ時に、「アンマリそんなスポーツをやるからだ」といふものだらう  
か？ 球突・麻雀・碁・將棋・そうした道にこつてる人だちが死んだ時に「アンマリそんなも  
のにこつたからだといふものだらうか？」

謡曲義太夫浪花節……いやもう際限が無いから、此邊でよしにしよう。とにかくそうした時  
に誰しもそんな事はいはないかと思ふ。

何が故にひとりゴルフの時ばかりあゝもいはれるのだらうか？

かつて湯川寛吉君の亡くなつた時も、小一年前に箱根仙石ヶ原で雨中プレイした事に病氣を  
結びつけてあれからすぐ寢込んで遂に立たずといふやうに言ひふらされたものである。政友會  
の森恪君の亡くなつた時も、醫學博士平山金藏君の亡くなつた時も、「ありやゴルフさへやらな  
ければ死なずにすんだのに」といはれたものである。



僕は湯川さんはゴルフをやつたから、まだあれまで持ちこたへたとも思ふ。森君はたしかにオバー・ゴルフでなかつたかと思ふ。しかしそれはゴルフばかりでない、あの勝氣な強氣な森君はゴルフばかりでない、朝から晩まで面會に寄り合に宴會に演説に、どれにもこれにもオバーであつた。平山醫博のはよくは知らぬが、手おくれであつたらしい。もちろん手おくれになつていけないのはゴルフアースにかぎらない。

まあそれはそれとして、なんでゴルフアールが亡くなる時にかぎつて、ゴルフをやつたからやつたからと言はれるのだらう？ゴルフをやらなくて亡くなる人は比較にならぬほど多いが、それはゴルフをやらなかつたから亡くなつたとは斷然いはないのである。

僕はゴルフにかぎりて云はれる原因を次の二つに歸してゐる。一つはゴルフは老幼男女萬人向きのスポーツで、健康によいといふ宣傳がかなり利きすぎてるからであらうと思ふ。ゴルフは過激でない健康増進にあつらへむきだといふ、評判が高くなりすぎてるからだと思ふ。

二つはゴルフそのものに對する反感である。仰山たらしいセツ道具をかつぎ、いゝ年をして、モボ式のなりをして電車汽車でのさばつてる。何よりも所かまはず何時間でもノベツ幕なしに、ヤレ何番ヤレ何番と牛肉店の女中ぢやあるまいし、その何番でおれはマツシーを、いや

ニブリツクを、やれツーオンの、フォアオンの、やれワンパットのスリーパットの、毛唐人の世迷言以上の樂屋話を猛烈にシヤベリ立てる。それならザル碁の連中が、

「オレがイの十三に打つたら、白がハの十五に打ちよつた。おれはのロ十四とハネまくと、相手がおれのトの九の肩へ來たぢやないか」

などゝ話し合ふかといふと斷じて話さない。いや話したくも話せない、又聞いても合點が行かない。せいぜいおれは何目おかせて中押で勝つたといふ程度で、That's all である。多少話しになるのは野球の時だが、その時だつて

「二回の表でツーダオンになつてるのだから、五番バッターはバンドしなけりやいかなかつたよとか。イヤ二カイの裏で外へ出たら物干し臺だつたよ」

位の話で、それでオデヤンである。そうそうあとがつゞくものではない。之に反してゴルフとなると、ハンヂ三十の先生でも第一番のチーショットから十八番のグリーンまでヤレ、チーショットが右の松の根つ子のとこへ飛んだとか、左の森の中にとゞき込んだらカンと音がしてフエヤウエイへ戻つたとか、何番ではオレが池へドブんとやる、相手は水の上をはしつて向ふの土手へはひ上つたよとか、前のバンカーから又グリーンを越えて向ふのバンカーへ、そこで



ナント九回たゝいたよとか、ラフから打つた球がナントホールインしたよとか、一一敵身方の戦況を申し上げるのである。つまり門内漢にはいつまでもつきせぬ賤の芋だまきの長々しさがあつてもうなづかれる面白味があり、門外漢にはテンデ分らなさすぎて、どこが頭か尻尾か果てしのつかぬサナダ蟲の長々しさのアテラレサ、ツラサがある。

そうした反感が手傳つてゐるから、たまたま誰か床について死んだ、ゴルフア―だ。それ見た事かゴルフをやつたから死んだぢやないかと、一本キメコム事になるのぢやないかいなあとおもふ。だから僕は一面にはゴルフの話はゴルフを知らぬ仲間の中では話すな。汽車電車の中でも高聲をするなと口癖にいつてる。同時に僕は同好の士にはいつもオーバーゴルフになるなといつてる。

オヤ、オーバーゴルフを加減しろ！ それは我々が海南へこそ申すべき筋合なりといふかも知れない。しかし僕はゴルフを口にし筆にし、ゴルフのリテラチュアに通ぜる？ ものとして相當顔が賣れてゐるから、毎日朝から晩までゴルフを口にし筆にしクラブを振り通してゐるやうにいられる。

「君はあの忙しい仕事のスキ間にノベツに何か書いてゐる話してゐる、そしてゴルフをやる」といはれつてゐる。僕が諸君の碁、將棋・麻雀・謡曲・雑談・宴會の時間を、讀書とペンに振りかへてゐるだけの事で、ゴルフも近頃は週に二回、それも土曜日曜といふやうにつゞけない。又ブレイもワンラウンドかワンハーフといふ程度に調節してゐる、細く長くといふブレイ方針をとつてゐるのである。

いふまでもなくオーバーといふのは何回以上とか何ラウンド以上とかいふのではない。その人の年齢體力などからわり出すので、六十二歳體重十四貫弱の僕としては、前述の程度にしてるといふのである。スタートの時から雨模様ならば、降り出したならば中途失敬するよと下駄をあづけてスタートする事にしてゐる。

原嘉道先生は高齢であり強い近眼であるから、朝早くひとりで散歩代りにクラブを振つて廻つてるといふ。同人中村魏君も耳が遠くなつてからは、プレイを共にする人の感興を害する虞ありと、これ又朝早くひとりで廻つてると聞いている。それで結構である。

更に程が谷の塚越老はいつも別府で神経痛の爲め湯治したのだが、ゴルフのお蔭で助かつたといふ。それでゴルフはと問へば二つ三つのコースを廻るにとどめてゐる。そしてクラブハウスで同人と嬉々と笑ひつゝ愉快に食事をとつて居るだけである、それでよいのである。



此正月は茨木で、二日は高石刀禰館、五日は大森藤田の面々とプレイした。五日は風が強いところへ風邪氣味であつた。それから寝込んで白雲樓上にうだつてる。約束もの、「これから日本」の原稿がまとまらない、大いにシヨゲテル處へ何か隨筆をとの註文が「ゴルフ」誌からくる、こゝに正月早々縁喜のわるいといひたい人にははしておいて、病床で此一節をかいて見たのである。そしてこれからは雨だけでない風のときも冬は遠慮する事に、又々一步退却の宣言をする。何分體重十三貫なにがしでは、グリーンに立つてもフラフラして腰がきまらない。パットだけでもかなりスコアをこはすからである、豈それ風邪を恐るゝのみならんやといふ添へ書をつけて……

(昭和一一、一、一四、大阪)

## 續ゴルフアースの死

登場人名 原田六郎・守岡多仲・安川清三郎諸選手

毎日毎時毎分數知れぬ人は亡くなりつゝある。十中九までは病で斃れる、自殺するものもあるが、事故それも交通事故で命を縮める人はザラにある。

近く知れるかぎりのゴルフアースの中で、原田六郎君がある。まだ働き盛りの人であつた。強健を以て鳴りし君が悪性の肺炎により遽然として亡くなつたのである。君の性格材幹はゴルフ界にも重きをなし關東と關西に股をかけ、ゴルフ界にたねの少ない大事な人であつた。先に木村森藏君を失つてただけに、君の早世は東西ゴルフ界を通じての痛恨事である。

その後川崎卓吉守岡多仲の二君を失つた、いづれも卒然とその訃報に接した。川崎君に至りてはいろいろの意味で僕は別に筆にすべきであつてこゝにはふれる事をさける。守岡君の訃報は明七明八對抗仕會を終り、陶々亭に卓を圍み互に杯をあげて老來益健なるを祝した時であつ



たゞけに、席上今村幸男君より守岡君が盲腸炎の手術を終り、もう絲もぬくといふばかりになり、俄に心臓麻痺により亡くなつた、せめても故人愛用のゴルフの道具を柩に入れましたといふ話を聞き、井上準之助君の時が思ひ出され、坐にあるものみな暗然とした事であつた。

ゴルフアースとても人間だからいつか死ぬ、必らず死ぬ、只明八會員は過去一年間に磯部尙松田源治・村上清の三君を失つたが、幸にゴルフアースは無事であつた。しかしいづれにしてもいつかは亡くなる事だけはたしかである。此間茨木のクラブハウスで湯川寛吉君のロッカールの番號が四番であり、原田六郎君のが十三番であつたと、縁起をかついだ人があつた。僕は他のクラブのロッカールの同じ番號をしらべて見たら、まだ生きてるのが澤山あるだらう。ことに湯川君は優に六十歳を超えてゐた、あれまで生きて活動できたのも、ゴルフのお蔭だともいひうるのである。まあそれよりも四番十三番以外のロッカールの主人で亡くなつたのがいくらでもあるのだからといつたものである。

どうしても人間は死ぬ。只その時と處と死に方は自由意思で自殺する……切腹仰せつけられるやうな時をのぞくといふ意味である……以外には神業である天命をまつ外はない。そうなることと食道癌などになつて苦しんだり、中氣でヨイヨイになつて長びくなどは感心しない。蟲の好

い話だが睡眠中に亡くなるのがらくだとおもふ。さうでないとゴルフコースでポクといくなどが大にシヤレてる。

そうした事を口にし筆にしてゐたら、門司のリンクスにて安川清三郎君は九ホールズを一巡し、さらに第二回目の二番乃ち第十一番のコースにてサード、ショットがオヴァーする。グリーンを横ぎるとき遽然として斃れ、そのまゝ三寸の息が絶えたのだといふ。遺族や友人の身になれば誠に呆氣ない事である。ゴルフ場へは迷惑と混雑をかけたであらう。しかしそれはゴルフ場に限つた事ではない、僕をして云はしむれば亡くなられる事は悼はしいが、誠にうらやましい大往生だとおもふ。

なごやかな平和の雰圍氣の中にクラブを手にグリーンの上に亡くなるなど、願つて願はれる事ではない、僕はどうかあやかりたいとおもふ。

(一一、四、一、二雨の茨木にて)



## レツスン 哲學

### 一、レツスン非難

レツスンはとるがよいかとらぬがよいか？

それはとるに越した事は無い、いやとらねばならない。

碁でも將碁でもザル同志でつかみ合つてるばかりでは力がつかない、撞球でもヘボ同志でつき合つるばかりでは腕が上らない。

ところがそのレツスンをとるのに、あのプロはうまいいや下手だといふ、それは有りうる事である。

プレイのうまいプロもあれば、コーチのうまいプロもある。

本人のプレイ振りとレツスン振りは必しも一致しない比例しない。

そこでプロに對してもいろ／＼註文があり、さらにそれも數多くのプロについて見るがよい、必しも一人に限らないといふもあれば、プロがかはると言ふ事もかはる、いづれがよいか

分らなくなる。だからプロは一人にきめておくがよいともいふ。

いや／＼プロは一人にきめておいても、そのプロの言ふ事がいろ／＼と變つてくる。結局どうしてよいか分らなくなるとおつしやる方もある。

いや／＼大體プロは腕があるが學歴に乏しい、だからレツスンは存外効果は薄い。それよりも年寄りや非力なものは非力なもの、肥つてるもの、それ／＼のプレイヤーに特色がある。その特色あるアマの先輩のプレイを見たり、又そうした人のアドヴァイズを聞く方が餘程爲になるからねといふものもある。こゝに於てかレツスン哲學がおこる。

### 二、プロの言まぢ／＼論

撞球とゴルフを比較してもすぐ氣のつく事は、撞球はきまつたフラットの室内の長方形の臺の上のプレイである。その臺の上に片手をレストにして、きまつた一本のキューで球を撞くのである。

ゴルフは野天にたゞ廣くひろがり各コースそれ／＼に異なり、高低起伏あり森あり池あり。ラフありバンカーあり。その長短難易に應じてクラブの種類も十數種にのぼり、そのクラブも



レストの上のせてつくのでない、五體全部を動かしてショットするのである。だからスタンスのとり方、ボールへの位置、それが地形によりてかはる。クラブによりかはる。腰はスエイせぬやう、ピボットの入れ方、さては両手ののばし方スナップの入れ方、コックのしかた。眼はボールにはなれぬやう、ヘッドアツクにならぬやう。スローバックスローダウン。さてはインサイドアウトだの、アウトサイドインだの、ヒールダオンだの、グリッパの形から握り方、それからそれへと一つのショットにしてが、あまりにも複雑なコムポジションである。

そこで無くて七癖といふが、レツスンをとるプレイヤーは、上手は上手下手は下手で、何十癖と癖があまりに多すぎる。

とてもそれらの癖を一々かぞへ立て、手をつけるなど及びもつかないから。スエイしてるとか左手がちぎるとか、アイオフだとかグリッパが弱いとか、その缺點の一二又は二三だけあげる事になるのである。だからプロによりて言ふところ相異なるに不思議がない、又一つのプロにしても、時によりその言ふところの同じからざるは怪しむに足りない。

或るプレイヤーは曰く同じプロが時により注意するポイントの異なるべきは諒とする。しか

しその同じポイントにつき、甲乙のプロの言ふ處相反するのみならず、同じプロが相反した事をいふ、あれはひどすぎるといふ、その言やよしといひたいが誠にいゝ氣なものである。

### 三、銀座の四つ辻

いかにも程が谷で或る日浅見はアナタのグリッパは弱い、もつとしつかり〜といった、數日経て岩倉はアナタのグリッパは堅い〜といった。もつと軽く〜といった。同じポイントにつきいふ事が正反對なのである。

ヘーゲン渡來この方インサイドアウトが流行し、かつて浅見もそう教へてくれた。ところがアメリカからかへつた浅見は、アナタのはまつとアウトサイドインにせねばならない、ヒットの時のカタチさへきまればよいので、そこまで持つてくる途中に、そう右手が體につけすぎてはヒットが冴えないノロイといふのである。翌朝下阪の道すがら茨木のリンクスに遊ぶ。同じ歸朝選手宮本は右の腰をそのまゝうしろへひく、そして右手も一處につけてひけばよいといふ。浅見・宮本兩新歸朝選手のいふ事が、同じポイントにつき二十四時間立たぬうちちがつてるのである。



それなら甲の説が正しいのか乙の説が正しくないのかといふと、いづれも正しいのである。つまり當方がグリツプをしつかりといはれると無性にきつく握りしめる、だからフォームでなくスチツフになつてしまふ。グリツプを軽くいふと、今度はゆるくなりすぎてしまふ。イジーでなくてルーズになる、だから或時はもつとシツカリといはれるが、或時はもつと軽くといはれるのである。

アウトサイドインといつても、インサイドアウトといつても、それ／＼に程度がある。その程を越えた時に注意をうけるから、恰かも反対な言をいはれたやうに感じるまでである。新橋に立つて銀座の四つ辻へはどう行きますかとたづねたら、この通りを北へと教へてくれる。しかし四つ辻を通り越して京橋で銀座の四つ辻へとたづねたら、この通りを南へと教へるにきまつてる。

つまり先生の文句がちがつてるとか相反してゐるなどいふ御當人の癖があまり多すぎる。それが又時々かはつてる、きまつてゐない。自分の方のいかに多種多様にくづれうごきかはるかといふ事を忘れて、コーチの方へ逆ねぢは筋ちがひといはねばならない。

もち論プロにもそれ／＼癖がある。その癖も時によりてちがふ。歸朝早々の浅見は吾等に右の手で／＼と教へたものである、今まで左の手／＼といふたのとまさしく反対である。浅見としては彼はかなり左の手に力がは入つてゐる、だからさらに右の手にうんと力を入れると、一層球が物すごく飛ぶといふのである。つまり左手に力が充分は入つての上の話である。ところが我等はとかく右手に力がは入りすぎ、左手がお留守になりがちである。その左手をお留守にしまゝます／＼右手に力を入れる、だからポコペンである。浅見の右手／＼といふが悪いのではない、しかし左手の力の抜ける連中にはよくないのである。人を見て法を説けといふ、應病與藥といふ。教へ方も中々六づかしい。

#### 四、レツスンの教へ方

先づ僕をしてプロたらしめば。

第一にあまりにスキが多い、キヅが多い、どこから手を入れてよいか分らない。そうした時に先づどの點から手をつくべきか、本人の體格なりプレイ振りを見透さなければならぬ。

第二にその人の癖としてこれは中々なをしにくい、その人の年輩なり又身長體重などから、あの癖はなをしやういとか、その難易の別を立てねばならない。



第三に一時にあれもこれもとならべ立てると、アガツテしまふから、まづ何よりこれからと思ふ一二の點だけをピツクアツプせねばならぬ。

第四にその癖をなをさねばならぬ理由を合點のゆくやうに説明をする、見本の實演をして見せる。こゝに教へる上手下手のコツがある。

第五にいくら教へても中々思ふやうに右から左へとなをらない、それをイケナイ／＼と顔をしがめて頭ゴナシにやつつけては餘計に畏縮する。カタクなる。少しでもなをりかける、それですそうですその通り、と鼓舞奨励してデリ／＼と引つ張り出してゆく、つまり水をむけてゆく上に上手下手のコツがある。

缺點の撰擇、之が手直しの説明の仕方、うまく引つ張り出してゆくコツ。そうしたところに巧拙の別がある。アマの先輩はそうしたところにプロの及ばぬ頭の働きがある。今日赤星六郎君との會談の一節にも、此ほど相模で井上プロが、飛ぶ事は飛ぶが見當がメチャ／＼になつたとこぼす。

二三コース一處に廻つて見ると、いかさまはるかにスライスしブルし球は右往左往に亂飛する。六郎君はボールを置く地點を右にうつして井上に打たして見た。ボールは眞直に虚空遙

に飛んでゆく。井上は丸で夢がさめた夜が明けたやうですと、首をかしげながら喜んだといふ事である。猶精しくは文獻篇渡米選手觀につき考ふべし。

そうした理合から見ても我々未熟な者老齡の者非力の者は、又自分だちの體驗から相似たる患者の療法については、自づから適切な思ひやりがあり存外利目のあるアドヴァイスを與へるといふ事がわかる。

## 五、名人田村の話

しかし凡ての結論は教へるものにあらずして、教へられるものの如何に存する、イヤといふものを引つ張つて來て教へる事はできない。教へても受け入れかみしめる熱意が無くばそれまである。

同じレッスンをとるのも生花・茶・音曲・圍棋などでは、御師匠さんの方から出稽古といふのがある。あれは効果半減である。教へ子の方から出かけてゆく、行く先でも待たされて、その待たされてる間に、相弟子のけい古など見てゐる。それだけでも特別収入である。待たされるとこまる出かけると時がかゝる。そんな心持で眞味の練習はできない。一體なら師匠がピ



シリピシリ叱りつける、手ほどきもしてくれぬ、師匠の身の廻りの世話ばかりせねばならぬ、そこに血にじむ稽古がある。名人プロはそういう中から出てくるのである。

アマに對してそんな注文は無理であるが、せめて人のレッズンをうけてるのを眞剣に見る、又土ホジリ仲間安い古い友達同志のプレイは面白いが、たまには上手の人とプレイする。碁ならば師匠への置き碁もよい、時には先輩で二三目位置く手合とやるのがよい。

撞球の名人田村はよく吾等のへボ球を餘念もなく見てゐるから、君にも面白いのかとたづねたら。そりや面白いよ、それだけでない時々ハ、アあゝするとあゝした形にもなる事があるといふ事が教へられる……しかし僕等のはフロックが多いからといふと、そのフロックが一番参考になる。あなたはフロックであてたのだが、あゝしたつき方をすればそれは當然ア、もなる。フロックといふのは只つく人の故意でないといふだけで、研究すれば故意にやれる。フロックでなくなるのであるといつた事がある。

事々物々眼のつけ方一つでは吾等のプレイもよきにあしきに参考資料になるのである、況んや旨い人のプレイに於てをやである。

## 六、レッズンの取り方

レッズンは時々とるに越した事はない。強い人と廻るのもよい。獨りで廻るのもよい。要は熱である研究心である。もちろんいくら熱があつても、研究心があつても、腕なり體力なりナーブなり年輩が之に伴はなければ是非がない。しかしレッズンをとるはとらぬより、熱あるは熱なきよりよきにちがひはない。

これは私見であるが、レッズンをとるプラクチスをつゞける、一にコンフキデンスを得るにある。

だからつめてやらねばならぬ。それも只回数をつゞけるといふだけではない。一週三回でも四回でも、先づバットだけやる、次にニブリツクのバンカーショットといふやうに、順次クラブ別にそれ／＼コンフキデンスの得られるまでつゞける、木のクラブなどは最後でよいと思ふ。いづれにしても一種のクラブで三四回根氣よくレッズンをつゞけるとかなり自信が得られるのでは無いかと思ふ。

僕もこの度浪人になつたから、昨今はとても忙しい、この「ゴルフ、バツグ」と「これから



の日本」との校正補筆だけでも逐はれてる。そのうち少しひまになると、一つのクラブで少しつめてやつて見ようかいなと思ふだけは思うてる。そうすればハンヂの二つや三つはイムプル  
ープ出来るのでは無いかと、之も思ふだけは思つてる。

要之熱が唯一の条件である。熱ありとも必しもうまくは無らないが、熱なくば絶対にうまくならない事だけはたしかである。つまりレツスはとるがよろしいといふ、分かり切つた事に  
販着する。

(一一、五、九、ゴルフ。お茶の水)

ゴ  
ル  
フ  
行  
脚  
篇



北平胞馬廠リンクス

ペーピンバウマーチャン

昭和三年夏北平に遊ぶ、芳澤公使の東道により、  
八方山及び胞馬廠のリンクスにプレイする。

うづくまる 小なき駱駝の 脊の上に

腮をのせをり 大き駱駝の

長々しき 貨車のつながりに 道をせかれ

きよとんと立てる 駱駝の一とむれ

球飛んで まさにその脊に あたれるを

駱駝はすまして 動かすありけり

元山のリンクス

朝鮮のリンクスは昭和三年會遊の時既に大邱京城元山平壤の四ヶ處にゴルフリンクスが  
あつた。新義州から對岸鴨綠江を渡れば安東縣のリンクスにもプレイに出かけられるその  
後京城のリンクスは現在のところに新につくられる。平壤のリンクスは大に面目を改める、  
釜山のリンクスは東萊温泉に新に出來上つた。此一篇は昭和三年の朝鮮遊記なる落穂集の  
第四十五節へ、大部分を新に追加補筆したものであるから、今日では大分趣も變つてゐる  
であらうし、又當時の話としても記憶ちがひもありうる。もう大分に古い話であるから、  
たゞ交通の便利な景勝に富みし土地で、極めて安價にゴルフがエンジョイされてるといふ  
事が分かればそれでよい。

(昭、十一、四、十八、H・C・C・海南トーナメントの朝)

朝鮮も日本海に面せる方はなんとなく荒涼といふ感じを與へる。豈圖らんや元山は朝鮮第一  
の健康地であり避暑地である。



歐米人は京城元山間の鐵路開通前から、芝罘、青島さては島原の雲仙嶽など、數へならべて元山を好箇の避暑地とトし、元山港の南角明沙十里といふところに點々バンガローを建て、あゝる、濱茄子の咲き匂ふ砂濱の中には、貧弱ながらゴルフのリンクスもある。元山を挟んで明沙十里と相對せる松濤園の一帶は、今や夏は朝鮮第一の避暑地として白砂青松の下、海水浴に適し、冬はスケートによくスキーによく、テニスコートあり野球のグラウンドあり、葛麻半島より虎島・高島・新島など一帶の眺望を松原越に見渡せる丘陵をとり入れたゴルフ・リンクスもある。

海原を 眼の前にして 尾の上より

うちおろす球は 高鳴りゆくも

このリンクスは、大谷尊由師に縁故が深い。それは此土地の有力家の青年小林君が京城でゴルフをおぼえてから元山でもリンクスをとと思ひ立つたが、お婆さんが許してくれない。ゴルフかコルクか知らない、がそんな異人のやる事なんか何んですぞとでもいふのであらう。ところがたま／＼尊由師が見えてそれはやつてよろしいとおつしやる、本願寺さまの信心に凝り固まつてお婆さんは、生き佛さまのお許しがあり御自身もお試みになるといふのだから、一議もなく

感涙を拭ひもあへず、サアおやりサアおはじめ、ナニまとまつたお金がかゝる、ア、それもよし／＼早く／＼といふ事になつたらしい。

もと／＼國有地か何かで廢墓地でもあらうか、一面の雜草原でありそれから丘腹に向つて打上げもある打ちおろしもある。青松白砂夏期行樂郷のながめを見はるかして球を日本海へむけかつ飛ばすのである。ざつとした一通りの工事費約二萬圓は小林家で引きうける。そこでメムバーの月がけが金五圓也、あとはグリーンフキーを拂ふでなし、九ホールス一と廻りのキャデキフキー金十錢なりで、凡てオーケーである。

交通費といつても元山の街はづれ、ブラ／＼テクつてもよろしい、日曜日の自動車賃も會費五圓に含まれてるといふから素的である。かりに月十回出かけたとして、九ホールス二回づゝまはつてキャデーフキーは二圓、之に月がけを加へても合計金七圓也、一回あたりまさに七十錢といふ事になる。

一番のテキーのそばなる茶店がクラブハウス代用であり、お辨當持參けつこうである、晝飯には一寸宅へかへつてよしといふのだから、豈安からざらんと欲するも得べけんやである。それなら平常のコースの手入れはといへば、草がのびてくると牛が丹念に手入れでない口入れを



して、キレイに始末がつくといふのである。もとくハ同様のリンクスである、どうのこうのとそうく文句をつけるべからず、草は相當のびてるからファーウエイとても球にランはない、飛んだ球の行衛は一寸見當らない。そこには如才なくフオアーキヤデキをつけておくととても忠實にさがしてくれる。……朝鮮のキヤデキの一篇参照……

時は昭和の三年である。僕がクラブを振りはじめた時である。同人杉村楚人冠と金剛山より北鮮への途次此地に立ちよる。おヒルはクラブハウス代用のお茶屋で歓迎會をかねてトーナメントが舉行される。會社銀行員、學校の先生、郵便局の課長さんなどオールメムバーが歡迎參加する。そこへ土地の商工會議所會頭曰く何曰く何とまだクラブを手にしない、イヤ此リンクスに足を踏み入れなかつた方々、室内運動を専門にされてるお歴々も、吾々一行の歡迎がキツカケとなつて參列する。一處にゾロくとプレイの見學とある。此夜の歡迎席場で、はや二三有力者の新規加入志願の聲も聞えた事であつた。

### 鳥取の砂丘のゴルフ

和泉式部・平井權八が生れ吉川經家・荒木又右衛門が亡くなつた、因州因幡鳥取の町から一里にして、荒涼たる砂丘が海原に沿ひひろくとつゞいてゐる。

東西十六キロ南北二キロメートルの砂丘帯は、聯隊の演習地であり、映畫には砂漠地として冬はスキー場として、近頃いろくくと持てはやされて來たさうな。

まことに細かい均一な綺麗な砂がうねりく高く低く果てなく續いてる。吾等素人に面白く見られるのは大小三十を算する摺鉢である。濱阪の摺鉢は高さ三十メートル長さ六百四十メートルといふからとても大きい。それが、三十四度の急傾斜をなしてる。風のために砂丘の轉々移動するに拘らずこれのみは場所が固定してしかも少しも埋まらない。摺鉢の底には青々と松だの柳だの生ひ茂り、清冽な水はこんくと湧出し、海の側から逆に陸の方へむけ流れ出て、十餘町の水田が養はれてる。

楠城鳥取市長の案内により一つ丘越え又一つ越え、行けど果てなき砂丘を足取り重く、登り



つ降りつやう／＼に左にそれて千代川畔十六松に出で賀露港へ渡つた。砂丘から別れぎはにマツシーニブリツクでゴルフの球を二十回ばかり打つて見た。これが芝生地であつたらとてもよいゴルフ・リンクスがいくつでも出来ようといふものだ。鳥取の砂丘それは新潟港の東北にのびた砂丘よりも無論大きい。臺灣新竹州の海沿の砂丘の長く且つ大なるには及ばないやうだが、内地ではたしかに珍とすべきである。

鳥取の大砂丘

七月を 鳥取街道の 町はづれ こゝにして見る 果なき砂丘

一つ丘越え また一つ越えて 海は見えず はろ／＼しかも 砂丘のつながり

大き松 砂にうづもれ 梢のみ わづかのこして 我肩とならぶ

(昭和六年七月隠岐に開かれし山陰朝日會一帯に旅をつゞける「山陰夏の旅」の一部)

航空ゴルフ行

昭和六年十一月十日午前六時伊豆の川奈ホテルの一室に眼ざめてカーテンをあけて見ると、雨脚しげく北東の風が吹きすさんでる。

折角の日曜日に忌々しい残念千萬なとサン・ルームにとぐるを卷いた我一黨は、今にも小降りになればと空とにらみつこをしてるが、どうひぬき目に見ても空行きますます穩かならず、せうことなしにストウブの前へデスクを引きよせてペンをはしらせる事になる。

朝日新聞社の義勇號二機が今夏關東の重要都市連絡飛行を試みた時は、信濃高原を眼の下に北越の空を飛んだ。今秋關西の航空には第一日が大阪から金澤へ、第二日が名古屋へ、第三日が岡山へ、第四日が広島へ：：一機は山陰をめぐり一機は四國をめぐり：：第五日が熊本へ、第六日人吉鹿兒島都城宮崎延岡をめぐり再度熊本へ、第六日が大分別府宇和島高知池田姫路を経て大阪へ歸航のプログラムになつてゐる。

飛行機に乗るは猶河豚を食ふが如し、乗りはじめると味が忘れられない。馬關大吉の板前な



れば河豚も心配は全く無用でたゞ旨いだけである。吾朝日機に於て正に又然り、そこで熊本の披露會に臨むべく又第六第七のコースを飛ぶべく熊本にむかふ。戸内用として兒童文庫の財政讀本起稿の資料と、戸外用としてゴルフ練習のためマツシー一本携帯に及ぶ。

僕は近頃ソケット病にかゝつてゐる。せめてこの病根を絶ちたいと、此夏宇和島の夏期大學に出かけた時は、退屈しのぎと練習をかねてマツシー一本持參に及び、大洲と宇和島の中學校の野球グラウンドでマツシーを飛ばしたが、なによりもグラウンドで野球の選手連がゴルフのキヤッチ・ボールをやつてくれたのが、少くとも僕の最初の試みであり、又今迄耳にしてなかつた特殊のニュースとおもふ。

阿蘇山麓戸下の温泉で財政讀本を書き上げて熊本に入る。こゝからは雲仙のリンクスへは日がへりができるといふ。三角へ汽車、三角から島原へ汽船、島原から雲仙の頂上へ自動車、各各一時間で足りるとの事である。僕は熊本入りの一日と鹿兒島宮崎飛行の午後と二回、講演を試みたのが縁になつた熊本中學グラウンドで練習をつゞけ、學校の先生だちや幾百の生徒をガレリーとして例のキヤッチボールをエンヂョイした。

明くれば終航の十月十七日である、四國を横斷し又縦斷して四時間で大阪へ歸らうといふ。

熊本の郊外帯原の練兵場へ出かけて見ると、天氣晴朗阿蘇の山上からは白烟しづかに秋の中空にただようてる。ところが阿波の池田の氣象報告は雲低く垂れ雨模様とあり。その第二次報告をうけとるまでといふので、吾等の一行はもとより見送りの衆、見物の群は、練兵場の草原にかへりもやらず時をすごしてゐる。こんな時にゴルフちゆものを見せてつかわざつせといふ。一同の退屈しのぎにマツシーを取りいだす、生徒をつれて見送りに見えた熊中の校長さんはじめ有志の面々相次でクラブを振りまくる。

「ほんにいさぎゆう飛びますな！」と感嘆の聲が時たまにはおこる。

待つこと二時間弱池田方面の空次第に晴れ模様とありて、午前十時頃爆音勇ましく二機翼をつらねて、銀杏城の上を旋回し、東の方阿蘇の上空に向つて飛ぶ。

噴火口の 眞上を飛べば 機をつゝむ 眞白き烟 眞黒なるけむり

豫定通り約四時間にして大阪木津川口に着陸する、社に引きあげて食事をとる、留守中の雜用をすます、時計を見ると午後四時である。今朝は熊本の郊外で、マツシーを振つた同じ日に大阪でマツシーを振ればこゝにゴルフ界の一つのニュースができるといふものである。そこは新聞人である。それとばかりに郊外寶塚のリンクスにかけつけ再びクラブを振る。



朝熊本でクラブを振り阿蘇の噴火口に舞踊し、竹田をへて大分別府の上空に旋回訪問を試み、さらに臼杵より海上を飛ぶ事五分間にして伊豫にわたり、宇和島をおとづれて更に高知へ、高知より大歩危小歩危の谷を眼の下にして池田の上空に土佐の海と瀬戸の海を左右に見おろし、屋島小豆島の上空をわたりて姫路へ、神戸西宮尼ヶ崎をへて約四時間にして大阪の木津に着陸、更に寶塚のリンクスに再びクラブを振る、それがまさしく夢でない。

こんな事を筆にしてゐると僕はゴルフ氣狂ひのように見える。いや氣狂ひに相違ないが、しかし僕以上の高熱の連中はザラにある。たゞ僕はあちこちと眼まぐるしく駈けめぐり兎角皆さんの眼につきやすい、そこへこんな記事を引つけ引つけ筆にする、爲めに何かと噂にのぼる。いさゝか氣がさすが仕方がない、事實は事實として語らしめよ。

こゝでペンを置いて窓外をながむれば、富士も大島も見えればこそ、風雨益々しきりなり。フォード會社の外人の一團は吹きすさぶ東風をまともにうけて今九番グリーンにバットを手にしてゐる、まさしくフォード式である。

(六、十一月、川奈リンクスにて)

## 寶塚ゴルフリンクスの歌

朝日さして カーテンあかし 床の上に 心落ちぬず まだ五時といふに  
 學校へ いそぐ吾子よりも とく起きて 一足早く 山を下る我は  
 大空に はるけくかすみ 見えぬまで 球高鳴りて わが夢さめぬ  
 渾身に 力をこめて 打ちし球 二三間ころげ 止まりけるかも  
 たまたまに 打ちたる球の 高くとべば 空仰ぎたるに 雲雀鳴くきこゆ  
 あかときの 風すがすがし 霧ふかき 芝生ふみしむる 我足のかろさ  
 赤松の 森の秀づ枝に かすみをり 生駒高嶺も 葛城の山も  
 球打つと 芝生を見れば 一むらの すみれの花が まちかく咲けり



## 臺南とゴルフ・リンクス

内地の中等學校野球選手の地方代表大會に、いつも問題になるのは其開催地點である。其選定には各府縣廳所在地廻り持といふところもあるが、優勝校所在地といふ事になつて例も少くない。

臺灣は從來臺北の地であつたから偶然かも知れぬが、いつも優勝校所在地といふ事になつてゐる。唯來年に至り始めて嘉義にうつる事が問題になる。ところで地方ではまだグラウンド及びスタンド等大會に充つるに足るべき野球場の設備が無い。何よりも困るのは大會開催の雑務の手傳ひに馴れ切つてゐるファンが乏しいといふ事である。

僕が臺南公會堂の歡迎會席上に於るテニススピーチの一節に、ゴルフ・リンクス新設の要を説いたところ、野球のグラウンドさへまだ理想的なものが出來上つてゐないのに、ゴルフ・リンクスの新設などとそんな先走つた失禮な事を申し上げるものでないよと肩をたたくかれた。一流の野球場も高工かどこかへいづれは出來上るであらう、一回二回と開催さるるに伴ひ、

ファンの訓練も期して待つべきであらう、大會の開催は其地方のスポーツ獎勵となり、又自からそれ等都市の繁榮策となるといふ事はよく合點されてゐるから、現に主なる都市は開催地の臺北にのみ限定されざる事を望んでゐるらしい。

それなればゴルフ・リンクスの新設も必要である。何も紐育や倫敦では郊外に二百餘のリンクスがある。昨年の米國は一年中平均一日に一ヶ所づつリンクスが出來上つた。東京大阪方面も今や二十近くのリンクスに取りまかれて來た。さらに紐育のその如く、六、七十のパブリック・リンクスがとり巻いて、労働者までエンジョイする位だから、釣合上臺南にも一つ位はといふのではない。

今臺南の町にリンクスが出來てるとする。臺北臺中方面のゴルフアーは臺南に旅すると、爲に一日二日逗留する事になる。否、時には臺南へゴルフ遠征のために出かけて來る。

更に武智直道君はじめ臺灣製糖のプレイヤーは屏東行の途次臺南に立ち寄る、麻豆の相馬半治君等明糖の人々、新營の橋本貞夫君等鹽糖の人々はをりく、臺南に出動するであらう。

我等内地の數知れざるゴルフアーは臺灣に旅して必ずや一二日餘分の日子をリンクス所在地におくる事になる。リンクス所在地の老若男女を通ざる明るい晴れくしたスポーツによる



健康増進の道であるのみならず、それが都市の繁榮策である。否、旅館料理店公園グラウンド劇場などと同じく、大なる都市として無くてならぬものになつて來てゐる。

何も高雄壽山にリンクスが出來さうだから、臺南へも釣合上といふのでない。臺灣南方の中心地として無くてならぬリンクスは、之が新設の可否にあらず、唯いつ出來るかといふ時の問題である。近く井阪孝・村田省藏氏等のロータリヤンが渡臺するといふ。もし臺南にもリンクスがあつたなら、必ずや相思樹畔芭蕉葉のそよぐところ、青芝をふみしめつゝ一二日の清遊をほしいまゝにする事であらう。

あわてゝあとからやるのもよからう、然しどうせやるなら一日の長でありたい。

此一文以下三篇は昭和六年の臺灣遊草中より摘録したものである。當時の臺南州知事は今濱松の市長である横光吉規君であり、君の後任今川淵君の時に九ホールのリンクスができ上り、今や盛んにエンデョイされつゝある。

### 淡水のゴルフリンクス

山河景勝の地を以て鳴る淡水、陳清水林萬福の二選手發祥の淡水のゴルフ・リンクスは、朝鮮の大邱元山のそれよりもよい。改良後の平壤よりも好いだらう。釜山もまだ完成しない、京城の新コースとくらべてどうであらうか、少くとも京城の舊コースよりもよろしい。

滿洲の安東奉天などのそれよりもよい、恐らくまだ見ぬハルピン、長春・撫順・鞍山砦・旅順のそれよりもよいだらう。大連の星が浦もサンドグリーンを芝にしたといふから、之は實地を見ぬといづれとも云へない。しかしいづれにしても淡水のリンクスはよろしい。これだけ譽めると、少しは又くさゝねばならぬ。注文すればコースのコンストラクションに改むべきものが少くは無い。グリーンは固くて球をハネかへすのも困る、ことにグリーンはブライインドで外さがりになつてゐる、このおさまグリーンは我始めて之を淡水のリンクスに見るが、矢張り九州の人が多いからかも知れない。折角の池を利用せぬのも惜い。アウトバウンドしそうなところに待ちかまへてアウトするとすぐさがして持つてくる、白銅十錢と交換するこゝに、アウト屋



といふ商賣がチャント成立してるが、どうかとも思ふ。西班牙時代のサンドミンゴの城は英領事館の中に昔のまゝに淡水河畔に臨んでる。河を隔て、大屯の山観音の山が天空を摩してゐる。淡水河の海に注ぐところ漂渺たる水は果てなく霞んでゐる。清朝時代の砲臺あとの六のショート・コースから、今日の十八コースまで仕上げた淡水リンクスの歴史として、何んとしても忘れられぬ事は、此コースの生みの親、時の臺銀頭取櫻井鐵太郎君である。此コースをこゝまで持ちこたへ育てあげた三卷俊夫君である。

但し折角景勝の風光がクラブ・ハウスへ入ると見えぬ仕掛になつてゐるのは残念である。ゴルフ・リンクスは、プレイする、練習する、休憩する、その三つが要素である。のんびりとプレイを終り山河の風光を前にして、椅子により麥酒の満を引きながら歡談する。それにはベランダでもよしテラスでもよし、そこから此絶景と成るべく多くのコースをも見るべき視界をほしいまゝにする事がのぞましい。

石井豊原及び我と同行三人は、とても喜ばしく嬉しい感謝に堪へぬ旅を續けてるが、あまりに忙しい。しかし連日連夜のあはたゞしい日程をくりかへして、幸ひにヘコタレず健康を保つことを得たのは、全くゴルフの御蔭であつた。それはもう當りは悪い上にも悪い、しかし、青

天井の下青芝を踏みしめつゝ、南國の炎天に汗だくとなりて球をカツ飛ばす、そこに心氣の轉換があつた。消化も不良とならず、睡眠不足でも横になれば熟眠した。厚く淡水のリンクスとプレイヤー諸君に感謝する。感謝する序に悪口もいふ。これは臺北のゴルフアース諸君の歡迎會席上にも話した事である。懇意づくといひながら遠慮が無さすぎる嫌も無いではないが心安立てである、すまん。

## 淡水リンクスの歌

夏の日の 雲間をすぎて 照りつよし 観音山の 額のあたり  
 高鳴りて 打ちたる球の はろかなり 丘のあなたに 飛び立つ白鷺  
 観音山と 大屯山の中にして 大江たいちやうに臨む サンドミンゴの城  
 川添ひの 相思樹しげる 丘のへに 昔ながらの サンドミンゴの城  
 城壁の 夕日照りつけ あかくと サントミンゴの城は しづかに暮るゝ  
 鳶一つ 古城の上を 輪をかきて 舞うてありしが いつか居すけり



## 早老するなかれ

在臺三週間三十三回の歓迎會に四回の講演、二回の放送三十一回のあいさつ、その間に視察、面會、執筆、揮毫、それは五十七歳の老人にはあまりに感激にみちながらも、慌しい思ひ出であつた。水社と金瓜石と九月十三日の三日の外は、翌くる午前の二時三時となりて床につくを例とした。僕が存外年とつて居らぬ又存外丈夫だといふ事は、恐らく萬人が認めてくれた事と思ふ。何故に私が丈夫なのか？一つは生れつきだが酒を飲まぬ否、飲めぬからである。連日連夜の數重なる宴會に絶えず酒杯を手にしては、誰だつてまゐつて仕舞ふにきまつてる。一つはゴルフをやつたからである。青天のもとに心のゆくばかり汗をかいたからである。

八十歳に手のとどく英のバルフォア卿は軍縮會議の全權として華府にある時、折々テニスコートへ出かけた。そんな事を平均壽命の短い早老の老人達に望むのは無理かも知れないが、せめてゴルフ位はやれるやうにありたい。人各々體質もちがふ又老少不定である。しかし同じ死ぬにしても明るく餘命をおくりたい。青い芝生を踏みしめ、玉なす汗をかきながら高らかに笑

ひ興じつゝ球をカツ飛ばす、古賀三千人、後宮信太郎、村松一造、相馬半治、武智直道の諸兄のやうにして餘生をおくられたい。もしゴルフも過激なりといへば、せめて釣によりて俗塵をはなれ、大空の下に紫外線に浴してもらひたい。僕の草山二日間の靜養も結局室内では面會である、揮毫である、宴會である、靜養は靜養にならない。淡水のリンクスによりて始めて心氣の轉換を得た、消化力を恢復した、横になれば直ちに熟眠した。

此次に臺灣訪問の時は、もう宴會や講演などはぬきにして、御互に健康を保ち氣持ものんびりと島内のゴルフめぐりをしたいものである。

(昭和六年夏)

昭和の十一年には臺灣には淡水の十八ホールをはじめ、新竹に、臺中の大肚山に、臺南に、高雄に、東海岸には花蓮港に、ゴルフ・リンクスが出來上つてる。近かく基隆にもできるといふ話である。臺灣・九州・北海道・朝鮮及び滿洲ならば至るところリンクスがあらる。ゴルフアースの旅にはバッグ携帯を忘れぬ事である。

(昭、十一、四、十九日朝)



## 藤澤のゴルフ・リンクス

藤澤驛からバスで五分にして、御殿山に新粧なれる藤澤ゴルフ・リンクスに達する。

藤澤リンクス、それはオール・富士リンクスである。十八ホールスいづれのコースからも富士が見える。それも富士の高嶺のてつぺんだけでは無い。頭から胸から腰、その腰をとり巻いてる箱根丹澤大山の連山まで、そつくり見えるのだから素晴らしい。

御殿山の高原そこに坦々たるコースもあるが、谷渡りも少くない、アップダウンは程ヶ谷以上である、中にはコロラドのグラン・カニオンにたぐへたカニオンといふコースさへある、第三コースの白旗山を眼ざすとき、左の方眼の下に不受不施派の總本山小栗判官照手姫で名を賣つてる遊行寺の伽藍が松の樹の間に見える、第四コースに立つとき後ろ見すれば大海原に江の島の青螺が浮んでる、みさきといふコースの附近では善行ぜんぎやうといふ村里が見おろされる、稻川リンクスの田舎びたると相似て又趣を異にしてる。

オール富士見リンクス、雄大にして眺望をほしいまゝにする藤澤リンクスは、昭和六年十月

の十八日といふにコース開きをした。僕は委員長井坂孝君と鳩山一郎君とスリーサムで第一線を承つた、あとへ赤星四郎君はじめシングルが相つぐ、驚く勿れ午後四時頃まではソーフアール海南老體はウキナーだつたが、あとから柔道五段の阿部大六選手が現はれて、例外なく原則に立もどる。

記録委員長としての僕は只リンクスはオール・フジミコースであり、省線から便利であると吹聴すれば足りてる、……といふのは大船からも自動車で二十分足らずである、……小田急の江の島線のトンネルは此リンクスのどてつ腹を通つてる、もしリンクス附近に停留場が出来る、更に便利になるがなあと思ふ。猶このリンクスではクラブハウスがしやれてる。宿泊もできる。夏は松風さつくととても涼しいといふ事もつけ加へておく。

此リンクスのコンストラクションは赤星四郎君を中心にして、石井光次郎・田中善兵衛・堀籠虎之介諸氏の共助にまち、アリソン氏が親しく踏査してペン先を入れたものである。

(昭和六、一〇、三一ゴルフドム十二月號)



## 廣嶋練兵場のリンクス……付八本松コース

## 上、ホールの蓋に鍵

ゴルフはブルジョアの道楽だと一口にいつて仕舞へばそれまでである。しかし道楽といへば碁将棋もテニスも野球も撞球も麻雀も道楽である。謡曲長唄義太夫も道楽である。

時を潰すといふ非難に對しては、現役で仕事する連中には、休日それも雨雪を避けねばならぬから、これほど時を潰さないものは無いと皮肉つてもよい。

東京大阪方面のゴルフリンクスにはいかさまかなり金のかゝつた處もあるが、近頃かなり手軽な口も續出しつつある。東京の柏、多摩川などにはパブリックリンクスができた、會員組織でなく誰でも一回ポツキリにて、三圓がらみで一日ゆつくりと行樂する事が出来る。一寸バーに腰かけて二三時間ばかり、四五人の職業婦人とベチャベチャシャベツて居れば、麥酒一本あけただけでも五圓の散財では濟まされぬ。ゴルフとバアと一處にする奴もないといはれたらそれまでだが、毎晩でなくとも週に二三回バアに行く連中が、ゴルフは贅澤だ贅澤だとよく口

癖に言やはるさかい、一寸言はしてもらう。

前置は少々長くなつた、昨今は滿洲事變にボイコット、英國の金本位停止に金輸出再禁止など、世の中がとても騒々しくなつた。是非時局講演にといはるゝまゝに、姫路廣嶋倉敷方面に巡遊した。此機を利用してかねがね耳にしてゐた廣嶋市内の二葉クラブと、備中高梁川の吉備クラブの兩リンクスにプレイした。

練兵場での練兵、それはかつて臺北でも吾等が親しく經驗した。田中實翁なども名古屋で體驗してゐる。東京でも戸山ヶ原でよく試みたそうだ。さうした例はかなり多いと思ふが、廣嶋の練兵場ではそこにいがみなりにも二葉ゴルフクラブなるものが出来上つてゐる、クラブは廣嶋市内の東練兵場を充てゝゐる。南薰造畫伯が廣嶋へかへつた時、釣に凝つてゐる友人天野進作國手に釣は魚のよつてくるまで待つて居らねばならぬ、同じヲペンエヤの下で待つ世話のいらぬゴルフなるものありと口火を切つたのがもとで、練兵場の草原で只ポカポカと球を叩き飛ばしはじめたのだといふ。

廣嶋には東西兩練兵場あり、この練兵場は騎兵用であり、時折は飛行機が發着し、その一角には小學校があり、縦横に往來の道が交叉してゐる。練兵やら兒童の遊戯やら通行人のしげきす



き間すき間に、老練ならざるビギナー連がゴルフの手ほどきに内外の書冊と首つ引きで、球をカツ飛ばして居たのだから、其トラブルさ加減は想像以上であつたらしい。それは大正十五年の夏師團司令部付の菊池少將が上島主計正池田副官等と列席の上にて使用を許可されたこの事であるが、何にせよ騎兵練兵場だから、ホールをつくるにしても直徑二インチながしを越ゆるべからずとある、正規の大きさでは馬蹄が、ホールにくひごむ恐れあるからである。既にグリーンさへ名のみにしても狭く、且つ芝の植付けもロクには出来ない、そこへホールが小さすぎる。そこで定規の大きさの容器を携帯しプレイする折にハメ込んで置く、用済になると取り外してあとは又土を埋めて置くなどいふ時代もあれば、一一取り外すは餘りに手数だといふので、蓋つきの容器をハメ付けにして置き、蓋をあけてパットする、ホールアウトすると又蓋をする、鍵までかけて置くが、いたづらな子供達は蓋をこはして持つて行く、何んともやり切れなかつたといふ。成る程やり切れなかつたらう、かうした苦勞はアリソンのプランにより一コースに何千圓と金を使つてる東京や大阪あたりのプレイヤーには想像のつかぬ事である。

二葉クラブの注意書の中には七項に亘りて、練兵なり通行人などへの心得書が列擧されてある、其第五項には

東練兵場ハ一般公衆ヲ擁シ、春秋ノ好季節ニハ人出モ多ク、又至ル處ニ子供等遊戯セルヲ以テ、萬一誤テ是等ノ人々ニボールガ當リ、傷害ヲ與ヘタル場合ハ由々敷重大問題トナルノミナラズ、東練兵場ノ使用ヲ禁止セラルルコトトナリ、本俱樂部ノ死活問題ヲ惹起スルコトアルヲ以テ、會員諸君ハゴルフノ禮儀作法ヲ嚴守スルト共ニ、周圍ノ狀況ヲ顧慮シ特ニ深甚ナル注意ヲナスコト。

とある。又第一項は全部練兵に對する心得書であるが、其細節の中に「婦人プレイハ當分遠慮スルコト」とあるそれは練兵の時婦人のプレイヤーがあつては、馬ばかりでない乗つて人達にとりても、眼障りとなるといふのである。

### 下、會費月一圓五十錢

二葉リンクスの名はそれはゴルフの二葉でもあり又二葉山麓にあるからであるが、パー三が四か處、あとはパー四で、九ホールス二千五百八十五ヤードになつてゐる。いかさま右様の次第であるからとても御話にならぬといへばそれまでだが、第一廣島市内にある東照宮鳥居前の茶店がクラブハウス兼用とあり、クラブ入會金二十圓會費は月一圓五十錢、キャデーフキーは二







張つてある。いづれは川岸の後へ永久的建物をつくるといふ、又現在の三コースは近々に六コースさらに九コースになるといふ。それは比較的簡單に出来上るだらう。現在は岡山の日銀の君島、鐵道の平山、倉敷の木村君などが肝入つてゐるが、今のメンバー五十名足らずが百名近くにもなると、いやならぬ内に、いづれは岡山倉敷間の帯江あたりへ、然るべきリンクスのでき上るのも遠くはないといふ。

吉備のリンクス、入會金は三十圓、會費が二圓？ グリーンフキーはウキークデー二十五錢 休日五十錢、キャデーフキーは三ホールズがキャデーにより四錢五錢六錢と三色になつてゐる。此方も安い方では斷然リードしてゐる。いづれにしてもかうした手輕なパブリックリンクスの新設は望ましい事である。

(六、十一、八、ゴルフ)

雲仙ゴルフリンクスの歌

山あひの 一ところ赤し 見るがうちに

朝の光は さと流れたり

わが打ちし 球まさしうも 馬の脊に

あたれりと見つ 五十ヤードこなた

このあたりに 球落ちたりと さがす吾と

馬の鼻づらと ならびけるかも

外れ球の 馬の鼻づら かすめたるに

一聲高く いなゝきにけり

普賢にのぼる 人のつながり はろかなり

三コースすれど まだ見えてあり



## 廣野の新コース

英國のゴルフの雑誌にナショナル・チャムピオンシップ・コースにつき評論せる中に、サー・ヘドレー・ル・バアの言葉として次の五の條件があげられてある。

- (1) situated in a district reasonably central;
- (2) easily accessible by railway;
- (3) possessing good hotel and other accommodation;
- (4) totally enclosed, so that the crowd desiring to see the play could be limited by the charging of gate money;
- (5) laid out on such lines as would enable the play to proceed without any possible interference from the spectators.

いかさま一方には見物人が多くなければ、景氣も悪く又収入のソロバンも立ちにくい。すでにプレイヤーも見物人も多くなれば、其ロケーションなり、其設備なり、凡てに通じて上述せ

る如き注文の出るに不思議が無い。

我國にても新にリンクスを作る時は、かうした条件につき考慮されねばなるまい。さし當りボビー・ジョンス一人出かけて來ても、相當考へさせられる問題である。

大體パブリック・リンクスは都市の中、又近い郊外で僅な時間に僅な交通料金で往復できる處で無くてはならない。よし普通のリンクスでも、交通に便利な處にはつひ足も近くなる、休日には例外としてウキーク・デーでも、朝早くにも又午後役所會社の引けがけにも、手軽に立ちよれるといふ事は望ましい事である。

只郊外近くでは左様なリンクスは得られにくいのと、中には便利な處ほどシヤバの空氣から抜け切らぬ、リンクスを横切る道路さては其附近の種々の建物、それらは兎角ゴルフ氣分をこわして里心を起しやすい。まして呼出しの電話もかゝり安い、中には用談に押しかけられて來られないとも限らない。

よく駒澤をホームリンクスとして知る知人にして程ヶ谷にプレイする人がある。いづれも氣が變つてよいといふ、駒澤では氣が移りにくいといふのである。さうしたポイントのみから見れば、東京なり大阪なりの町から遠く離れる程氣が變つてよい事になる。此氣の變るといふ事



と交通の便否といふ事がどうしても兩立しにくい。國立公園の數多い候補地中に阿寒がある、自然の風光はもとより其大部が私有地で無いだけに、客觀的には條件はよく具足されてる、しかし公園である以上お客がよりつかなければ何んにもならぬ、ところで北海道も東北の果であるからあまりにかけ離れてる、それだけに又其崇高なる大自然の風光に他の企及し能はざるものがある。

X

X

さて廣野のリンクスである。アリソンは大いに激稱したといふ、日本一といったのか、大サ  
ンヨロシあるといったのか精しい事は知らぬが、アリソンが大に稱讚した事は事實である。それだけに早く見たいと念じてゐたが、昭和七年四月十日といふに、このリンクスで和歌ゴルフ會、乃ち和歌山縣人ゴルフ會の第四回を舉行した、恰も伊藤長藏君も行を共にしてくれたので、いろいろと親しく説明も耳にするを得たのは仕合せであつた。

いかさま廣野のリンクスは好い、義理でほめるのでは無い全くよろしい。第一に各コースの長幅共にゆつくりしてゐる。第二に各コース間がユツクリしてゐる、どこで誰がプレイしてゐるのか一寸分らない。第三に各コースにそれぞれ特色があり谷も多い、僕は蟻地獄と命名した處も

ある。寶塚でも十番十七番の川越あり、程ヶ谷にも二番四番十五番あり、六實でも十五番十六番あり、藤澤にも四番六番あり十二番十八番のカニオンがある、それがヴァライチーとして興味を添へる、相模に缺點ありとすれば其平調であるを思へば、廣野の各コースはかなり變化に富んでゐる。第四に湖水がある、霞ヶ關の十番の小さい池でも何よりの興趣である、程ヶ谷の六番然りである、昔の鳴尾も池が名物であつた、茨木の特徴は實に二番四番五番八番及十八番の池である。我孫子も手賀沼を展望するところに千金の價がある。只同じ池でも廣野の池の特色は水色の眞さ青く紺碧なることである、僕等の一行は其コースの一を三浦三崎の油壺に比したが、いづれも同感だといつた。いかにも水の色青みとその四圍の環境の明るさである。茨木及我孫子の池は福岡縣大保のそれと相似て、そこに靜寂氣分がある、まだ見ぬ蘇格蘭邊の湖水を聯想せしめる、之に反して廣野の池はいかにも明るい、十七番コースなどは潮來出島いたこでしまあたりの水郷に遊ぶの感がある、播摩灘コースのグリーンをへて次のチーに立つと、それは全くシーサイド・コースである、いかにも明るい、此明るい水といふ感じは臺灣淡水のコースと相似たるが如くにして、又自からなる特色を持つてゐる。

近くには雄岡……オツコとよむ……雌岡……いさゝかエロだがメツコとよむ……の姉妹峰が



リンクスに迫つてゐる。グリーンのかなた遙に播磨灘を望む絶景もある、樹木は松樹ばかりであるが、一とこゝろ雨天の群生した島もある、櫻樹を植ゑ込んだところもある、この景色に色添へて紅葉も植ゑつけると又一入であらう。

更に廣野の特色は第五として其ローカル・カラーである。何にしても播州は美囊郡とあつて明石と神戸と三角形をつくつてゐる三木別所などへ近いが、明石からかなり奥へは入つてゐる。土民の淳朴さ加減はキャデキーばかりで無い、物珍らしく集ひくる村人の物腰にもそれを知られる、山中暦日なしといふ程でもないが、たしかに浮世ばなれをしてゐる、氣が變る點にはもつて來いである。

しかし此特色は始めに一言せるが如く往復の不便といふ缺點と脊中合せになつてゐる、全く遠い、何よりも道が狭い。生憎とその日は明石へ向けて疊表の運送の車がつゞいて、明石をはじめ町中でも町をはづれても、荷車と自動車と行きちがひたいが、それもならずにあとすざりをする、これがかかり氣分をこわす、デレツタクなります、同じ一時間でも阪神國道や京濱國道を走らせるのと大分ちがふ、全く閉口した。祭日休日特にコース開きなどの日は、往復の混雑にうだつて仕舞ふだらう。

というて、此街道筋はそう安々と大金を投じて改修するといふわけにも參るまい、そこですぐ感ぜられることはクラブハウス内に宿舍の途を講ずる事である。關東に於ける伊豆川奈のリンクスに於けるが如く、關西における泊りがけの行樂のリンクスとする事である。川奈には宿舍の設備があるが、近く落成せんとする藤澤のクラブハウスにも宿舍の設備ができてゐる、藤澤は停車場から十分足らずである、其上に東京横濱へも便なれば鎌倉逗子にも近い。それだけに廣野としてもたとひ將來神戸より直通の自動車道路ができるとしても、メンバーの爲め又多くのビジターの爲め是非宿泊の準備があらいたい。夏場はとも利用されるとおもふ。

(七、四、二三、白雲樓。ゴルフドム五月號)

(追伸) 宿泊の設備もできた。そのうち神戸より一路廣野への自動車道も出來るといふ事である。



## 軽井澤の新コース

藤澤のリンクスをオール富士リンクスと名づけたが、軽井澤の新リンクスはオール浅間リンクスである。

どのコースからも浅間が前にうしろに右に左に、或時は雲を冠りてあの大きな鞍部だけを見せる、或時は青澄める中空に白く黒き煙をいざよひつゝ、其雄姿をくきやかに現はす。

浅間の裾の離れ山から碓氷の連峰、プロスペクトポイント、押立山、その隣りに見える山、誰にたづねてもわからないが、かなり尖つてから剣が峰とでも名づけて見よう、それから物見山。これらの連山に圍まれたる信濃高原、落葉松の群生へる中に、今新しいコースがインだけ開かれてる。

十番のグリーンに立てば、プロスペクトポイントの竈岩押立山の蠟燭岩は眼の前にある、十一番は浅間と離れ山をまなかひにし、碓氷に向つて外れてゆく、十二番の池越えのシヨートコースから、十三番の離れ山コース、次が十四番の六百ヤードの最長コースとなり、此チーに立

つと浅間、離れ山をうしろにして、信濃の連山は眼路のかぎりめぢに展開される、晴れたる空にはアルプスの鎗、穂高の連峰まで雲表に浮んで見えるとの事であるが、それまで見えずとも、プロスペクトから物見にわたる連山、さては剣が峰の右にあたりて岩船山が霞んでる。

岩船山は武州熊谷方面からも見られるといふが、僕は小諸から松原湖にゆく途上、内山峽に遊んで、此山の雄姿に接した事がある。どうも軽井澤から見ると、みよしの方か、ともの方か兎に角側面から見るのでないから聊か趣きが乏しい、それにしても外の出来合ひの山と山がちがふ。

十五番は浅間を正面にしてすゝむ、これより四つのコースはいづれも落葉松の森の中を右に左に行きつかへりつする。スライス球、プール球など、ラフを越えて一步草むらに飛せば、時はまだ八月の上旬なれど、撫子、かんぞう、かいろつば、鋸草、藤袴、釣鐘草、松蟲草、淡雪草、千鳥草、大和錦、桔梗、苳萱、男郎花、女郎花、螢袋、あざみ、山百合、梅鉢草、野菊、撫子、なんどの秋草は、黄白紅紫とりどりに咲き匂ふてる。

インの大部は沼地であつたとかいふ。其残骸が底無し沼と名づけ、二番コースの難所となつてゐるばかりでない。上海郊外のやうにかなりクリークが多い。名づけて八雲川だの鴨川だの、



あやめ川など、名前はしかるべくシヤれてるが、かなりボールを飛び込まして氣を悪くさせる連中もある。このクリークには蓋をしてくれといふ聲もあるが、しかし僕はしないのだよと、技師長小寺西二殿は頑張つてる。

小寺君の談には、アウトまで完成するのは明後年までまたねばならぬ、何分グリーンなどは冬は菰を三重にする。厚着だと蒸せる、薄着だと風邪をひく、グリーンの菰の一重づつ取るだけでもかなり氣骨が折れるといふ。その代りに夏場のゴルフコースとしては、九州に雲仙、關東に仙石あれど只の九ホールス、おまけに手が届いて居らぬ、六甲の山上に至りては十八ホールスといへどサンドグリーン、北海道の洞爺はまだ見ざれど見ずとも知れたもの、こゝに輕井澤に始めて理想的の唯一の夏場のリンクスが出來たのである。それも夏場にのみ限らない、春霞める折にも興深い事であらう、秋空澄める頃アルプス連峰を望みつゝプレイするも、又一入妙なるべし。

新コースの森林地帯にもところどころ別荘の屋根が赤く白く眞青き中に彩つてる。パークホテル、それは一寸變つた建物だと思へば、震災前の五番町の英大使館の建物がそつくり移し建てられたのだといふ、ゴルフアースならずとも避暑の行客には、信濃國原高原森林の中なるホ

テルとしてふさはしい。

輕井澤のリンクスとしては、舊リンクスの田中實翁と、新コースの三井辨藏君とは共に逸すべからざる功勞者であるが、東京で朝霞ができても駒澤がパブリックリンクスとして賑はしきが如く、輕井澤も舊コースはパブリックリンクスとなり、今は誰に遠慮氣がねもいらぬとばかり、別荘の人そこへ泊り込んでる客人、暑中の退屈しのぎに我も我もと有象無象が眼白押になつてる。之れが内地人ばかりでない、外人も少くない。新コースができて、さびれると思つた舊コースが却て繁昌する。世の中は分らないものである。

(七・八・六日・輕井澤槻澤山莊にて。ゴルフ、七年九月號)